

2024年3月31日

2023年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2023年度名古屋経済大学FD委員会

- 2023年度前期 学生による授業評価アンケート結果報告
 - 2023年度前期 授業評価アンケート 設問内容（後期も同一のものを使用）
 - 2023年度前期 実施概要
 - 2023年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧
 - 2023年度前期 授業評価アンケート 度数分布（全13項目分）
 - 2023年度前期授業評価アンケート結果<学生視点>
 - 2023年度前期 授業担当者別（各学部・学科、非常勤講師）の授業評価アンケート報告書
 - ◇ 経済学部、経営学部、法学部、教育保育学科、管理栄養学科、非常勤講師担当分
- 2023年度後期 学生による授業評価アンケート結果報告
 - 2023年度後期 授業評価アンケート 設問内容（前期と同一のため省略）
 - 2023年度後期 実施概要
 - 2023年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧
 - 2023年度後期 授業評価アンケート 度数分布（全13項目分）
 - 2023年度後期授業評価アンケート結果<学生視点>
 - 2023年度後期 授業担当者別（各学部・学科、非常勤講師）の授業評価アンケート報告書
 - ◇ 経済学部、経営学部、法学部、教育保育学科、管理栄養学科、非常勤講師担当分

※ 下線の報告書は部局FD委員が作成後、部局教授会での承認を得たもの

※ 下線以外の報告書は委員長が作成

2023年度前期「学生による授業評価アンケート」結果報告

2023年度名古屋経済大学FD委員会

2020年度に新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったマークシート方式でのアンケートを2022年度から再開し、本年度も2022年度の方針を継続して実施した。

また、本学では2012年度から2019年度までは「2年に1回は担当科目の授業評価アンケートを実施する。ただし、専門共通基礎I, II、情報科目、日本語科目については、全クラスをアンケート対象とする」との方式を採用していた。しかし昨年度にこの方式を改め、次の科目を除く全ての科目に授業評価アンケートの対象を拡大して実施することとした。

(対象除外科目)

- ・必修演習科目
- ・教育実習等の学外実習科目
- ・オンデマンド科目
- ・履修者10名以下の科目

また、昨年度はクォーター制科目の第1クォーター終了時までにはアンケートの準備ができなかったため、第2、第4クォーターのみでアンケートを実施した。しかし今年度はすべてのクォーターでアンケートを実施することとし、前期には第1クォーターと第2クォーターの授業のアンケートを実施した。

昨年度の専任教員の授業アンケート回収率（アンケート回収科目数÷アンケート対象科目数×100）は、前期は法学部と管理栄養学科以外、後期は経営学部と法学部以外が100%未満であった。

しかし今年度前期の専任教員担当授業での授業アンケート実施率は全学部・学科で100%に達した。また授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出も100%であった。

前期は287科目で授業評価アンケートを実施し、それぞれの結果について学部学科ごとに分析し、コメントを作成して教授会に報告した。実施科目の個別結果と考察は学内ウェブページに掲載した。

なお今年度、アンケートの質問の一部を次のように修正した。目的は質問に多義性が生じないようにするためであり、年度を超えた結果の比較ができるよう、基本的に意味は変えなかった。

設問2

旧：あなたは予習復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。

新：あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか。

設問13

旧：この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか、この授業の教え方はよいですか。

新：この授業の教え方はよいですか。（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます。）

このアンケートを後期も使用した。

なお、これ以降に掲載される本文による報告と表中のデータとは数値にわずかな違いが見られる場合があるが、それはそれぞれの作成日時の違いにより情報の更新状況が異なるためである。

以上。

- A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか
1…経済学部・現代経済学科
2…経営学部・経営学科
3…法学部・ビジネス法学科
4…人間生活科学部・教育保育学科
5…人間生活科学部・管理栄養学科
6…科目等履修生・研究生
- B. あなたは何年生ですか
1…1年生 2…2年生 3…3年生 4…4年生 5…その他
- C. あなたは留学生ですか
1…はい 2…いいえ
- D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか
1…はい 2…いいえ
- E. あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか
1…はい 2…いいえ
1. あなたはこの授業によく出席しましたか
5…全部出席した 4…1-2回欠席した 3…3-4回欠席した
2…5-6回欠席した 1…7回以上欠席した
2. あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
13. この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
14. (自由質問)
15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください なお、不満は具体的に改善してほしい点を記入してください

2023年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	24	24	100.00	24	100.00
経営学部	55	55	100.00	55	100.00
法学部	27	27	100.00	27	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	41	41	100.00	41	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	49	49	100.00	49	100.00
非常勤	95	91	95.79	91	100.00
【全体】	291	287	98.63	287	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,656	3,656	1,998	54.65
経営学部	4,532	4,532	2,961	65.34
法学部	3,602	3,602	2,183	60.61
人間生活科学部・教育保育学科	1,140	1,140	920	80.70
人間生活科学部・管理栄養学科	1,624	1,624	1,403	86.39
非常勤	3,956	3,835	2,557	66.68
【全体】	18,510	18,389	12,022	65.38

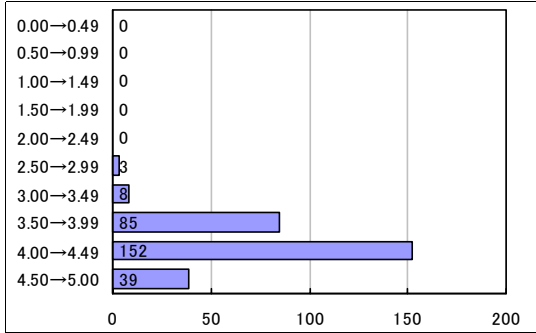
[名古屋経済大学] 2023年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	4.06	4.09	4.35	4.15	4.14	4.27	4.18	4.21	4.19	4.27	4.16	4.34	4.16
経済学部	4.05	3.99	4.28	4.02	4.03	4.16	4.08	4.11	4.11	4.14	4.07	4.25	4.04
経営学部	4.02	4.05	4.30	4.15	4.11	4.28	4.16	4.20	4.18	4.28	4.11	4.34	4.15
法学部	3.83	4.00	4.28	4.09	4.11	4.22	4.12	4.18	4.11	4.26	4.12	4.26	4.10
人間生活科学部・教育保育学科	4.26	4.30	4.47	4.32	4.34	4.45	4.35	4.26	4.34	4.41	4.32	4.48	4.33
人間生活科学部・管理栄養学科	4.45	4.19	4.55	4.18	4.19	4.28	4.18	4.26	4.24	4.25	4.21	4.36	4.16
非常勤	4.01	4.17	4.41	4.24	4.20	4.33	4.25	4.30	4.24	4.35	4.21	4.44	4.26

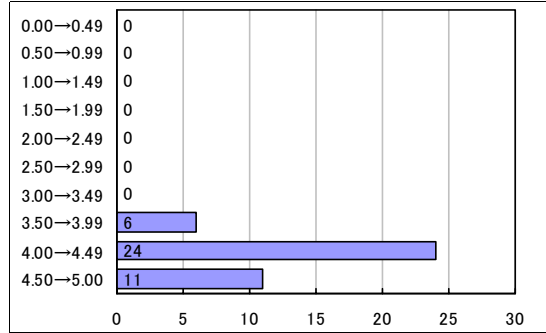
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



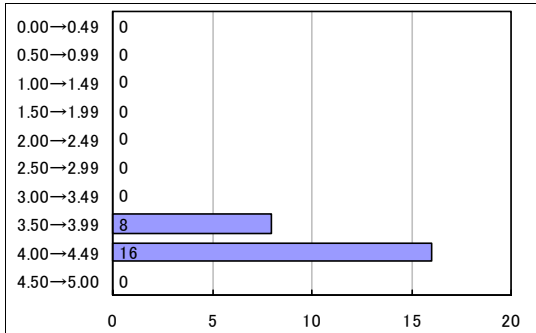
平均値 = 4.06

■人間生活科学部・教育保育学科



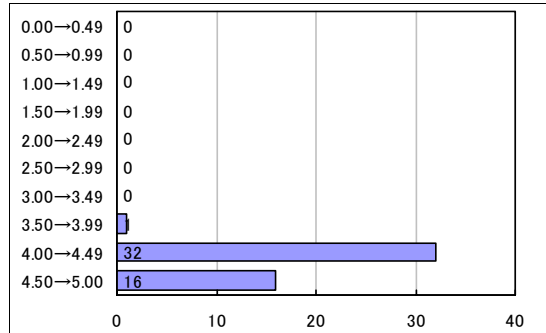
平均値 = 4.26

■経済学部



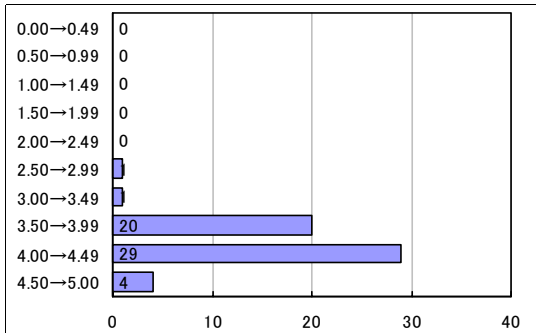
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・管理栄養学科



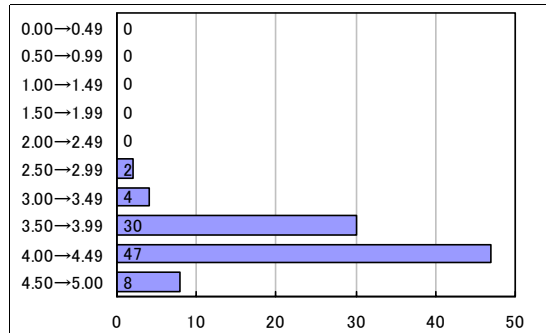
平均値 = 4.45

■経営学部



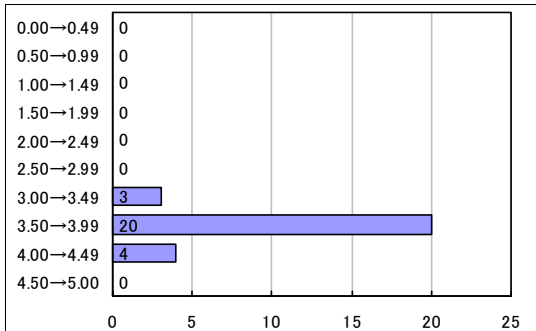
平均値 = 4.02

■非常勤



平均値 = 4.01

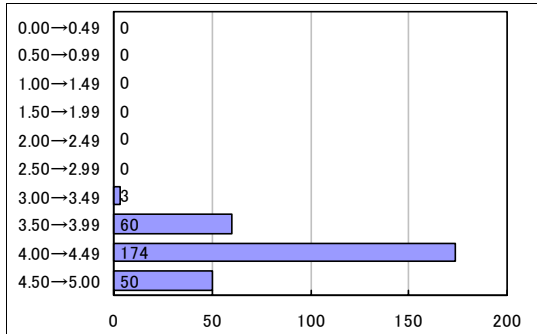
■法学部



平均値 = 3.83

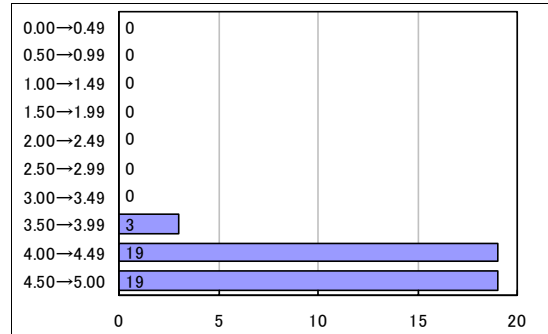
●2.あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



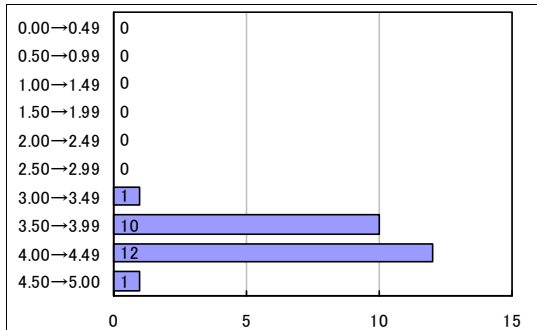
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・教育保育学科



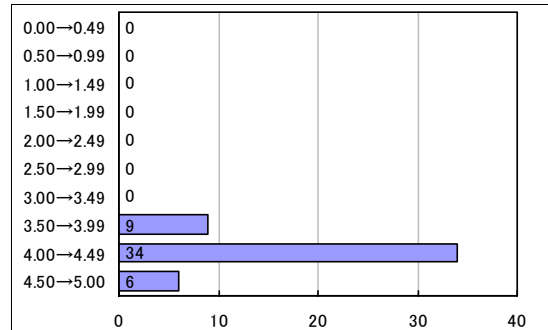
平均値 = 4.30

■経済学部



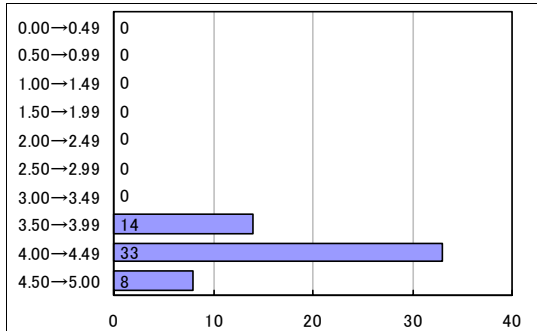
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



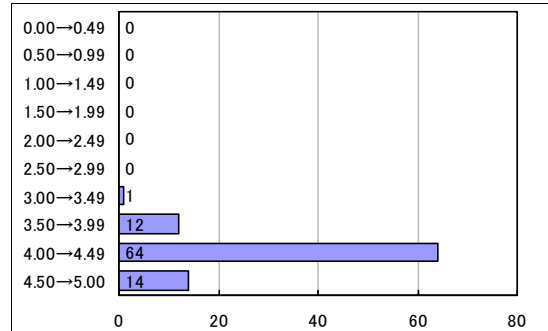
平均値 = 4.19

■経営学部



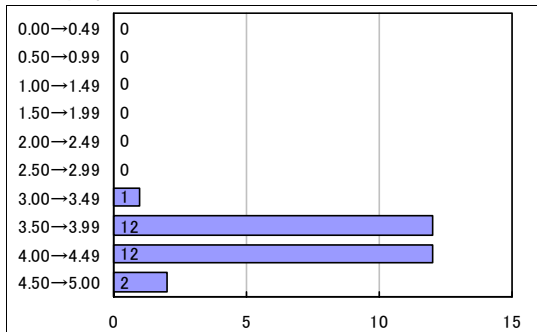
平均値 = 4.05

■非常勤



平均値 = 4.17

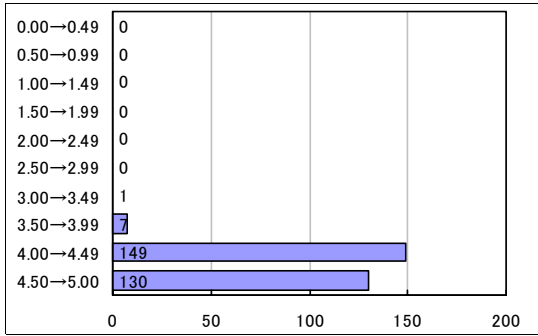
■法学部



平均値 = 4.00

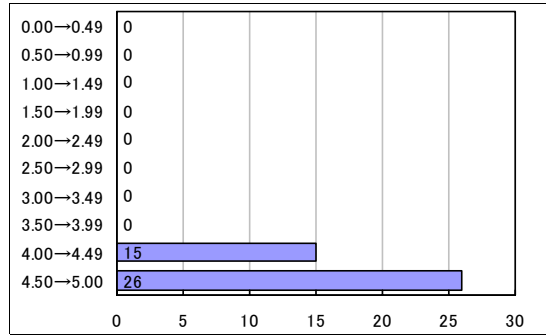
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設定Eで「はい」と答えた人のみ回答すること

■全体



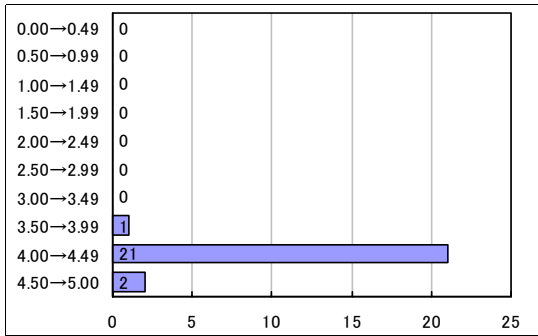
平均値 = 4.35

■人間生活科学部・教育保育学科



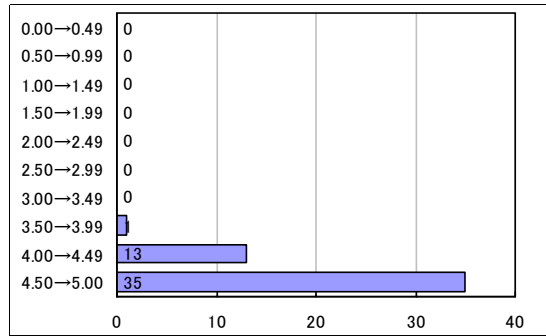
平均値 = 4.47

■経済学部



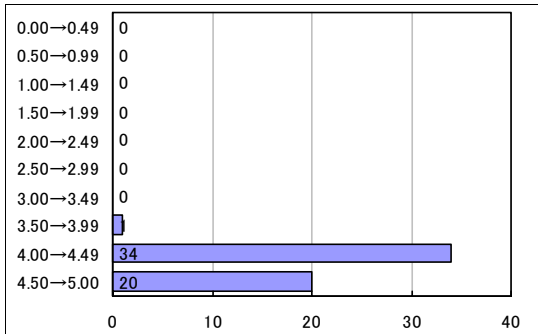
平均値 = 4.28

■人間生活科学部・管理栄養学科



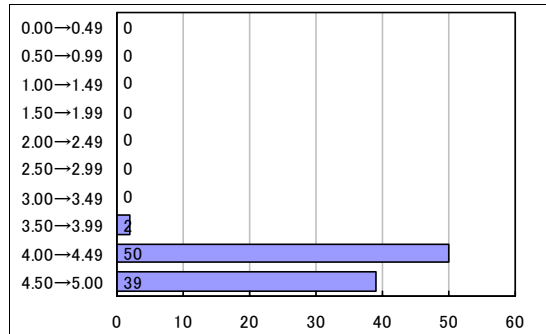
平均値 = 4.55

■経営学部



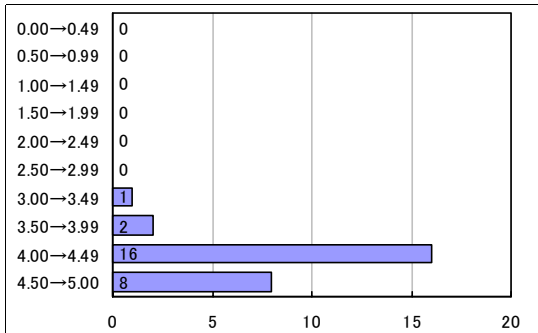
平均値 = 4.30

■非常勤



平均値 = 4.41

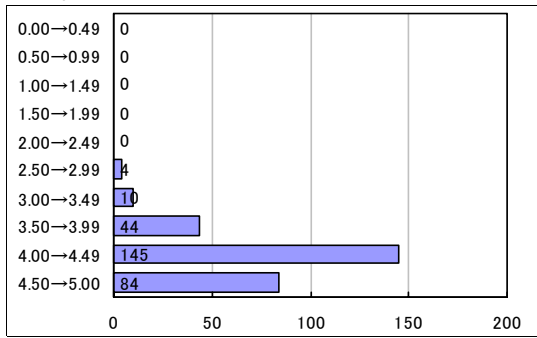
■法学部



平均値 = 4.28

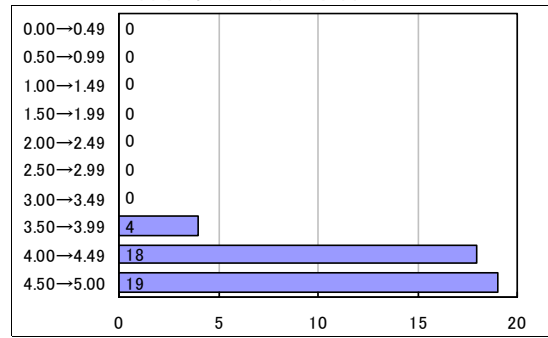
●4.授業内容はわかりやすかったと思いますか

■全体



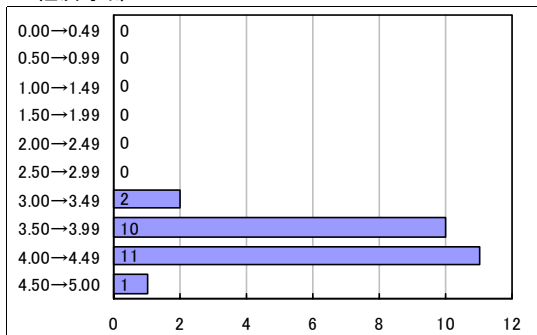
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・教育保育学科



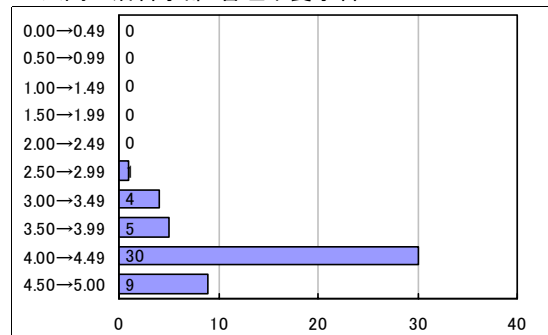
平均値 = 4.32

■経済学部



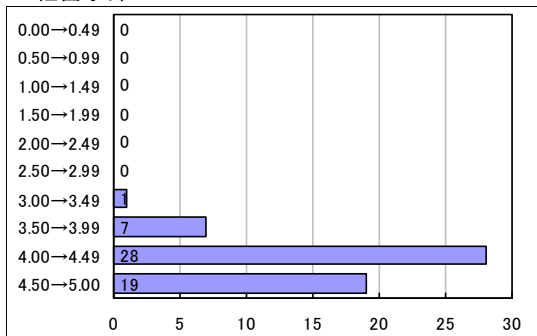
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



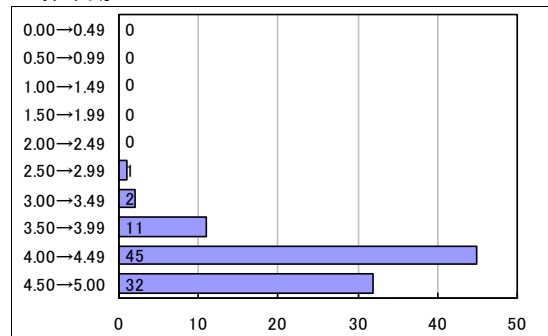
平均値 = 4.18

■経営学部



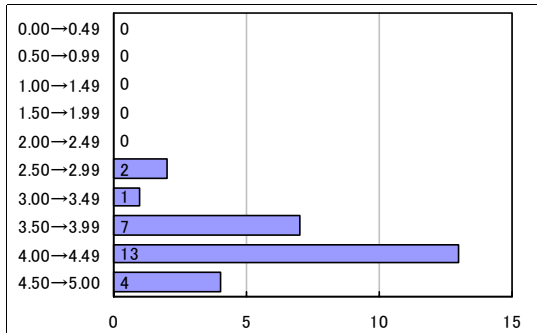
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.24

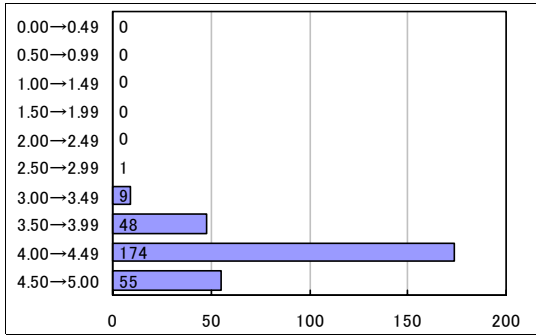
■法学部



平均値 = 4.09

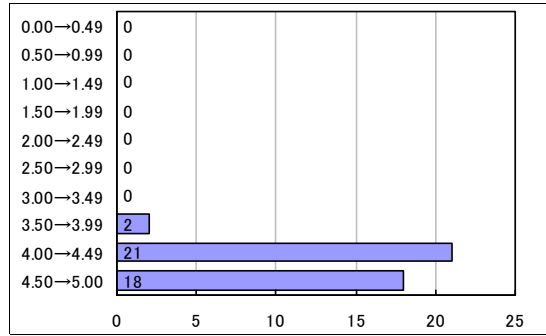
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



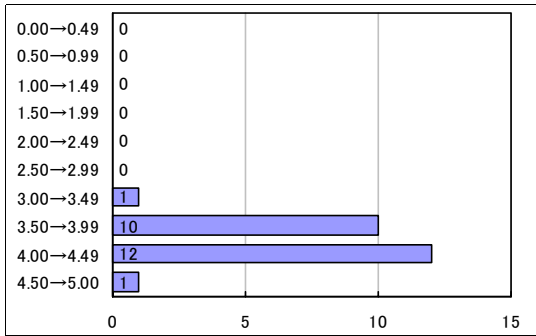
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・教育保育学科



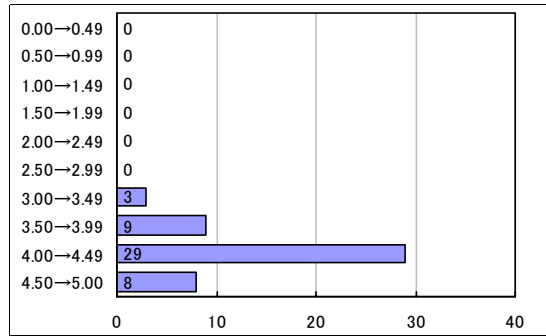
平均値 = 4.34

■経済学部



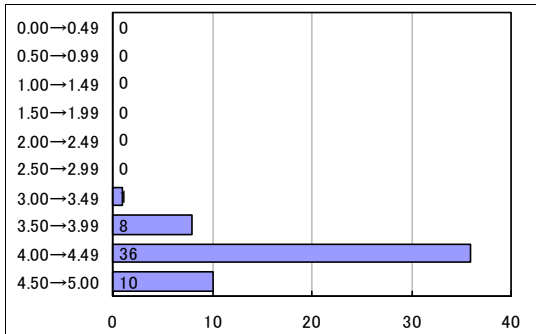
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



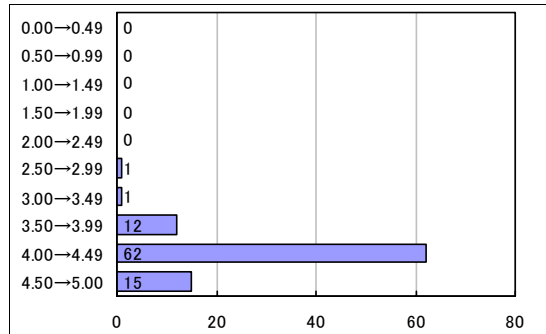
平均値 = 4.19

■経営学部



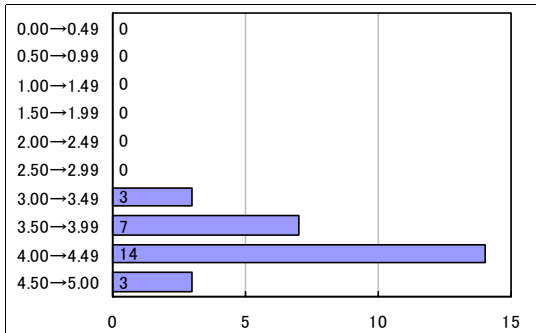
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.20

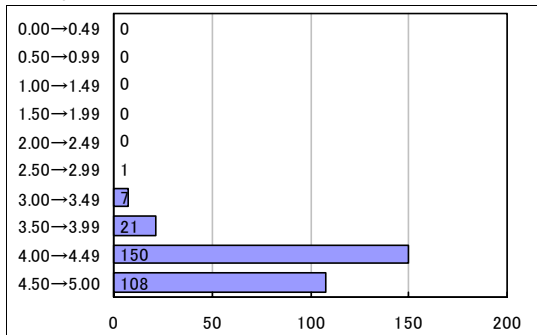
■法学部



平均値 = 4.11

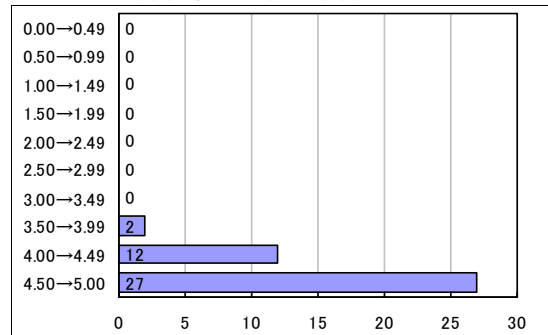
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



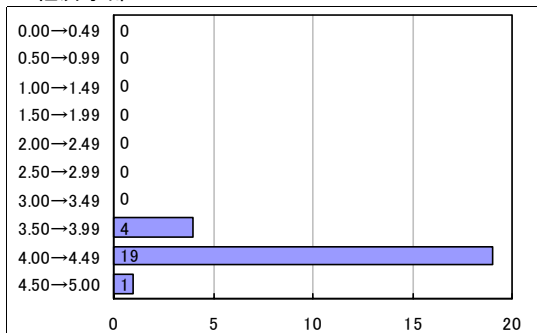
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・教育保育学科



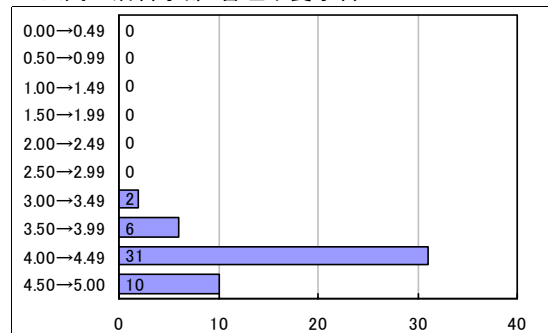
平均値 = 4.45

■経済学部



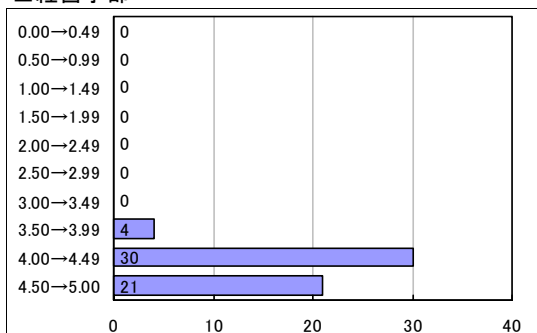
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・管理栄養学科



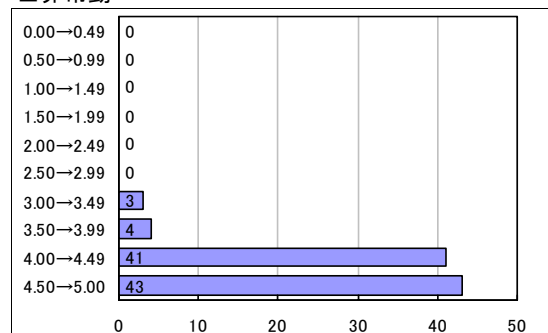
平均値 = 4.28

■経営学部



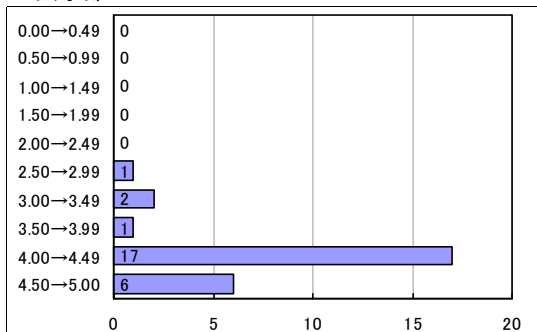
平均値 = 4.28

■非常勤



平均値 = 4.33

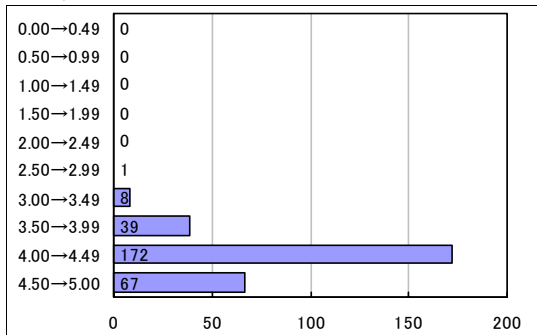
■法学部



平均値 = 4.22

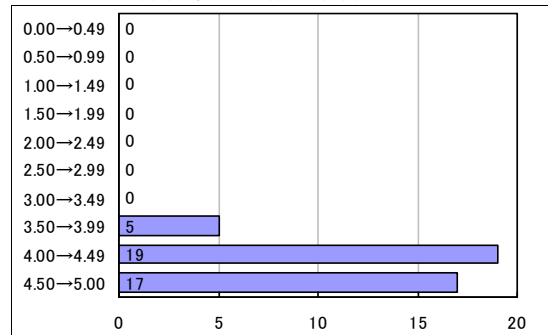
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



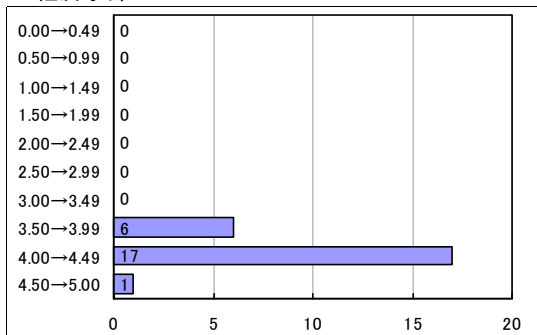
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・教育保育学科



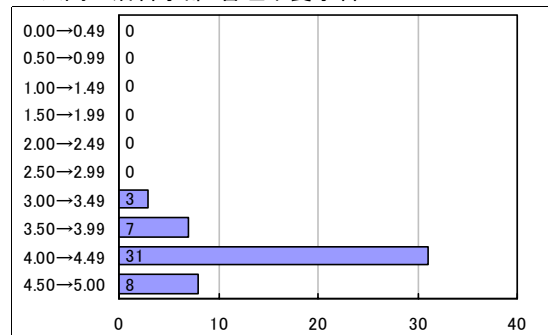
平均値 = 4.35

■経済学部



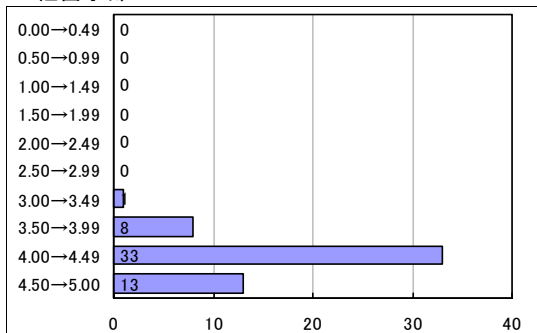
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・管理栄養学科



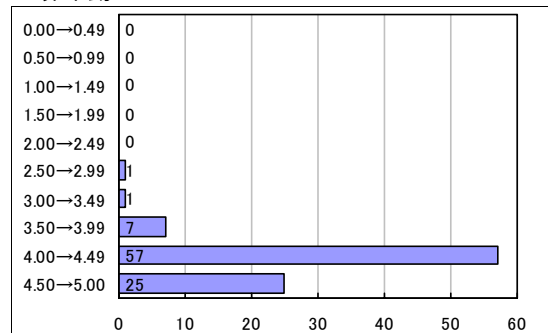
平均値 = 4.18

■経営学部



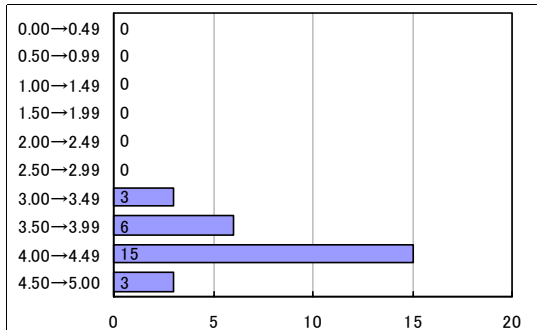
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.25

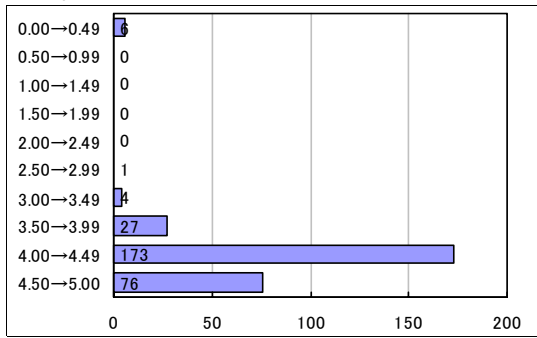
■法学部



平均値 = 4.12

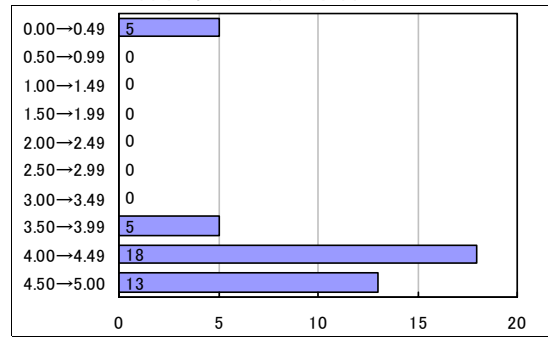
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



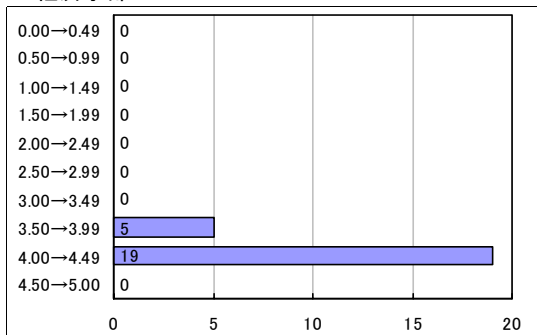
平均値 = 4.21

■人間生活科学部・教育保育学科



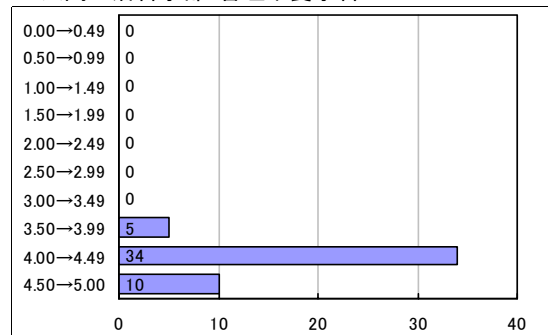
平均値 = 4.26

■経済学部



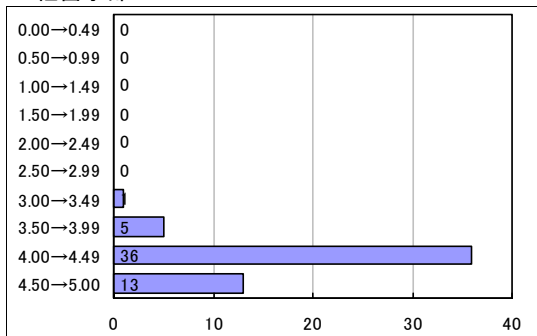
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



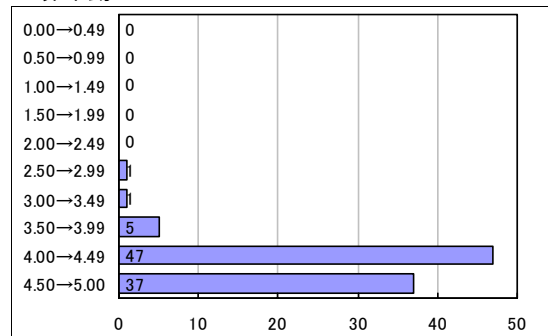
平均値 = 4.26

■経営学部



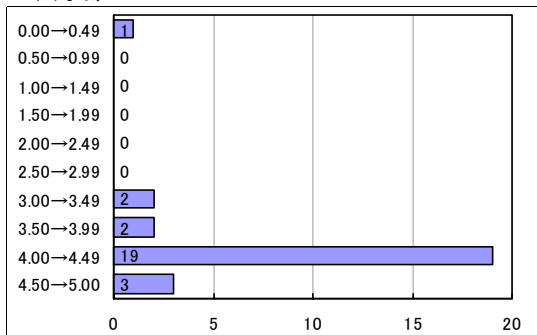
平均値 = 4.20

■非常勤



平均値 = 4.30

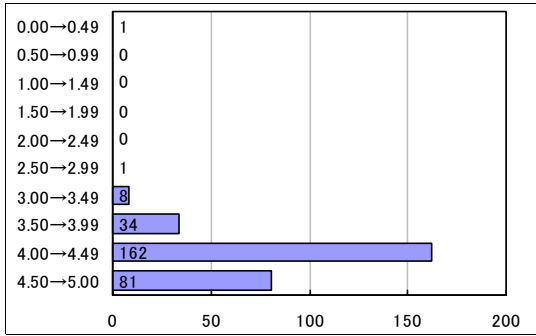
■法学部



平均値 = 4.18

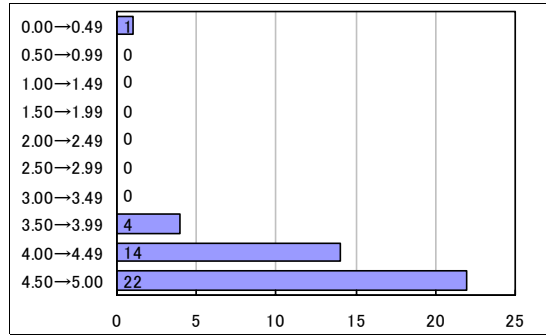
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



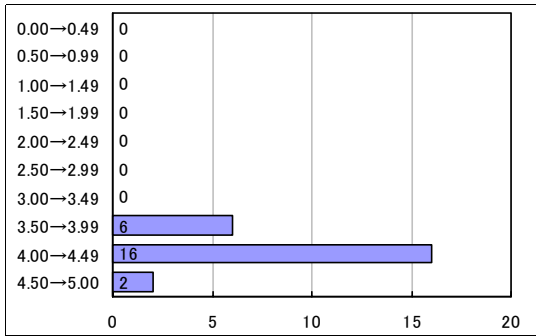
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・教育保育学科



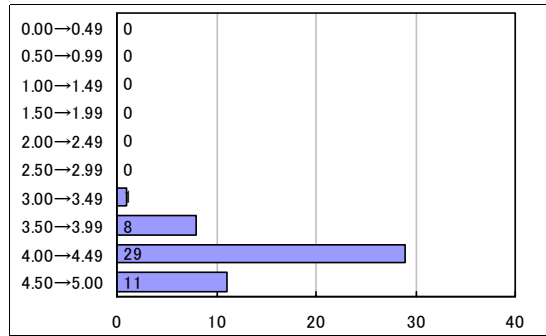
平均値 = 4.34

■経済学部



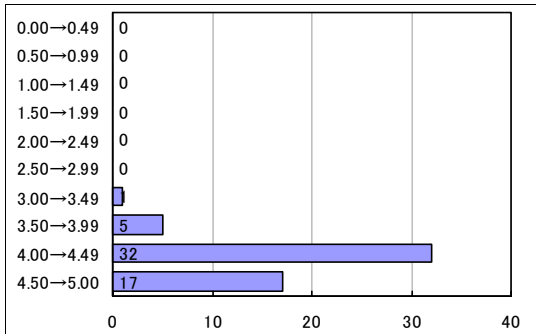
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



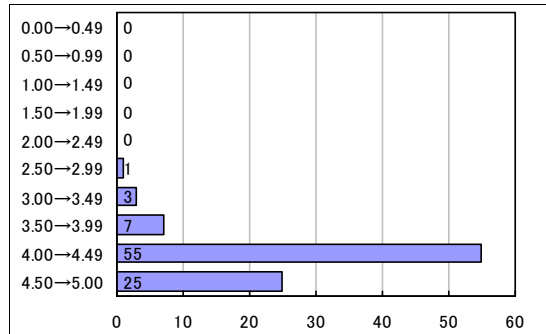
平均値 = 4.24

■経営学部



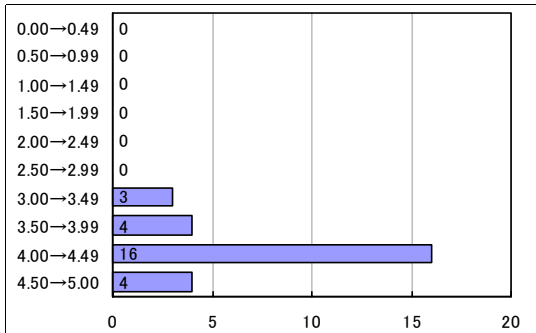
平均値 = 4.18

■非常勤



平均値 = 4.24

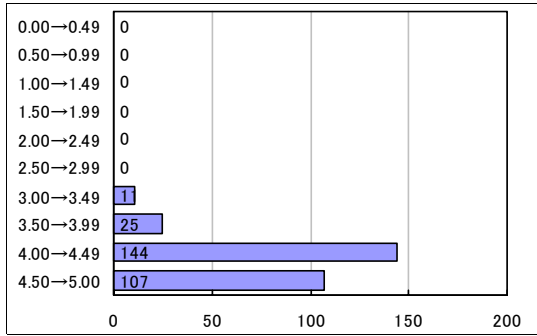
■法学部



平均値 = 4.11

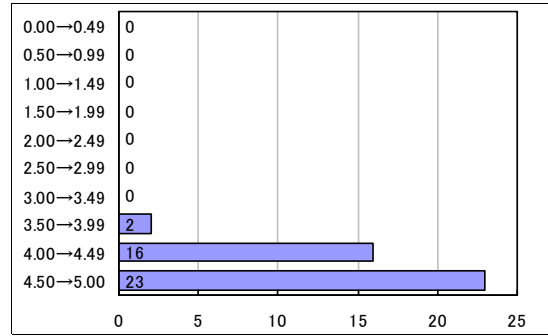
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



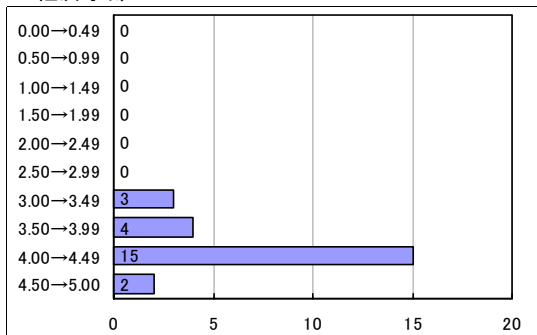
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・教育保育学科



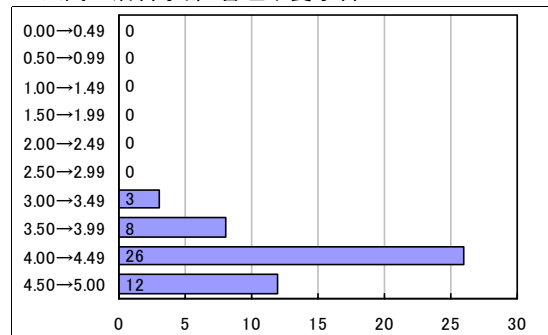
平均値 = 4.41

■経済学部



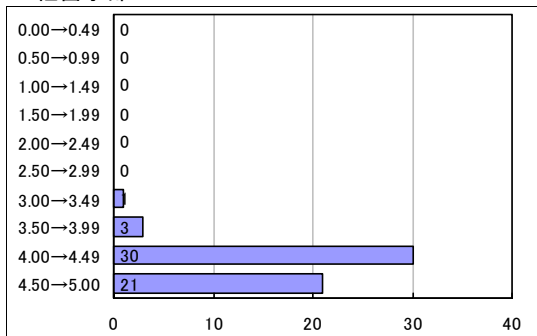
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



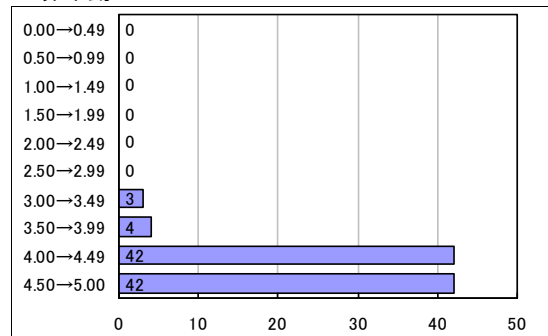
平均値 = 4.25

■経営学部



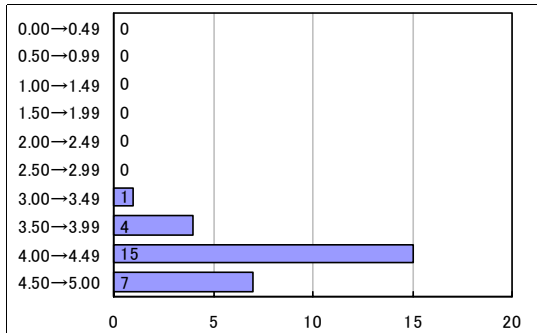
平均値 = 4.28

■非常勤



平均値 = 4.35

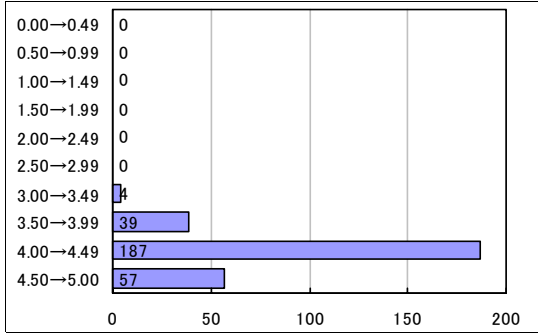
■法学部



平均値 = 4.26

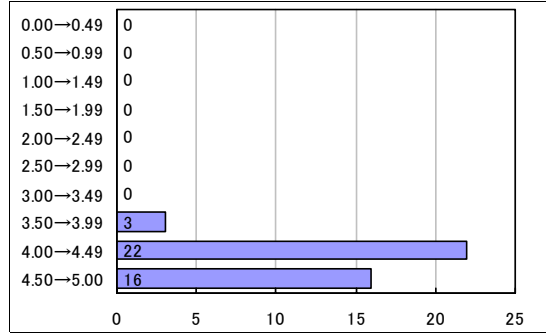
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



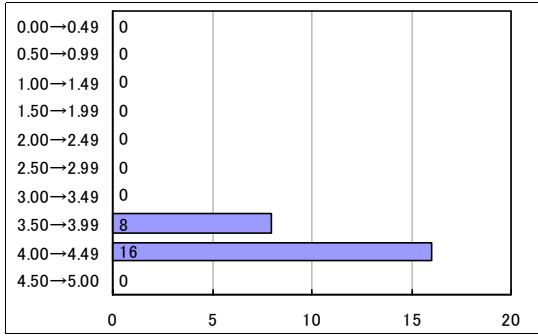
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・教育保育学科



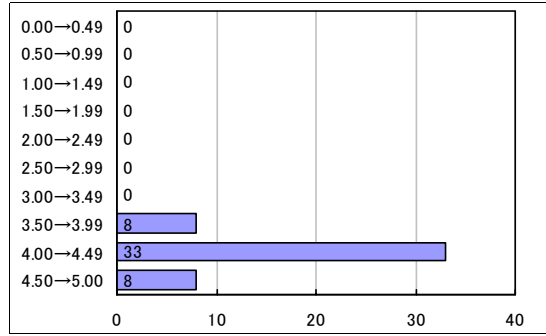
平均値 = 4.32

■経済学部



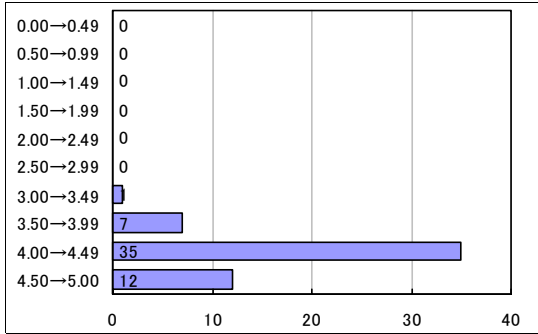
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



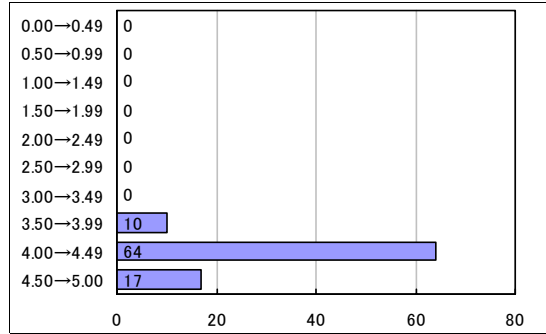
平均値 = 4.21

■経営学部



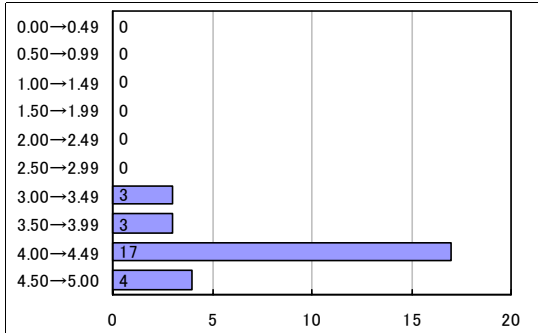
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.21

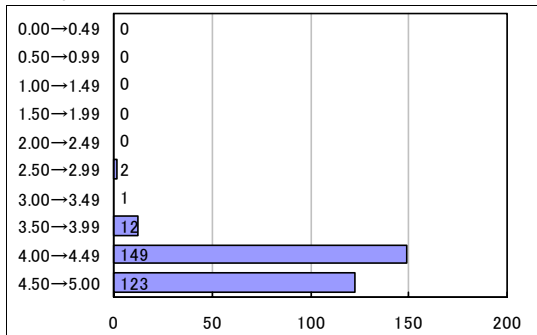
■法学部



平均値 = 4.12

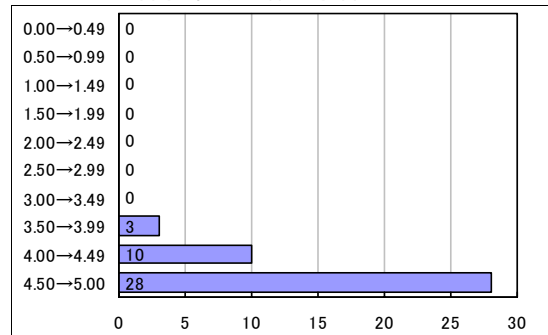
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



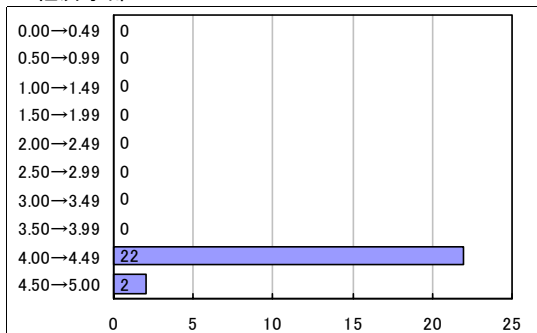
平均値 = 4.34

■人間生活科学部・教育保育学科



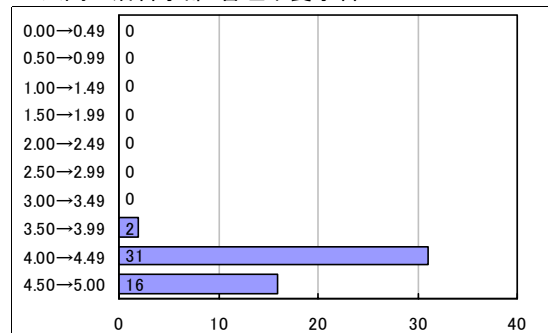
平均値 = 4.48

■経済学部



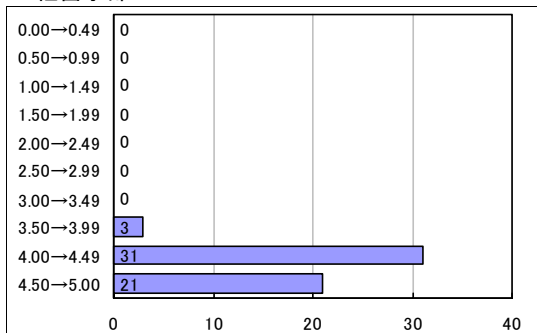
平均値 = 4.25

■人間生活科学部・管理栄養学科



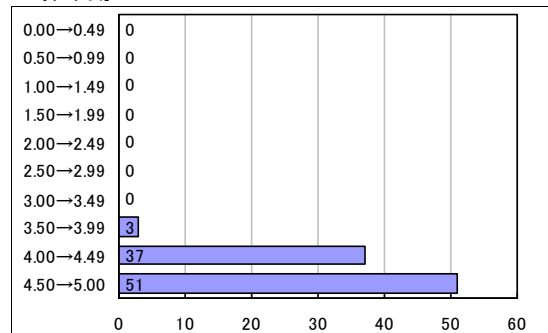
平均値 = 4.36

■経営学部



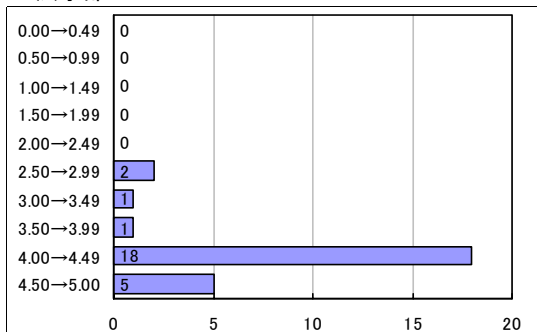
平均値 = 4.34

■非常勤



平均値 = 4.44

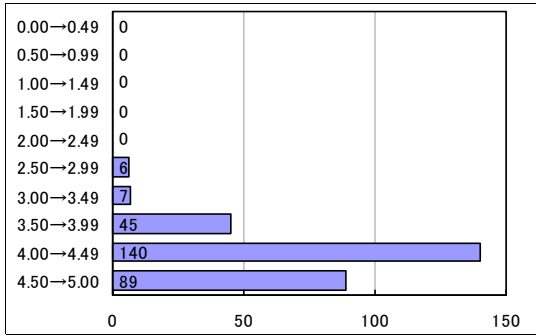
■法学部



平均値 = 4.26

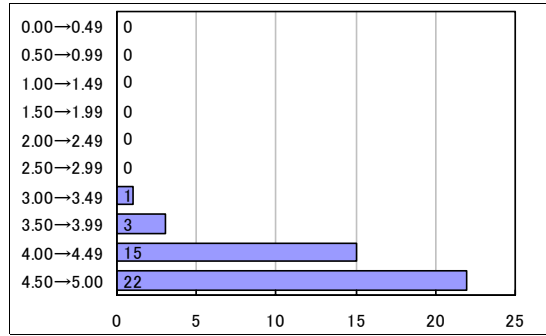
●13.この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

■全体



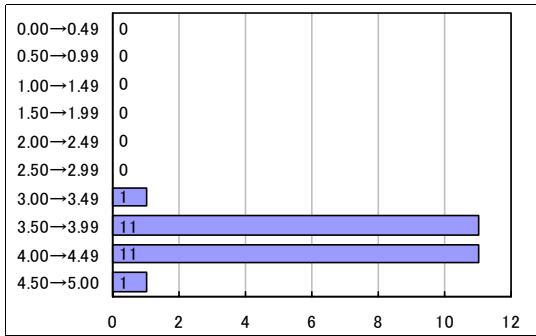
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・教育保育学科



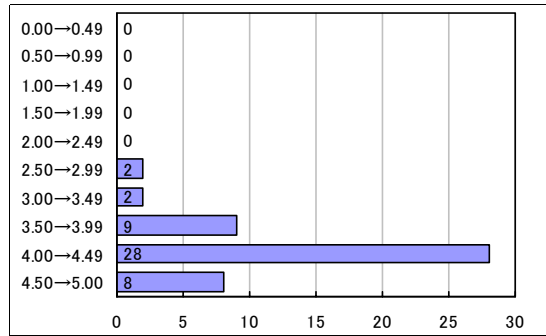
平均値 = 4.33

■経済学部



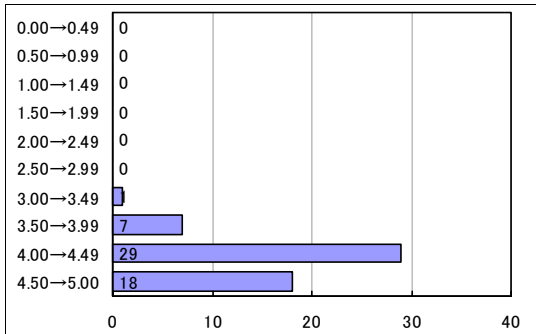
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



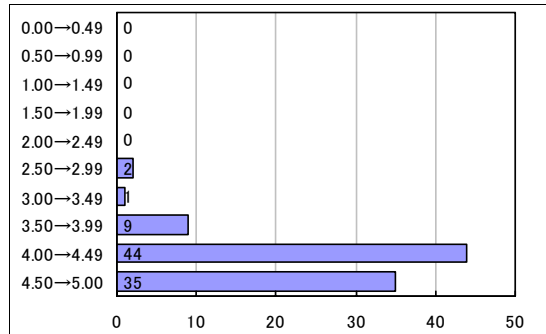
平均値 = 4.16

■経営学部



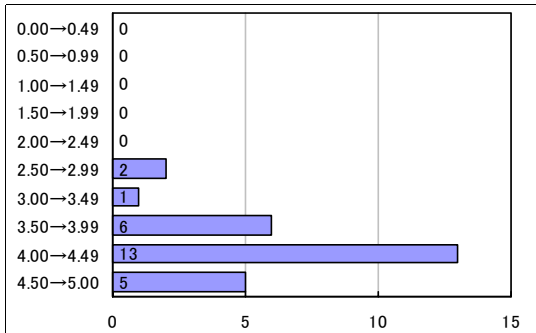
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.26

■法学部



平均値 = 4.10

2023(令和5)年度前期授業評価アンケート結果<学生視点>

1. 学部学科別

<学部学科別回答数>

学部・学科	回答数
経済学部・現代経済学科	3,340
経営学部・経営学科	3,480
法学部・ビジネス法学科	2,475
人間生活科学部・教育保育学科	1,070
人間生活科学部・管理栄養学科	1,625

設 問	経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部		非常勤	全体
	現代経済学科	経営学科	ビジネス法学科	教育保育学科	管理栄養学科		
1	4.05	4.02	3.83	4.26	4.45	4.01	4.01
2	3.99	4.05	4.00	4.30	4.19	4.17	4.09
3	4.28	4.30	4.28	4.47	4.55	4.41	4.35
4	4.02	4.15	4.09	4.32	4.18	4.24	4.15
5	4.03	4.11	4.11	4.34	4.19	4.20	4.14
6	4.16	4.28	4.22	4.45	4.28	4.33	4.27
7	4.08	4.16	4.12	4.35	4.18	4.25	4.18
8	4.11	4.20	4.18	4.26	4.26	4.30	4.21
9	4.11	4.18	4.11	4.34	4.24	4.24	4.19
10	4.14	4.28	4.26	4.41	4.25	4.35	4.27
11	4.07	4.11	4.12	4.32	4.21	4.21	4.16
12	4.25	4.34	4.26	4.48	4.36	4.44	4.34
13	4.04	4.15	4.10	4.33	4.16	4.26	4.16

※ 4.0を下回る項目を赤字で、4.4を上回る項目を青字で示している

2023 年度前期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2023 年度前期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2023 年度前期は、昨年同様、アンケートは紙媒体で実施されたので、2022 年度前期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここでは、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけなどがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

6では設問 11「授業の妨げに対する教員の対応」と設問 4「授業内容のわかりやすさ」設問 5「新しものの見方」についての資料をもとに相関について考察する。

表 1 に、2022 年度と 2023 年度の経済学部在籍学生数を示す。2023 年度は、2022 年度に比べて在籍学生数はやや減少しているが、留学生が占める割合は約 13%程度で変化はない。ただし、表にはないが 2019 年度に比べると留学生の割合が半減していることは注目すべき点である。

表 1 経済学部在籍学生数（2022 年度 7 月 1 日現在、及び 2023 年 7 月 1 日現在）

	全て		留学生	
	2022	2023	2022	2023
1 年次	173	148	25	18
2 年次	172	165	21	18
3 年次	143	162	17	20
4 年次	184	158	27	25
合計	672	633	90	81

2. アンケート回答率

まず、表 2 に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表 2 経済学部教員による開講科目の回答率（2022 年・2023 年の比較）

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数(F)	回答率(%) (F÷E)
経済学部	2022	3,051	3,034	1,955	64.44
	2023	3,656	3,656	1,998	54.65
全学	2022	18,645	18,019	12,502	69.38
	2023	18,510	18,389	12,022	65.38

全学では、授業評価アンケートの対象科目の回答率が2023年度は2022年度と比べ、4ポイント下がっているが、経済学部以外の学部における回答率は68.03で1ポイントの減少である。経済学部の回答率が10ポイント下がったことについては現時点でははっきりした根拠はないが、アンケート実施当日の授業欠席率と関わりがあると推測される。

一方、授業に関するアンケート結果についてはほとんどの設問でポイントが上昇しており、回答率の低さは学習意欲の低い欠席学生の割合の増加に起因していると考えられる。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表3に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。

表3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2022前期 経済学部	2023前期 経済学部	2023前期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.2	4.05	4.06
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.99	4.09
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.2	4.28	4.35
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	4.12	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.0	4.03	4.14
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.1	4.16	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.1	4.08	4.18
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1	4.11	4.21
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.11	4.19
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.1	4.14	4.27
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0	4.07	4.16
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.25	4.34
13	この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）	3.9	4.04	4.16

経済学部についてみると、2022年までの結果に比べ、設問1（出席について）以外の項目で評価が同じもしくはやや上昇している。設問1の回答は経済学部だけでなく、全学でも0.1ポイント以上低くなっており、安易に欠席をする学生の増加を表している。しかし、その背景には高校時代にコロナ過で無理をしなくていいという環境下で教育を受けていることによる影響が大きいと考えられる。教員として

は自主性を重んじつつも、欠席が続く学生に対しては早めの面談等を行い、出席を促すことも必要であると考え。そのことにより、先のこと深く考えずに退学する学生が減ると考える。

コロナ前の2019年度は半分以上の項目で学生の評価が4ポイントを下回っていたが、2022年度から2023年度にかけては評価が上昇し、ほとんどの項目の評価が4ポイントを上回っている。このことは教員による授業の改善や工夫の効果であると言える。特に、そのことが顕著に表れている項目は設問9（板書、スクリーンの見やすさ）で2019年度と比較すると0.2ポイント上昇している。

4. 学生の属性別にみた結果

続いて、学生の属性別の結果を検討する。まず表4に、各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表4 経済学部教員開講科目における各設問ポイント平均値の、学生の属性別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.2
留学生のみ	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5
留学生を除く	4.0	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1
スポーツ学生のみ	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3
スポーツ学生を除く	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1

表4から、例年と同様に留学生の回答が他の学生に比べて0.3ポイント程度高いことがわかる。その要因としては、設問2（意欲的に取り組んだか）の項目の得点が他の学生と比べ、0.5ポイントも高く、すべての項目の高い評価につながっていると考えられる。

また、スポーツ学生についてはどの項目も留学生以外の学生より0.1から0.2ポイント高くなっている。スポーツ学生は好きなことを学生生活の中心に置いているため、学生生活の満足度が高く、高い評価につながっていると考えられる。

次に、表5に、学年別の比較を示す。

表5 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1年生	4.2	4.0	4.4	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5	4.2	4.2
2年生	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1
3年生	4.1	4.0	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2
4年生	3.6	3.8	4.2	3.7	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	4.0

各学年の得点について2022年度は2年生が高かったが、2023年度は1年生と3年生が高い。経年比較の表はないが、昨年得点が低かった現2年生、現4年生が今年度も得点が低く、学年集団ごとの傾向として捉えることができる。ただし、4年生に関しては学習の難易度が上がることもあり、設問4（授

業内容のわかりやすさ)のポイントが例年他の設問に比べかなり低くなっている。4年生の設問1については例年低いポイントであるが、資料からはその理由が読み取れない。

学年によって回答傾向の違いが見られるのは、設問1(出席したか)、設問2(意欲)設問4(わかりやすいか)である。2022年度も同じ傾向であるが、1年生はポイントが高いのに対し、4年生は0.3から0.6低くなっている。要因については授業内容の難化が考えられるが、データの根拠はない。

5. クラスサイズ別集計結果

次に、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

設問	該当 クラス数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1~50人	195	4.0	4.2	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.4	4.2	4.3
51~100人	19	4.0	3.7	4.2	3.5	3.6	4.0	3.9	3.9	3.8	3.5	4.0	4.2	3.6	3.8
101~150人	45	4.1	4.0	4.4	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.1	4.2
151~200人	16	4.0	4.0	4.3	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1
201~250人	7	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.0	4.1
251~300人	3	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0
301人以上	2	4.0	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.1	4.3	4.2	4.2

最もポイントが高かったのは1~50人のクラスの科目であるのに対し、最も評価が低かったのは51~100人のクラスであった。少人数クラスの評価が高いことは明らかであるが、51人以上のクラスについては2022年度同様他のクラスサイズに比べ大幅にポイントが低い。低いポイントの項目を見ると専門科目が多く、授業内容の難易度に比例したものと推測される。各クラス規模共に2022年度とほぼポイントは変わらない。

クラスサイズ別比較としては、50人程度以下のクラス規模の授業は学生にとっても受講しやすいと思われる。

6. 設問4「授業のわかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」の結果および相関について

設問4「わかりやすさ」と設問5「新しいものの見方」に関してはおおむね関連あると推測される。しかし、設問11「授業の妨げ」は、設問4、設問5との関連はあまりないと読み取れる。

この相関はまだはっきりした傾向が出ておらず、しばらく続けて必要かどうかを判断するとよい。

表7 経済学部教員開講科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」のポイント平均値

		設問4	設問5	設問11
1	(留)日本語コミュニケーションレベル5(木3)	4.56	4.56	4.44
2	世界の中のアジア(水2)	4.44	4.33	4.38
3	心の科学I(月4)	4.33	4.37	4.15
4	地域政策(月1)	4.29	4.24	4.38
5	雇用と労働(月2)	4.24	4.16	4.09
6	(日)基礎力養成I(A)(木4)	4.17	3.86	4.09
7	経済統計学(水3)	4.14	3.95	4.25
8	市民生活と経済(済)(金2)	4.13	4.11	4.04
9	金融論(木3)	4.13	4.17	4.08
10	市民生活と経済(営)(金2)	4.10	4.17	4.21
11	多様な言語の世界(木2)	4.03	4.31	3.86
12	地域経済と産業②(月3)	4.00	3.93	3.96
13	地域経済と産業①(火4)	3.99	3.99	4.07
14	地理学I(地誌を含む。)(月2)	3.97	4.03	3.89
15	財政学(月3)	3.97	4.13	4.06
16	経済学史(木2)	3.95	4.03	4.11
17	戦後日本経済の動き①(金1)	3.92	4.10	4.08
18	戦後日本経済の動き②(金4)	3.91	3.95	4.14
19	生活と数(月1)	3.91	3.85	3.76
20	市民生活と経済(法)(金2)	3.91	3.96	3.95
21	マクロ経済学(水2)	3.79	3.91	4.11
22	経済地理学(月4)	3.58	3.79	3.98
23	アジア経済論(水1)	3.42	3.64	3.97
24	ミクロ経済学(火3)	3.10	3.32	3.87

7. 専門共通基礎について

専門共通基礎I・IIについて、6と同様にわかりやすさに関する項目の結果を検討する。専門共通基礎I・IIは、3学部学生全員が履修し、経済学部専門科目の入口となる科目であることから重要な科目である。また、学部別にクラスが分けられ、複数教員が分担する形式で開講されており、その点が学生にとっての理解度や満足度にどのような影響を与えているか検討する必要がある。

表8に、経済学部専門共通基礎I・II科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較を示した。

表8 経済学部専門共通基礎Ⅰ・Ⅱ科目における、設問4「わかりやすさ」設問5「新しいものの見方」設問11「授業の妨げ」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較

科目名	対象	有効数	設問 04	設問 05	設問 11	教員
市民生活と経済 (済)(金2)	全学生	93	4.13	4.11	4.07	佐藤 正之 牛山 隆一 木村 牧郎 齋藤 敦 定森 亮 酒井 愛 下村 尚司 羽田 徹也 ブティ ビック リエン 村山 徹 安部 伸哉
	留学生のみ	6	4.17	4.33	4.17	
	留学生を除く	87	4.13	4.09	4.03	
	スポーツ学生のみ	6	4.50	4.67	4.50	
	スポーツ学生を除く	87	4.10	4.07	4.01	
市民生活と経済 (営)(木2)	全学生	136	4.10	4.17	4.21	
	留学生のみ	19	4.37	4.37	4.26	
	留学生を除く	117	4.06	4.14	4.20	
	スポーツ学生のみ	13	3.92	4.15	4.15	
	スポーツ学生を除く	123	4.12	4.17	4.21	
市民生活と経済 (法)(木2)	全学生	75	3.91	3.96	3.95	
	留学生のみ	7	3.86	3.86	3.86	
	留学生を除く	68	3.91	3.97	3.96	
	スポーツ学生のみ	28	3.86	3.89	3.93	
	スポーツ学生を除く	47	3.94	4.00	3.96	
戦後日本経済の動き ①(金1)	全学生	103	3.92	4.10	4.08	安部 伸哉
	留学生のみ	14	4.29	4.43	4.14	
	留学生を除く	89	3.87	4.04	4.07	
	スポーツ学生のみ	6	3.33	3.33	3.83	
	スポーツ学生を除く	97	3.96	4.14	4.09	
戦後日本経済の動き ②(金4)	全学生	22	3.91	3.95	4.14	安部 伸哉
	留学生のみ					
	留学生を除く					
	スポーツ学生のみ	9	3.78	3.89	4.22	
	スポーツ学生を除く	13	4.00	4.00	4.08	
地域経済と産業① (火4)	全学生	112	3.99	3.99	4.07	村山 徹 南宮 智娜
	留学生のみ	12	4.25	4.08	4.17	
	留学生を除く	100	3.96	3.98	4.06	
	スポーツ学生のみ	10	4.22	4.33	4.33	
	スポーツ学生を除く	102	3.97	3.96	4.05	

地域経済と産業② (月3)	全学生	107	4.00	3.93	3.96	村山 徹 南宮 智娜
	留学生のみ	29	3.97	4.00	3.86	
	留学生を除く	78	4.01	3.91	4.00	
	スポーツ学生のみ	12	3.92	4.00	4.00	
	スポーツ学生を除く	95	4.01	3.93	3.96	

まず、専門共通基礎 I 「市民生活と経済」の3つのクラスについて述べると、2022年度は3クラスとも、この3つの設問の評価ポイントが4点を割っていたが、2023年度はおおむね4ポイントを上回っている。法学部の学生、経済学部以外のスポーツ学生のポイントが低くなっているが、昨年と異なり、経済学部の学生のポイントは高くなっており、専門分野に対する学習意欲が高くなっているようである。経済学部の教員にとっては授業の励みとなる好材料である

次に、専門共通基礎 II 「戦後日本経済の動き」「地域経済と産業」のそれぞれ2つのクラスについて述べる。①は経済学部向けクラス、②は他学部向けクラスである。経済学部の学生と他学部の学生のポイントはほぼ同じである。

専門共通基礎 I、専門共通基礎 II ともに設問4、設問5、設問11についてはポイントの高低は一致しており、関連があるようである。6での相関とはやや傾向が異なる結果となっている。専門共通基礎科目は履修人数が101人以上のクラスの授業が多く、5のクラスサイズの傾向を反映した高めのポイントとなっている。

8. まとめ

2023年度前期のアンケート結果は、経済学部において2022年度よりほぼすべての項目でポイントが上がっており、教員の授業に対する改善や工夫の成果であると考えられる。一方で、学生の安易な欠席の増加は大きな問題であり、学部としても学生に対して今まで以上に学習意欲を引き出す授業の改善や工夫を行う必要であると感じる。

これから入学してくる学生も同様の傾向が予想されるため、大学にとっても、学部にとっても具体的な学生への働きかけが大切になってくると思われる。

2023 年前期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	18,510	18,389	12,022	65.38
経営学部	4,532	4,532	2,961	65.34

経営学部については、実施予定 55 科目の全てにおいて授業評価アンケートが実施され、科目毎の回収率は 100%である。経営学部教員担当科目に係る回答率は 65.34%であったが、これは全体平均の 65.38%に近似する回答率であり、3 学部では、経済学部 (54.64%) と法学部 (60.6%) の中間に位置している。

前回 (昨年度後期) アンケートの回答率と比べると、同時期の回答率は、全体平均が 62.29%、経営学部が 55.41%であり、前期と後期の授業構成 (学生数など) の違いがあるものの、今期は全体・経営学部ともに改善した。とりわけ経営学部は 10%に近い上昇をみており、各教員の授業評価アンケート回収の努力の跡がうかがえる。コロナ禍前の 2019 年度後期では、経営学部の回答率 71.60%、全体平均 67.73%であり、その回答率にはまだ追いついていないが、今期はその差の大半を埋めたものと評することができるであろう。

また今回のアンケート結果を見る限り、今春の政府による新型コロナの感染症法上の位置づけの 5 類移行 (決定) による大きな影響はなかったと考えられる。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問項目	19 年度後期	今期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.1	4.0
2	あなたはこの授業の履修 (授業そのもの、予習、復習) に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	4.0
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.2	4.3
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.2
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	4.1
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1	4.2

9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.1	4.3
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	4.1
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.3
13	この授業の教え方はよいですか	/	4.0

*4.0 未満の数値は赤字表記

上表の集計データは、経営学部教員担当科目の授業における、コロナ禍前の2019年度後期と今期の学生評価に係る平均値を、設問番号毎に併記したものである。設問全体としてみると、今期は2019年度後期に比べ、設問1の“授業出席”（但し0.1ポイントの差）を除いた全ての項目でポイントが上回り、かつ4ポイント以上となっている。ここからコロナ禍により懸念された、学生・教員それぞれの「学びづらさ」と「教えづらさ」が、主として教員による授業運営の工夫などにより克服され、学生の授業満足度はコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、あるいは上昇に転じたとみてよいであろう（但し、設問1の“授業出席”を除く。）

今年は秋口から季節性インフルエンザがこれまでになく早い時期に流行しつつある。インフルエンザは、ここ3年余りの新型コロナウイルス対策により目立った流行はみられなかったが、その分ウイルスに対する免疫力は弱っており、インフルと新型コロナに同時感染するケースも報告されている。上記の集計データはいずれも設問1の“授業出席”がベースとなっていることから、学生に対しては普段から、感染症予防と健康管理の大切さを啓蒙し、促していく必要があると考える。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

*属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.0	4.3	3.9	3.9	4.0
2	4.1	4.3	4.0	4.0	4.1
3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
4	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2
5	4.1	4.3	4.1	4.0	4.1
6	4.3	4.4	4.2	4.1	4.3
7	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2
8	4.2	4.4	4.2	4.1	4.2
9	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2

10	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3
11	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2
12	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
13	4.2	4.4	4.1	4.1	4.2

*4.0未満の数値は赤字表記

留学生は全ての設問において、日本人学生のポイントと同じか、あるいはそれを上回る数値を示している。とりわけ、設問2（予習・復習を含めた授業への取り組み）は、日本人学生に比べ0.3ポイント上回っており、こうした留学生の授業への参加意欲が日本人学生への刺激となり、ひいては両者の相乗効果を生じさせることを期待したい。もっとも日本人学生だけをみれば、全ての設問に対する数値は、2019年度後期（コロナ禍前）比で日本人学生以外の学生の数値を上回っているが、今回のアンケート結果においても同様である。

スポーツ学生に関しても留学生と同様、今期は、設問1を除くすべての項目において、4ポイント以上の高い数値となった。この点スポーツ学生を除く学生についても、設問1を除くすべての項目において、4.0ポイント以上の良い結果となったが、そのことからスポーツ学生の授業に対する履修意欲は相対的に高まりつつあるといえよう。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201～250人	251～300人
1	4.2	4.0	3.9	4.0	4.1	4.2
2	4.4	4.1	4.0	4.0	3.7	4.0
3	4.5	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3
4	4.5	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2
5	4.4	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0
6	4.5	4.3	4.2	4.2	4.1	4.4
7	4.5	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2
8	4.5	4.2	4.1	4.1	4.2	4.4
9	4.5	4.2	4.1	4.1	3.8	4.1
10	4.5	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4
11	4.4	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0
12	4.6	4.3	4.3	4.2	4.4	4.5
13	4.5	4.1	4.0	4.0	4.1	4.3

*300人以上は、該当クラスなし

*4.0未満の数値は赤字表記

該当するクラス数は、1～50人で28クラス、51～100人で5クラス、101～150人で14クラス、151～200人で5クラス、201～250人で2クラス、251～300で1クラスであった。評価ポイントは、2019年度後期（コロナ禍前）に比べると本年度は全体的に高い数値を示しており、ポイントが一番高いのは、平均4.3ポイントをマークした1～50人の履修者クラスである。その他については、51～100人、および、101～150人で平均4.1ポイント、151～200人、201～250、251～300人で平均4.2ポイントとなっている。1～50人のクラスを除けば、これまではクラスの規模が大きくなるにしたがって評価ポイントが概ね低くなっていたが、今期はそれと逆の方向に振れており、251～300人で4.5ポイントをマークした授業（設問12）」があった。

5. クロス集計について

* 「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」

			設問4					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問11	回答なし	3	1	3	4	2	
		5		893	196	40	11	7
		4	1	164	896	91	14	3
		3		63	178	240	17	12
		2		7	20	17	11	6
		1		4	15	7	6	29

* 「設問11：教室管理」と「設問8：教科書・配布資料の活用」

			設問8					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問11	回答なし	5		6	2		
		5	1	964	132	38	6	6
		4		201	870	85	8	5
		3		72	160	254	18	6
		2		10	21	10	12	8
		1		6	12	3	8	32

* 「設問11：教室管理」と「設問9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

			設問9					
			回答なし	5	4	3	2	1

経営学部	設問 11	回答なし	5	1	5	1	1	
		5		989	116	31	7	4
		4	3	202	848	93	19	4
		3		57	151	271	23	8
		2		6	24	8	15	8
		1		4	16	5	4	32

* 「設問 11：教室管理」と「設問 10：教員の声の聞こえやすさ」

			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし	6	1	2	2	2	
		5	3	1023	102	11	6	2
		4	3	249	843	63	9	2
		3	2	89	162	234	15	8
		2		15	19	15	9	3
		1		11	5	5	6	34

設問 11（教室管理）と、設問 4（わかりやすさ）、設問 8（教科書・配布資料の活用）、設問 9（板書やクリーン・モニターなどの見やすさ）、設問 10（教員の声の聞こえやすさ）の計 4 項目に関するそれぞれのクロス集計についてみると、これまでは、教室管理の評価が高ければクロス項目の評価も高くなるという相関関係が認められており、今期のアンケート結果についても同じである。

6. 「新しいものの見方」「わかりやすさ」と「教室管理」の分析

科目別上位 10 の授業

科目名	新しいものの見方	わかりやすさ	教室管理
トピック対策英語 I(1)	4.80	4.70	4.80
国際経済・ビジネス事情	4.76	4.68	4.56
情報システムの世界	4.73	4.67	4.14
メディア表現	4.70	4.70	4.50
情報リテラシー(営 3)	4.62	4.60	4.69
地域調査	4.62	4.62	4.62
英語リーディング(2)	4.57	4.57	4.43

ビジネスモデル	4.57	4.46	4.19
(留)アガミック日本語レベル5	4.55	4.55	4.55
(留)日本事情 II	4.53	4.50	4.53

上表は、まず設問 5（新しいものの見方）の数値を左縦列に高い順（但し上位 10 科目のみ）より並べ、設問 4（わかりやすさ）の数値を中央縦列に、その右側縦列には問 11（教室管理）の数値を置いたものである。その結果、設問 4 の評価ポイントが高い科目と、設問 5 及び設問 11 のポイントが高い科目との相関関係が概ね認められることがわかる。

以上

2023 年度前期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	3,602	3,602	2,183	60.61
【全体】	18,510	18,389	12,022	65.38

法学部の専任教員担当科目のうち 27 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 60.61%と、前年度後期より 1.67 ポイント上昇した。全体と比べて低い数値にはなっているが、上昇に兆しが見られているので、今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.2

前年度後期の結果と比較すると、ほとんどの項目で、ポイント上昇している。項目 2, 3, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 13 である。特に項目 13 は、0.3 ポイント上昇した。低下した項目はひとつも見られなかった。これらの成果を項目 1 の学生の出席率向上に結び付けたい。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.9	4.0	3.9	3.8	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.4	4.4	4.2	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.1	4.3	4.0	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0	4.3	4.0	4.2
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2	4.2	4.4	4.1	4.4
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.1	4.3	4.0	4.3
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.2	4.3	4.1	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.1	4.3	4.0	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.2	4.4	4.2	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4	4.4	4.2	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.1	4.3	4.0	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	74.5	64.5	78.3	75.9	83.0

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.7	3.8	3.7	3.7	3.3
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	3.9	4.2	4.0	4.2
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.1	4.5
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.1	4.4
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.1	4.3	4.3	4.6
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.1	4.4
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.1	4.2	4.2	4.5
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.1	4.4
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.1	4.2	4.3	4.5
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.1	4.2	4.1	4.5
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.1	4.2	4.2	4.6
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	72.9	60.8	76.9	80.8	82.4

まず、学生全体について、設問毎にみると、設問1(学生の授業出席)の数値が低いですが、昨年度後期と変化が見られない。改善するための指導が必要であろう。設問E(シラバスを読んだか)は、特に1年生が低くなっている。入学時からシラバスについて理解が乏しいと考えられる。全体的な指導を徹底して、履修登録を適切できるようにする必要がある。4年生は、15ポイント以上上昇して、改善の成果が見られた。

次に、スポーツ学生について、例年通りに設問1(出席)が、全体よりも低くなっているが、その他の設問はおおよそ、全体と大きな差が見られなくなっている。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.7	3.5	3.9	3.9	3.8
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.3	3.7	4.1	3.9	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.6	3.9	4.4	4.1	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.6	3.6	4.2	3.8	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.6	3.9	4.2	3.9	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.6	3.7	4.3	4.0	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.6	3.7	4.2	3.9	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.5	4.0	4.2	3.9	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.6	3.6	4.2	3.9	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.7	4.0	4.3	4.0	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.7	3.7	4.2	3.9	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.7	3.4	4.3	4.0	4.2
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.6	3.6	4.2	3.8	4.1

※

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが3、51~100名規模のものが2、101~150名規模のものが14、151~200名規模のものが4、201~250名規模のものが3である。

51名~100名規模と151名~200名規模は、項目13が4.0ポイントを切ってしまうている。物理的に難しい面もあるが、最新のICT技術を活用して、改善に取り組む必要がある。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
政治の世界(木4)	4.79	4.83①
憲法(金3)	4.73	4.73②
(教)社会科・公民科教育法I(火3)	4.63	4.63③
西洋史(金3)	4.56	4.42⑥
市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.45	4.45④
キャリア支援講座I(営)(月2)	4.39	4.35⑧
企業と法①(水1)	4.35	4.41⑦
裁判と法①(木2)	4.35	4.26⑩
地域創生と文化遺産(木4)	4.33	4.34⑨
歴史との対話(水2)	4.32	4.12
(日)基礎力養成I(C)(木4)	4.29	3.98
情報と法(金1)	4.23	4.08
国際社会と法①(火2)	4.21	4.26
物権法(水2)	4.17	4.14
知的財産法(金4)	4.17	4.44⑤
キャリア支援講座I(法)(水3)	4.15	4.20
市民生活と法(営)(木1)	4.11	4.14
裁判と法②(木2)	3.97	4.00
市民生活と法(法)(木1)	3.94	3.96
企業と法②(水1)	3.93	3.97
国際社会と法②(火1)	3.88	3.97
民法総則(火1)	3.80	3.90
租税法(金3)	3.76	3.97
市民生活と法(済)(木1)	3.71	3.92
刑法総論(金1)	3.24	3.43
法哲学(木1)	2.98	3.21
刑法各論(金2)	2.89	3.22

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
憲法(金3)	5.00
政治の世界(木4)	4.75
(教)社会科・公民科教育法I(火3)	4.63
市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.55
キャリア支援講座I(営)(月2)	4.45
(日)基礎力養成I(C)(木4)	4.34
西洋史(金3)	4.33
情報と法(金1)	4.27
キャリア支援講座I(法)(水3)	4.24
国際社会と法①(火2)	4.21

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4		3	3		
		5		667	178	28	6	2
		4	1	96	606	94	17	3
		3	2	27	96	222	22	7
		2		3	16	16	17	4
		1		6	7	8	6	16
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4	1	1	4		
		5	6	712	131	19	7	6
		4	3	129	617	55	12	1
		3		41	108	211	11	5
		2		8	22	10	14	2
		1		5	8	6	3	21
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4		4	2		
		5	1	703	134	30	10	3
		4		108	615	74	16	4
		3	3	33	78	234	25	3
		2		9	12	15	15	5
		1		4	2	12	1	24
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	5	1	2	2		
		5	3	775	89	7	4	3
		4	2	157	606	43	7	2
		3	1	43	114	203	12	3
		2		9	18	17	12	
		1	1	8	8	6	3	17

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問4、設問8、設問9、設問 10 とで行なわれている。今年度前期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	118	市民生活と法(済)(木1)	3.71	3.92	3.94
留学生のみ	9		4.11	4.11	4.11
留学生を除く	109		3.68	3.90	3.93
スポーツ学生のみ	12		4.17	4.00	4.00
スポーツ学生を除く	106		3.66	3.91	3.93
全学生	131	市民生活と法(営)(木1)	4.11	4.14	4.14
留学生のみ	18		4.17	4.35	4.24
留学生を除く	113		4.10	4.11	4.12
スポーツ学生のみ	12		4.25	4.33	4.50
スポーツ学生を除く	119		4.09	4.12	4.10
全学生	70	市民生活と法(法)(木1)	3.94	3.96	4.06
留学生のみ	6		4.00	4.17	4.17
留学生を除く	64		3.94	3.94	4.05
スポーツ学生のみ	26		3.69	3.69	3.81
スポーツ学生を除く	44		4.09	4.11	4.20
全学生	11	市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.45	4.45	4.55
スポーツ学生のみ	5		4.00	4.20	4.00
スポーツ学生を除く	6		4.83	4.67	5.00

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎Ⅱ

全学生	102	企業と法①(水1)	4.35	4.41	4.17
留学生のみ	12		4.50	4.50	4.50
留学生を除く	90		4.33	4.40	4.12
スポーツ学生のみ	23		4.26	4.39	3.96
スポーツ学生を除く	79		4.38	4.42	4.23
全学生	86	企業と法②(水1)	3.93	3.97	4.03
留学生のみ	16		3.81	4.00	4.13
留学生を除く	70		3.96	3.96	4.01
スポーツ学生のみ	6		3.67	3.67	3.67
スポーツ学生を除く	80		3.95	3.99	4.06
全学生	77	裁判と法①(木2)	4.35	4.26	4.21
スポーツ学生のみ	11		4.09	4.09	4.18
スポーツ学生を除く	66		4.39	4.29	4.21
全学生	111	裁判と法②(木2)	3.97	4.00	3.85
留学生のみ	11		4.18	4.09	4.00
留学生を除く	100		3.95	3.99	3.84
スポーツ学生のみ	19		3.68	3.79	3.72
スポーツ学生を除く	92		4.03	4.04	3.88
全学生	85	国際社会と法①(火2)	4.21	4.26	4.21
スポーツ学生のみ	18		4.33	4.39	4.35
スポーツ学生を除く	67		4.18	4.22	4.18
全学生	140	国際社会と法②(火1)	3.88	3.97	4.08
留学生のみ	22		4.00	4.36	4.00
留学生を除く	118		3.86	3.90	4.09
スポーツ学生のみ	10		3.80	3.60	3.90
スポーツ学生を除く	130		3.88	4.00	4.09

今学期前期の専門共通基礎Ⅰは、「市民生活と法」「市民生活とキャリア形成（再履修）」が分析の対象となっている。「市民生活と法」では、留学生と全学生との差異は小さく、全体的に満足度が高くなっている。「市民生活とキャリア形成（再履修）」では、スポーツ学生と全学生に比較的大きな差異が見られ、全項目でスポーツ学生の方が平均値が低い傾向が見られる。

専門共通基礎Ⅱについては、「企業と法」「裁判と法」「国際社会と法」が分析の対象となっている。それぞれの科目の①が科目設置学部の子生向け、②がそれ以外の学部子生向けとなっている。いずれの科目においても、全体的に留学生で平均値が高い傾向になっている。コロナ禍の影響に注意しつつ、スポーツ学生の満足度を高める方策を立てていく必要がある。

2023年度前期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科FD委員会

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは41科目について行われた。今回の回答率は80.70%であり、大学全体65.38%よりも高い値となっている（表1）。

表1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	1,140	1,140	920	80.70
【全体】	18,510	18,389	12,022	65.38

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表2から、どの設問に関しても比較的高いポイント（すべての設問に対し4.0以上のポイント）が得られていることが明らかとなった。ただし、設問1「あなたはこの授業によく出席しましたか」と設問8「教科書・配布資料は活用されていたと思いますか」は、他の設問よりやや低い評価となった。一方、設問3「授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」、設問6「教員の教え方には熱意があったと思いますか」、設問12「教員は授業時間を守っていたと思いますか」は、4.45ポイントを超え、高い評価となった。

表2

	設問項目	本学科	大学全体
1	あなたは授業によく出席しましたか	4.26	4.06
2	あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか	4.30	4.09
3	授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.47	4.35
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.32	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.34	4.14
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.45	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.35	4.18
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.26	4.21
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.34	4.19
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.41	4.27
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.32	4.16
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.48	4.34
13	この授業の教え方はいいですか	4.33	4.16

設問4「わかりやすさについて」は、全学部学科中、平均値上位3名（表3）、設問5「新しいものの見方・考え方について」は、上位10名中7名（表4）、設問11「教室管理・授業運営について」は、上位10名中4名（表5）が教育保育学科教員であった。学科教員の授業方法について、非常に高い評価を獲得できたため、今後も継続して、学科全体で創意工夫をしながら、授業を行っていききたい。

表3「設問4 わかりやすさについて」

No.	科目名	平均	所属名
1	体育(火 1)	5.00	人間生活科学部・教育保育学科
2	子どもと造形(1組)(金 4)	4.93	人間生活科学部・教育保育学科
3	教育原理(幼・小)(火 2)	4.86	人間生活科学部・教育保育学科
4	英語リーディング(1)／英語リーディング(再)(1)(月 2)	4.80	経営学部
5	コリア語入門(木 3)	4.80	非常勤
6	Q1(留)日本語コミュニケーションレベル 3(木 3.金 3)	4.80	非常勤
7	(教保)英語コミュニケーション(A)(月 1)	4.80	非常勤
8	政治の世界(木 4)	4.79	法学部
9	子どもと造形(2組)(金 3)	4.77	人間生活科学部・教育保育学科
10	道徳の理論と指導法(小)(月 3)	4.76	非常勤

表4「設問5 新しいものの見方・考え方について」

No.	科目名	平均	所属名
1	子どもと造形(1組)(金 4)	5.00	人間生活科学部・教育保育学科
2	体育(火 1)	5.00	人間生活科学部・教育保育学科
3	子どもと造形(2組)(金 3)	4.85	人間生活科学部・教育保育学科
4	政治の世界(木 4)	4.83	法学部
5	トピック対策英語 I(1)(金 2)	4.80	経営学部
6	調理学(2組)(火 3)	4.80	人間生活科学部・管理栄養学科
7	教育原理(幼・小)(火 2)	4.79	人間生活科学部・教育保育学科
8	実習基礎 I(水 2)	4.79	人間生活科学部・教育保育学科
9	国際経済・ビジネス事情(木 3)	4.76	経営学部
10	(留)日本事情 III(金 2)	4.75	非常勤

表5「設問11 教室管理・授業運営について」

No.	科目名	平均	所属名
1	憲法(金 3)	5.00	法学部
2	体育(火 1)	5.00	人間生活科学部・教育保育学科
3	トピック対策英語 I(1)(金 2)	4.80	経営学部
4	(教)教育原理(中・高・栄養)(金 4)	4.77	人間生活科学部・教育保育学科
5	政治の世界(木 4)	4.75	法学部
6	(留)日本事情 III(金 2)	4.75	非常勤
7	(教)道徳の理論と指導法(月 4)	4.75	非常勤
8	教育原理(幼・小)(火 2)	4.71	人間生活科学部・教育保育学科
9	市民生活とキャリア形成(再 3)(月 1)	4.71	非常勤
10	健康指導法(1 組)(火 3)	4.70	人間生活科学部・教育保育学科

3. 学生視点からのデータ分析（教育保育学科）

(1) 学年別の結果

表6

	1年	2年	3年	4年
1	<u>4.6</u>	4.2	4.2	4.1
2	<u>4.5</u>	4.3	4.3	4.1
3	<u>4.5</u>	<u>4.6</u>	<u>4.6</u>	4.3
4	<u>4.5</u>	4.1	4.4	4.4
5	<u>4.5</u>	4.2	4.4	4.3
6	<u>4.6</u>	4.3	4.4	<u>4.5</u>
7	<u>4.5</u>	4.2	4.4	4.4
8	4.3	4.2	4.4	4.4
9	<u>4.5</u>	4.2	4.3	4.4
10	<u>4.6</u>	4.3	4.4	<u>4.5</u>
11	4.3	4.2	4.4	4.4
12	<u>4.6</u>	4.3	<u>4.5</u>	<u>4.5</u>
13	4.4	4.0	4.4	4.4

4.5以上の数値に下線を付した。特筆すべきはすべての項目で4.0以上のポイントが付いていることである。昨年度の前期は3.8ポイントが最低だったため、改善が見られた。

学年を通してしてみると、ほとんどの項目で1年生が高く、2年生で低い傾向にある傾向にある。学外実習も開始する2年生で、全ての学生がモチベーションを維持できるような

サポートが必要であると感じた。

設問2「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」はコロナ禍以前の2019年のアンケートでも低い傾向だったが、今年度は低学年ほど意欲的に予習復習に取り組んでいることが見て取れ、改善している。

(2) スポーツ推薦入学の学生

表7

	1年		2年		3年		4年	
	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く
1	4.6	4.6	4.3	4.2	3.7	4.3	3.4	4.3
2	4.7	4.4	4.8	4.3	4.4	4.3	4.1	4.2
3	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4	4.6	4.3	4.3
4	4.7	4.4	4.5	4.0	4.3	4.4	4.3	4.4
5	4.7	4.5	4.6	4.1	4.4	4.4	4.3	4.4
6	4.8	4.6	4.6	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5
7	4.7	4.5	4.5	4.1	4.3	4.4	4.3	4.4
8	4.4	4.3	4.5	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4
9	4.5	4.5	4.8	4.1	4.2	4.3	4.4	4.4
10	4.7	4.6	4.9	4.2	4.2	4.5	4.4	4.5
11	4.6	4.3	4.5	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4
12	4.8	4.6	4.8	4.2	4.4	4.5	4.5	4.5
13	4.7	4.4	4.4	4.0	4.3	4.4	4.4	4.4

4.7以上の数値を黄色で、4.0未満の数値を緑色で表した。

昨年度は4.0未満の数値が7つあり、そのうち6つがスポーツ学生についての数値であった。しかし、今年度は1、2年生においてはスポーツ学生が高い数値を獲得している。

3、4年生においては設問1「あなたはこの授業によく出席しましたか」のみ、4.0未満の数値に留まった。学外実習が本格化する高学年になると部活と勉強の両立が困難になるのではないかと分析する。教職員はよく相談にのり、サポートすると改善されると考える。

2023 年度前期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

実施予定 49 科目の全てが実施され回収率は 100%であった。回答率は 86.39%で、全体の回答率 65.38%よりも高い回答率であった。また、2022 年度前期の回答率 83.4%と比べて約 3 ポイント高かった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
人間生活科学部・管理栄養学科	49	49	100.00	1,624	1,624	1,403	86.39
【全体】	291	287	98.62	18510	18389	12022	65.37

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについて（2022 年度前期との比較）

設 問	内容	2023年度前期		2022年度前期	
		管理栄養学科	全体	管理栄養学科	全体
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.45	4.06	4.48	4.13
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか	4.19	4.09	3.87	4.19
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.55	4.35	4.31	3.9
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.18	4.15	4.03	4.27
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.19	4.14	3.99	4.05
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.28	4.27	4.26	4.05
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.18	4.18	4.06	4.24
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.26	4.21	4.16	4.09
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.24	4.19	4.11	4.17
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.25	4.27	4.18	4.12
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.21	4.16	4.11	4.22
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.36	4.34	4.37	4.05
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)	4.16	4.16	3.92	4.33
	全平均値	4.27	4.2	4.14	4.13

2022 年度前期と比較し、設問 2 が高くなる傾向をみとめ、本学科ですべての授業を対面授業としてから 1 年が経過し、学生の学習意欲がさらに高まっているのではないかと考えられた。

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

設問	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
1	576	4.4	613	4.5	364	4.3	71	4.2
2	575	4.1	614	4.3	364	4.2	71	4.1
3	265	4.5	258	4.7	163	4.4	44	4.4
4	575	4.0	614	4.3	364	4.2	71	4.1
5	576	4.0	614	4.3	364	4.2	71	4.1
6	572	4.2	614	4.4	363	4.3	71	4.1
7	576	4.0	612	4.3	363	4.1	71	4.2
8	575	4.2	608	4.4	363	4.2	71	3.9
9	576	4.1	614	4.4	363	4.2	71	4.2
10	575	4.2	614	4.3	363	4.2	71	4.4
11	575	4.1	614	4.3	363	4.2	71	4.1
12	576	4.3	614	4.5	364	4.3	71	4.3
13	576	4.0	610	4.3	360	4.1	71	4.2
平均	551	4.2	586	4.4	348	4.2	69	4.2

出席率は 4 年生で若干低かったが、就職活動によるものが原因と考えられた。

今年度の前期では「設問 2 : 学習意欲」は、どの学年を比べても大きな違いはないと考えられた。

「設問 4 : わかりやすさ」「設問 5 : 新しいものの見方」「設問 7 : 授業の速さや進め方」が 1 年生で少し低い傾向にあったが、これは大学 1 年生が、まだ、大学の 90 分授業に慣れていないことが原因ではないかと思われた。

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1年生	2年生	3年生	平均	1年生	2年生	3年生	平均
1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4
2	4.4	4.4	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
3	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4	4.6
4	4.2	4.4	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2	4.2
5	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2	4.2
6	4.3	4.4	4.1	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3
7	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0	4.3	4.1	4.2
8	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.2	4.3
9	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.4	4.2	4.2
10	4.4	4.3	4.0	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3
11	4.4	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3	4.2	4.2
12	4.4	4.3	4.2	4.3	4.3	4.5	4.3	4.4
13	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1	4.2
平均	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3

1年生、2年生、3年生のいずれの学年において、非スポーツ学生とスポーツ学生の間で、いずれの設問も顕著な差は見られなかった。1、2年生で授業の出席についてはスポーツ学生の方が非スポーツ学生よりポイントが多少低く、「設問2：学習意欲」はスポーツ学生の方が非スポーツ学生よりわずかに高い傾向がみられたが、大きな差ではないと考えられた。

4. 「設問4：授業内容のわかりやすさ」における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
食品学 I	1	4.48	4.26	4.70
調理科学実験	1	4.48	4.53	4.44
食品学実験	1	4.44	4.41	4.48
健康管理論	1	4.35	3.97	4.73
調理学	1	4.31	3.97	4.65
生化学実験 I	1	3.66	3.48	3.84
解剖生理学 I	1	3.29	3.33	3.24
生化学 I	1	3.25	2.89	3.61
平均	1	4.03	3.85	4.21

科目名	学年	平均	1組	2組
栄養調理学実習	2	4.58	4.66	4.50
基礎栄養学 I	2	4.46	4.58	4.35
給食経営管理論 I	2	4.40	4.52	4.29
応用栄養学 I	2	4.33	4.53	4.13
食品衛生学 I	2	4.32	4.42	4.21
応用栄養学実習	2	4.31	4.23	4.39
食品衛生学実習 I	2	4.23	4.39	4.07
病態学 I	2	3.57	3.72	3.41
平均	2	4.27	4.38	4.17

	学年	平均	1組	2組
臨床栄養学Ⅱ	3	4.36	4.38	4.33
栄養教育論Ⅱ	3	4.33	4.28	4.38
栄養教育論実習Ⅱ	3	4.28	4.28	4.27
臨床栄養学実習Ⅰ	3	4.25	4.19	4.31
応用栄養学演習	3	4.11	4.22	4.00
公衆衛生学Ⅰ	3	4.07	4.04	4.11
平均	3	4.23	4.23	4.23

	学年	平均	1組	2組
臨床栄養学実習	4	4.04	4.00	4.07

1年生では、1組の平均ポイントが3.85に比較し、2組の平均ポイントが4.21と高い傾向を示した ($p=0.234$ で有意差はなし)。しかし、科目によっては、2組よりも1組のポイントの方が高い科目がみられた。2年生では、1組の平均ポイントが4.38に比較し、2組の平均ポイントが4.17と低い傾向をしめした ($p=0.209$ で有意差はなし)。

5. 「設問5：新しいものの発見」における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
食品学実験Ⅰ	1	4.36	4.33	4.38
調理学	1	4.35	3.90	4.80
調理科学実験	1	4.35	4.38	4.31
食品学Ⅰ	1	4.34	4.19	4.50
健康管理論	1	4.23	4.64	3.82
生化学実験Ⅰ	1	3.88	3.69	4.08
生化学Ⅰ	1	3.49	3.11	3.87
解剖生理学Ⅰ	1	3.37	3.41	3.33
平均	1	4.05	3.96	4.14

科目名	学年	平均	1組	2組
栄養調理学実習	2	4.61	4.66	4.57
基礎栄養学Ⅰ	2	4.45	4.48	4.41
給食経営管理論	2	4.36	4.52	4.21
応用栄養学実習	2	4.34	4.26	4.43
食品衛生学実習Ⅰ	2	4.33	4.45	4.21
食品衛生学Ⅰ	2	4.30	4.39	4.21
応用栄養学Ⅰ	2	4.26	4.53	4.00
病態学Ⅰ	2	3.66	3.81	3.52
平均	2	4.29	4.39	4.19

科目名	学年	平均	1組	2組
栄養教育論Ⅱ	3	4.44	4.36	4.52
臨床栄養学実習	3	4.38	4.38	4.38
臨床栄養学Ⅱ	3	4.34	4.38	4.30
栄養教育論実習Ⅱ	3	4.28	4.24	4.32
応用栄養学演習	3	4.11	4.30	3.91
公衆衛生学Ⅰ	3	4.07	4.19	3.95
平均	3	4.27	4.31	4.23

科目名	学年	平均	1組	2組
臨床栄養学実習	4	3.98	3.93	4.04

1年生では、2組のポイントが1組のポイントよりも1ポイントちかく高い科目があった。このような結果が出た原因については、今後の検討が必要だと思われる。

6. 「設問 11：教室管理」における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
調理科学実験	1	4.59	4.68	4.50
食品学 I	1	4.42	4.33	4.50
健康管理論	1	4.32	3.97	4.67
食品学実験 I	1	4.32	4.26	4.38
調理学	1	4.25	4.00	4.50
生化学実験 I	1	3.99	3.83	4.16
生化学 I	1	3.93	3.68	4.17
解剖生理学 I	1	3.65	3.59	3.71
平均	1	4.18	4.04	4.32

科目名	学年	平均	1組	2組
応用栄養学 I	2	4.45	4.53	4.38
栄養調理学実習	2	4.43	4.53	4.33
給食経営管理論	2	4.39	4.45	4.32
基礎栄養学	2	4.31	4.33	4.29
食品衛生学 I	2	4.26	4.45	4.06
食品衛生学実験 I	2	4.25	4.30	4.21
応用栄養学実習	2	4.20	4.26	4.14
病態学	2	3.66	3.66	3.66
平均	2	4.24	4.31	4.17

科目名	学年	平均	1組	2組
栄養教育論 II	3	4.33	4.24	4.43
臨床栄養学実習	3	4.29	4.24	4.35
栄養教育論実習 II	3	4.21	4.28	4.14
応用栄養学演習	3	4.20	4.26	4.13
臨床栄養学 II	3	4.17	4.15	4.19
公衆衛生学 I	3	3.96	4.08	3.84
平均	3	4.19	4.21	4.18

科目名	学年	平均	1組	2組
臨床栄養学演習	4	4.07	4.07	4.07

1年生、2年生、3年生で平均ポイントが上位にきている科目はおおむね、「設問 4：授業内容のわかりやすさ」で平均ポイントが上位にくる傾向がみられ、「設問 11：教室管理」と「設問 4：授業内容のわかりやすさ」の間に関連性があることが推測された。

7. 「設問 11：教室管理」に対する各設問のクロス集計

		設問 4					
		回答なし	5	4	3	2	1
回答なし			1	1			
5		1	509	98	15	4	2
4			83	372	41	12	5
3			15	51	117	17	7
2			2	8	9	8	3
1			1	3	2	5	11

		設問 8					
		回答なし	5	4	3	2	1
回答なし			1	1			
5		2	548	60	14	4	1
4			81	386	38	6	2
3			21	59	110	13	4
2			2	12	9	6	1
1			4	4	3	2	9

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
回答なし			1	1			
5		1	558	52	11	6	1
4			81	382	42	8	
3			19	41	130	14	3
2			3	7	12	8	
1			1	1	4	5	11

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
回答なし			1	1			
5		1	558	48	13	8	1
4			84	386	36	4	3
3			25	49	110	16	7
2			3	8	11	6	2
1			3	2	3	5	9

「設問 11：教室管理」が高いと、「設問 4：授業内容のわかりやすさ」、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」、「設問 10：声の聞き取りやすさ」も高く、関連性が認められた。さらに教育の質を上げ、学生の受講意欲を高める工夫が望まれる。

8. 考察

回答率は全体より高かった。また、2022 年度の前期よりも回答率高く、「設問 2：学習意欲」も 2022 年度よりも上昇傾向がみられた。

クラス間で評価ポイントに差がみとめられる学年があったことから、クラス間で理解度に顕著な差がある場合には学科の教員間で情報を共有し、理解度の差を埋めるような対応を検討する必要があるのではないかと思われた。

2023年度前期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

1. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

今期は291科目が開講された。そのうち専任教員担当授業は196であり全体の 67.4%にあたる。専任教員担当授業では、授業評価アンケートがすべての授業で実施され、アンケート実施率は100%であった。また授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出も100%であった。

いっぽう291科目の内、非常勤講師担当授業は95であり、これは全授業の約32.6%に当たる。この95科目のうち91科目でアンケートが実施され、アンケート実施率は95.6%であった（未実施の4科目は2人の非常勤講師による担当授業であり、未実施は講師の体調不良等によるものであった）。ただしアンケート実施授業91のすべてで授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントが提出されコメント提出率は100%であった。

実施科目の内訳は、英語科目31、情報科目15、留学生用日本語科目19、諸外国語12、その他共通科目14、学部学科専門科目等26であった。
非常勤講師全授業の項目13の平均は 4.26 であり、これは常勤の5つの学部学科と比べると、最も高い人間生活科学部教育保育学科の4.33に次いで高い。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
非常勤講師	95	91	95.79	91	100
【全体】	291	287	98.63	287	100

2. 集計結果について

以下では、昨年度までの報告に含まれていた「履修者数」を要素とする分析は行わなかった。本学では、履修登録をしたまま授業に出席せず期末試験も受けなくても、その授業にDがついてGPAが下がるということがないため、必修科目以外では履修登録をしたまま受講しない学生も多くみられ、「履修者数」は「当初の履修登録者数」であって「実際の受講者数」ではないため、分析の有意性が低いと判断したためである。

(1) 非常勤講師担当授業全体の各項目平均ポイント

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問E (Yes率)
4.0	4.2	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.4	4.3	70.1%

全ての設問で4.0以上となっており、総じて適切な授業が行われたものと評価できる。ただし以下に示すように、個々のクラスには、評価の低いものがある。

(2) 「設問4. わかりやすさ」、「設問5. 新しいものの見方」「設問11. 授業・教室管理」について

以下の表の担当者名のアルファベットによる記号は、表を越えて共通する非常勤講師がない「ア 英語科目」から「エ 諸外国語科目」までは表ごとにAから振り直している。しかし「オ その他の共通科目」と「カ 学部・学科専門科目」には共通する非常勤講師がいるため、この2つの表だけ通して記号を振っている。

なお、評価が4未満のものは赤字で示す。

ア 英語科目

区分	科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
必修	基礎英語I	A	4.67	4.41	4.68
	基礎英語I	B	4.42	4.21	4.25
	基礎英語I	C	4.42	4.24	4.30
	基礎英語I	D	4.24	4.19	4.24
	基礎英語I	E	4.31	4.14	4.41
	基礎英語I	A	4.58	4.29	4.39
	基礎英語I	E	4.06	4.03	4.15
	基礎英語I	C	4.50	4.42	4.31
	基礎英語I	B	4.17	3.83	4.04

	基礎英語I	D	4.29	3.94	4.65
	基礎英語I(再)(2)	E	4.67	4.41	4.44
	スキルアップ英語I	B	4.52	4.28	4.52
	スキルアップ英語I	E	4.41	4.38	4.45
	スキルアップ英語I	D	4.32	4.00	4.21
	スキルアップ英語I	F	3.79	3.55	3.93
	スキルアップ英語I	B	4.36	4.36	4.43
	スキルアップ英語I	E	4.12	4.16	4.16
	スキルアップ英語I	F	4.52	4.44	4.33
	スキルアップ英語I	D	4.16	4.16	4.29
	英語コミュニケーション(1)	G	4.22	4.11	4.22
	英語コミュニケーション(2)	G	4.13	4.00	4.57
一部 必修	(教保)英語コミュニケーション	E	4.80	4.73	4.22
	(教保)英語コミュニケーション	B	4.57	4.43	4.57
	(管栄)英語コミュニケーション	E	4.00	3.73	4.00
	(管栄)英語コミュニケーション	D	4.63	4.53	4.42

※「一部必修」は、一部の学部学科にとっては必修科目であるが、他の学部学科にとっては選択科目であることを示す。

7名の非常勤講師が25のクラスを担当した。なお、「基礎英語I」と「スキルアップ英語I」は、それぞれ、社会科学系3学部の1年次と2年次の必修科目である。「英語コミュニケーション」は、社会科学系3学部では選択科目であるが、人間生活科学部教育保育学科では選択必修科目だが年度当初に受講登録がなされる強制登録科目、管理栄養学科では必修科目となっている。

必修・選択を問わず、概ね適正に授業が行われているものと思われるが、担当者Fの1つの授業の3つの項目がすべて4.0を下回る評価となっている点が目に付く。他に担当者B、D、Eにも一部科目で4.0を下回る評価の項目がある。ただしこれらの担当者は、他の科目では高い評価を得ている。

イ 情報科目

区分	科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
必修	情報リテラシー	A	4.38	4.42	4.46
	情報リテラシー	A	3.95	4.18	4.05
	情報リテラシー	B	4.22	4.07	4.33
	情報リテラシー/情報リテラシー(再2)	A	4.06	4.12	4.29
	情報リテラシー	C	4.35	4.24	4.41
	情報リテラシー	C	4.41	4.33	4.07
	情報リテラシー	B	4.21	4.17	4.33
	情報リテラシー	A	3.07	3.67	3.70
	情報リテラシー/情報リテラシー(再1)	B	4.22	4.06	4.28
	情報リテラシー	A	4.39	4.36	4.36
選択 必修	情報(Excel)	D	4.17	4.26	4.43
	情報(Excel)	E	4.38	4.00	4.08
	情報(Excel)	E	4.47	4.13	4.13
	情報(PowerPoint)	A	4.25	4.32	4.16
	情報(Word)	E	4.39	4.08	4.42

※「一部必修」は、一部の学部学科にとっては必修科目であるが、他の学部学科にとっては選択科目であることを示す。

5名の非常勤講師が15のクラスを担当した。「情報リテラシー」は全ての学部で必修科目である。また、社会科学系3学部では、「情報(Word)」「情報(Excel)」「情報(PowerPoint)」が選択必修となっているが、前期で「情報」を履修しているのは、2年次以降の学生である。

担当者Aは、1つのクラスで3項目がすべて4.0を下回る評価になっており、1つのクラスで4が4.0を下回っている。しかし昨年度前期の授業評価アンケートの結果には、3項目がすべて4未満のクラスが5つあり、「クラスサイズが小さいにもかかわらず評価が低い」と報告されていたが、今期はそれに比して、全体にかなり評価が高くなっていることは注目すべきである。

ウ 留学生対象日本語科目

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
Q1(留)アカデミック日本語レベル1	A	4.50	4.30	4.30
Q1(留)日本語コミュニケーションレベル3	B	4.80	4.30	4.30

Q1(留)日本語コミュニケーションレベル3	B	4.64	4.36	4.36
Q2(留)アカデミック日本語レベル2	A	4.50	4.50	4.50
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル4	C	4.55	4.36	4.36
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル4	C	4.64	4.18	4.18
(留)アカデミック日本語レベル7	D	4.44	4.56	4.56
(留)日本語コミュニケーションレベル7	E	4.38	4.25	4.25
(留)日本事情III	F	4.75	4.75	4.75
(留)日本事情IV	F	4.45	4.40	4.40

※ 「Q1」と「Q2」はクォーター制における第1クォーターと第2クォーターを示す。

6名の非常勤講師が10のクラスを担当した。

留学生対象日本語科目では、1年生を対象にクォーター制を採用している。クォーター制科目は全て1年生のみが受講者である。1年生は、入学時に、アカデミック、コミュニケーション、それぞれについてクラス分けを行われ、順調に学習が進めば各クォーター毎にレベルが1ずつ上がっていく。

4.0を下回る項目はひとつもなく、全体的に評価は昨年同期より高くなっている。

エ 諸外国語科目

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
コリア語初級	A	4.56	4.48	4.44
コリア語入門	A	4.72	4.48	4.48
コリア語入門	A	4.57	4.48	4.65
コリア語入門	B	3.89	3.93	4.15
コリア語入門	A	4.73	4.60	4.70
コリア語入門	B	4.73	4.73	4.64
コリア語入門	A	4.67	4.67	4.56
コリア語入門	A	4.80	4.72	4.44
スペイン語入門	A	4.39	4.44	4.17
スペイン語入門	A	4.27	4.45	3.91
ベトナム語入門	C	3.80	4.07	4.07
ポルトガル語入門	D	4.00	3.90	4.05
ポルトガル語入門	D	4.52	4.48	4.52

諸外国語科目は、人間生活科学部管理栄養学科を除く学部学科において選択必修となっている。諸外国語科目は、コリア語を中心に全般的に高い評価を得ている。

オ その他の共通科目

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
アートと現代社会	A	4.37	4.45	4.21
ジェンダーと現代社会	B	4.02	4.16	4.03
アジア史Ⅱ	C	3.34	3.20	3.57
交通と社会	D	3.97	4.00	3.82
生活の中の科学	E	4.12	4.17	4.14
科学と人間社会Ⅱ	F	4.09	4.09	3.99
生涯スポーツ実習Ⅰ	G	4.73	4.60	4.35
健康生活と生涯スポーツ	G	4.42	4.43	4.32

この科目群では、担当者Cのクラスが3項目すべてで、Dのクラスが2項目で4未満の評価を受けている。

カ 学部・学科専門科目

区分	科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
専門科目	中小企業論	H	4.27	4.27	4.19
	行政法総論	I	3.83	3.92	3.61

	債権各論	J	3.75	3.80	3.79
	教育の方法・技術(幼・小)／教育の方法・技術	D	3.89	4.03	4.11
	教育の方法と技術／(教)教育の方法と技術	D	3.69	3.95	3.90
	道徳の理論と指導法(小)	K	4.75	4.59	4.59
	子どもの健康と安全	L	4.55	4.52	4.52
	子どもの食と栄養	M	4.38	4.41	4.41
	生徒・進路指導論	N	4.65	4.47	4.47
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法 ／(教)特別活動・総合的な学習の時間の指導法	O	4.42	4.29	4.42
	保育相談支援	P	4.53	4.50	4.53
	教科教育法(外国語)	Q	2.75	2.94	3.50
教職科目	(教)教育の方法・技術(中・高・栄養)／ (教)教育の方法・技術	D	3.91	3.95	4.09
	(教)道徳の理論と指導法	K	4.75	4.75	4.75

ここには、3項目がすべて4未満のクラスが4つ(担当者I, J, Q, D)存在しており、その中の1つは他の非常勤講師の授業では例の無い3未満の評価を2項目で受けている。これらの科目は専門科目を統括する責任者が授業者のコメントを読んだ上で、必要に応じてなんらかの介入が検討されるべきだと考えられる。

2023年度後期「学生による授業評価アンケート」結果報告

2023年度名古屋経済大学FD委員会

2020年度に新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったマークシート方式でのアンケートを2022年度から再開し、本年度も2022年度の方針を継続して実施した。

また、本学では2012年度から2019年度までは「2年に1回は担当科目の授業評価アンケートを実施する。ただし、専門共通基礎I、II、情報科目、日本語科目については、全クラスをアンケート対象とする」との方式を採用していた。しかし昨年度にこの方式を改め、次の科目を除く全ての科目に授業評価アンケートの対象を拡大して実施することとした。

その際、前期に改訂した授業評価アンケートと同一のものを後期にも使用した。

(対象除外科目)

- ・必修演習科目
- ・教育実習等の学外実習科目
- ・オンデマンド科目
- ・履修者10名以下の科目

また、昨年度はクォーター制科目の第1クォーター終了時までにはアンケートの準備ができなかったため、第2、第4クォーターのみでアンケートを実施した。しかし今年度はすべてのクォーターでアンケートを実施することとし、前期には第1クォーターと第2クォーターの、後期には第3クォーターと第4クォーターの授業のアンケートを実施した。

昨年度の専任教員の授業アンケート回収率（アンケート回収科目数÷アンケート対象科目数×100）は、前期は法学部と管理栄養学科以外、後期は経営学部と法学部以外が100%未満であった。

しかし今年度前期の専任教員担当授業での授業アンケート実施率は全学部・学科で100%に達した。また授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出も100%であった。

前期は287科目で授業評価アンケートを実施し、それぞれの結果について学部学科ごとに分析し、コメントを作成して教授会に報告した。実施科目の個別結果と考察は学内ウェブページに掲載した。

また、今年度後期の専任教員担当授業での授業評価アンケート実施率は前期と同様、全学部・学科で100%であった。ただし授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出は96.6%であった（2/27現在）

後期は279科目で授業評価アンケートを実施し、それぞれの結果について学部学科ごとに分析し、コメントを作成して教授会に報告した。実施科目の個別結果と考察は学内ウェブページに掲載した。

なお、これ以降に掲載される本文による報告と表中のデータとは数値にわずかな違いが見られる場合があるが、それはそれぞれの作成日時の違いにより情報の更新状況が異なるためである。

以上。

2023 年度後期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	20	20	100.00	19	95.00
経営学部	49	49	100.00	46	93.88
法学部	23	23	100.00	22	95.65
人間生活科学部・教育保育学科	33	33	100.00	33	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	52	52	100.00	51	98.08
非常勤	102	102	100.00	95	93.14
【全体】	279	279	100.00	266	95.34

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	2,818	2,818	1,486	52.73
経営学部	3,791	3,791	2,163	57.06
法学部	2,655	2,645	1,441	54.48
人間生活科学部・教育保育学科	855	855	687	80.35
人間生活科学部・管理栄養学科	1,851	1,851	1,486	80.28
非常勤	4,559	4,444	2,645	59.52

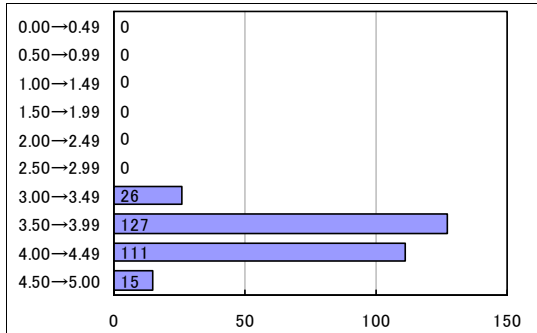
[名古屋経済大学] 2023年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	3.91	4.15	4.40	4.21	4.20	4.30	4.24	4.29	4.25	4.31	4.21	4.37	4.22
経済学部	3.84	4.02	4.34	4.04	4.04	4.20	4.12	4.13	4.13	4.15	4.13	4.30	4.08
経営学部	3.86	4.12	4.37	4.25	4.20	4.31	4.26	4.30	4.27	4.33	4.19	4.38	4.26
法学部	3.84	4.08	4.32	4.12	4.17	4.25	4.15	4.24	4.14	4.26	4.12	4.28	4.14
人間生活科学部・教育保育学科	4.06	4.35	4.51	4.36	4.40	4.47	4.38	4.33	4.41	4.50	4.37	4.48	4.38
人間生活科学部・管理栄養学科	4.16	4.28	4.56	4.31	4.28	4.36	4.32	4.37	4.35	4.36	4.30	4.42	4.30
非常勤	3.87	4.17	4.42	4.22	4.21	4.32	4.26	4.33	4.28	4.34	4.22	4.40	4.23

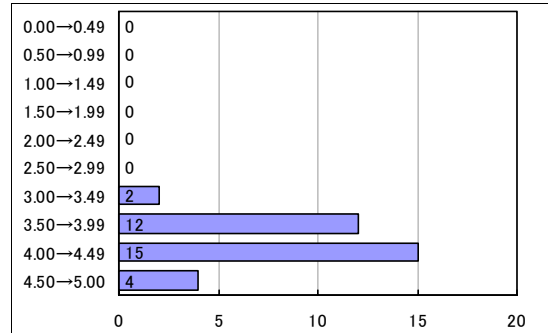
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



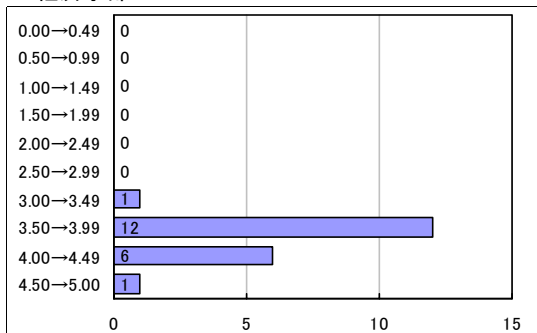
平均値 = 3.91

■人間生活科学部・教育保育学科



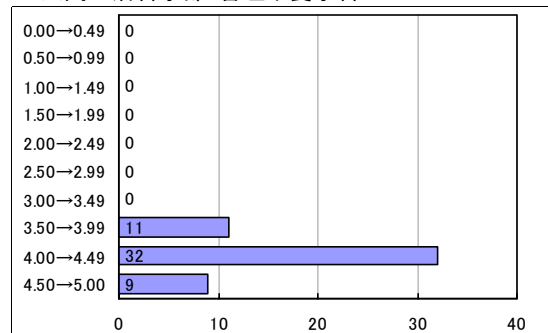
平均値 = 4.06

■経済学部



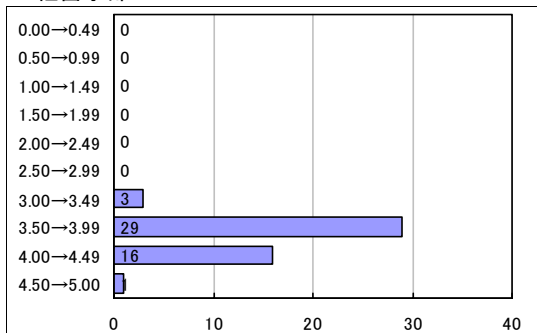
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・管理栄養学科



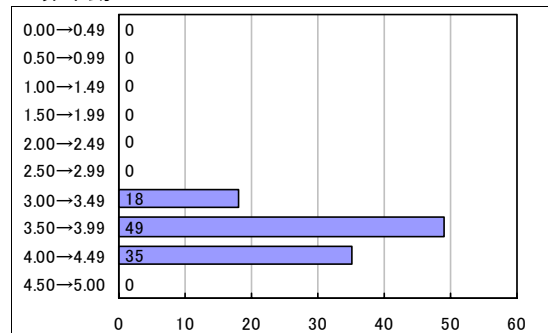
平均値 = 4.16

■経営学部



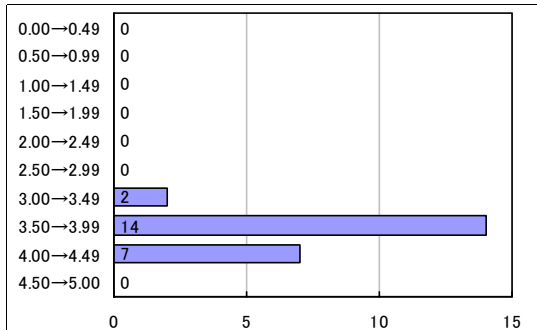
平均値 = 3.86

■非常勤



平均値 = 3.87

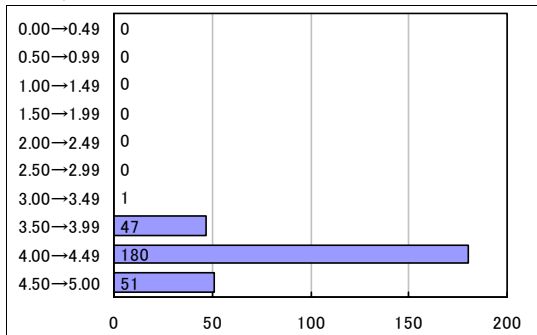
■法学部



平均値 = 3.84

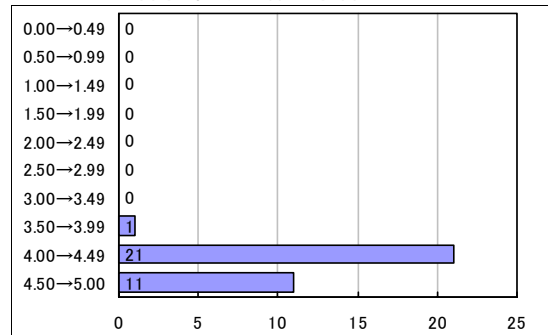
●2.あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



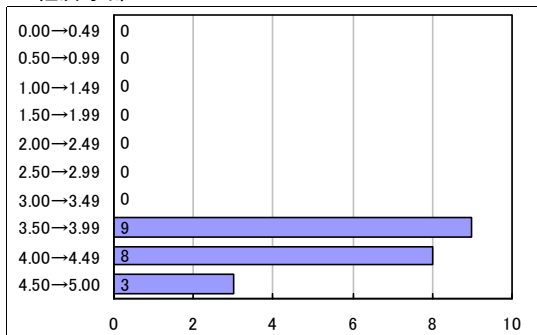
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・教育保育学科



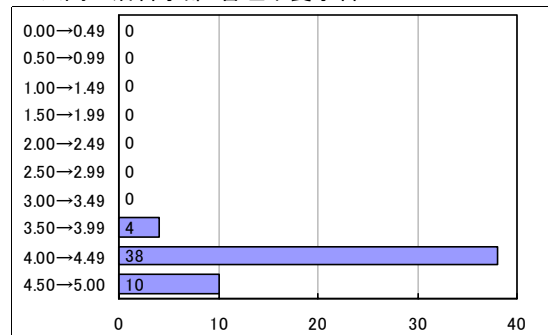
平均値 = 4.35

■経済学部



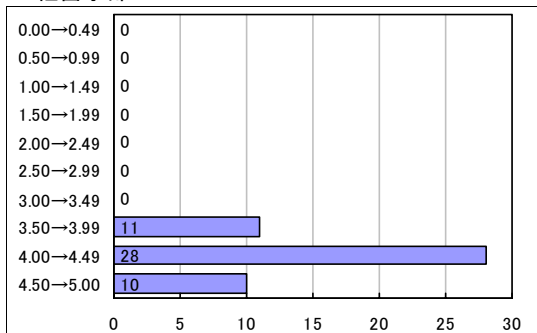
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



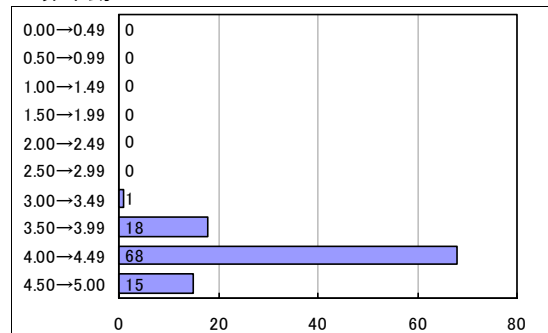
平均値 = 4.28

■経営学部



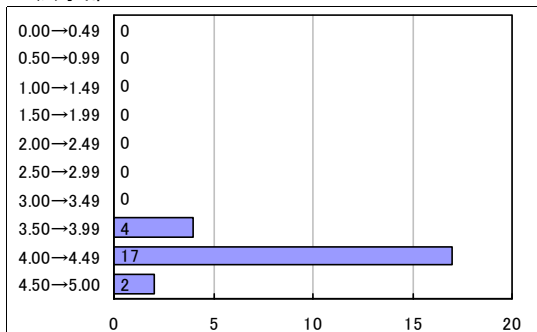
平均値 = 4.12

■非常勤



平均値 = 4.17

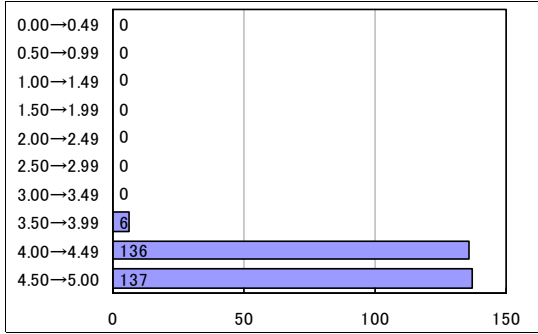
■法学部



平均値 = 4.08

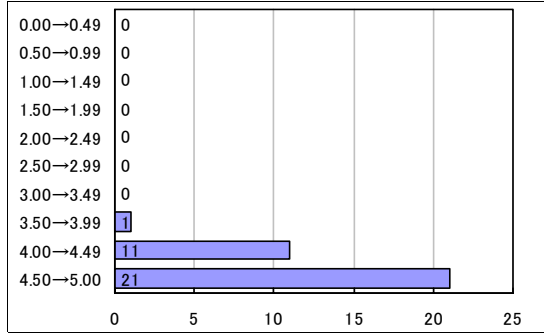
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設定Eで「はい」と答えた人のみ回答すること

■全体



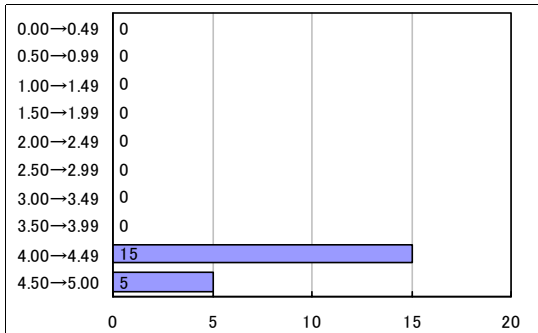
平均値 = 4.40

■人間生活科学部・教育保育学科



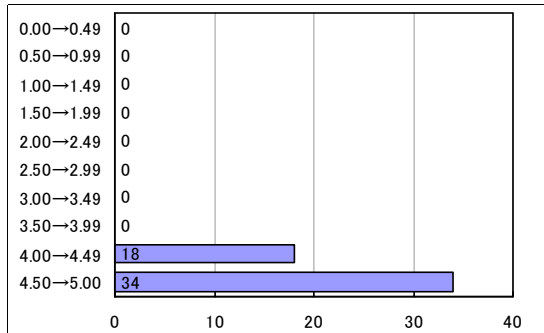
平均値 = 4.51

■経済学部



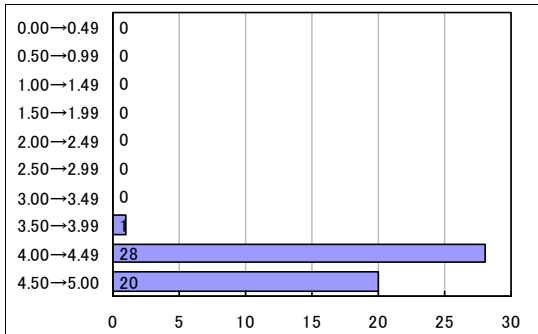
平均値 = 4.34

■人間生活科学部・管理栄養学科



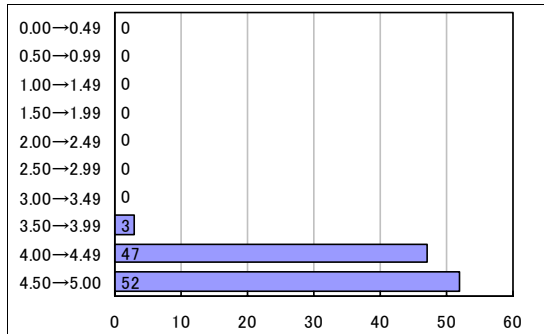
平均値 = 4.56

■経営学部



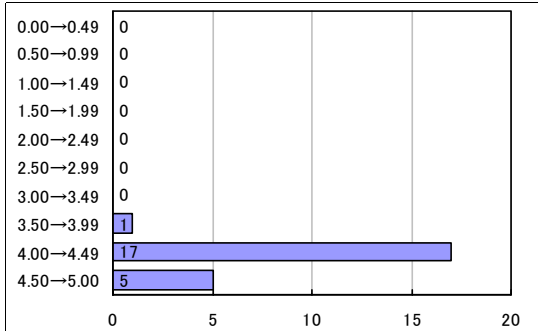
平均値 = 4.37

■非常勤



平均値 = 4.42

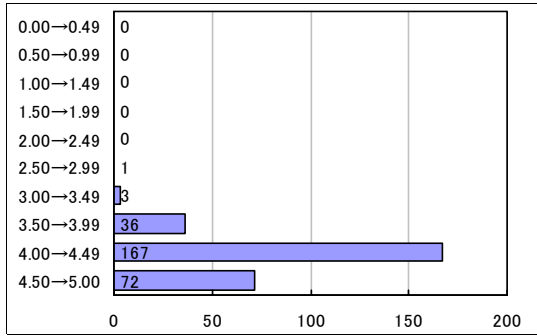
■法学部



平均値 = 4.32

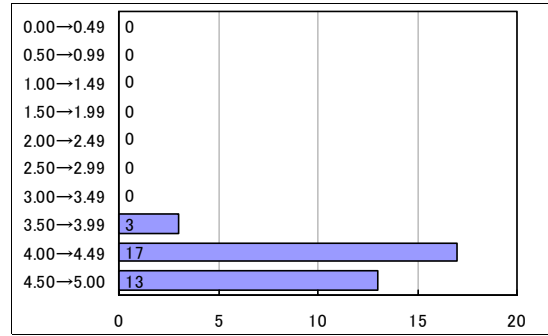
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



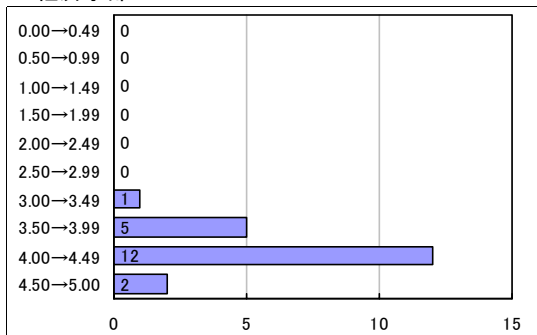
平均値 = 4.21

■人間生活科学部・教育保育学科



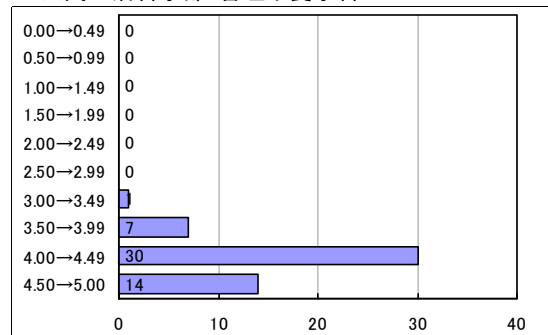
平均値 = 4.36

■経済学部



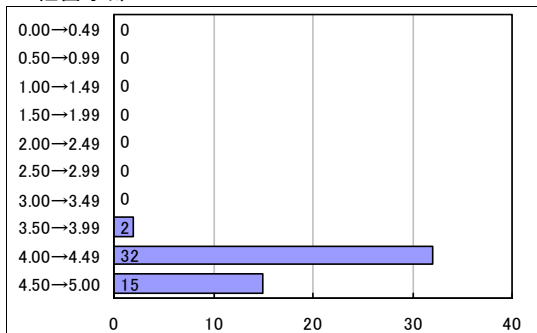
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



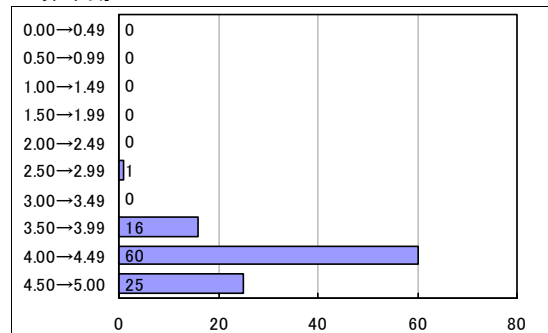
平均値 = 4.31

■経営学部



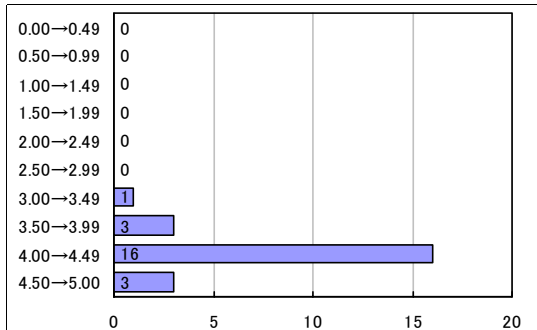
平均値 = 4.25

■非常勤



平均値 = 4.22

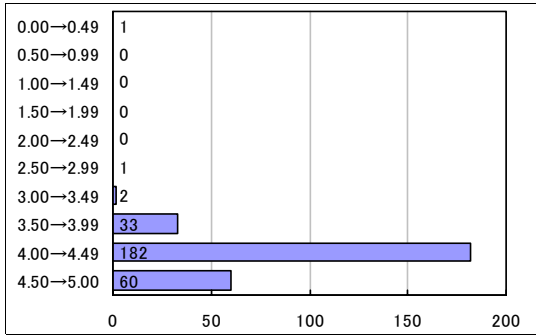
■法学部



平均値 = 4.12

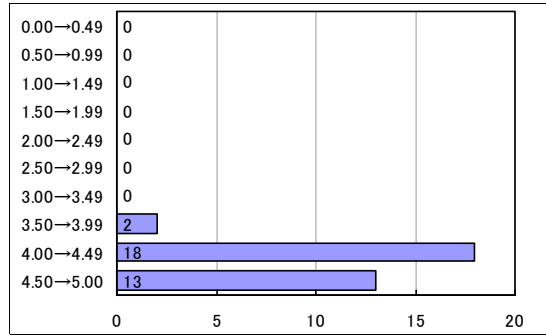
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



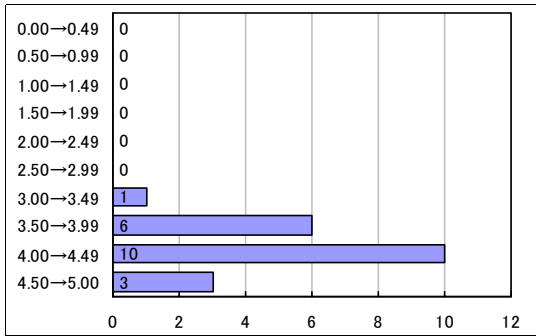
平均値 = 4.20

■人間生活科学部・教育保育学科



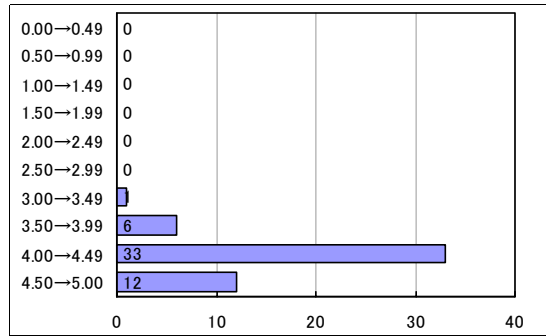
平均値 = 4.40

■経済学部



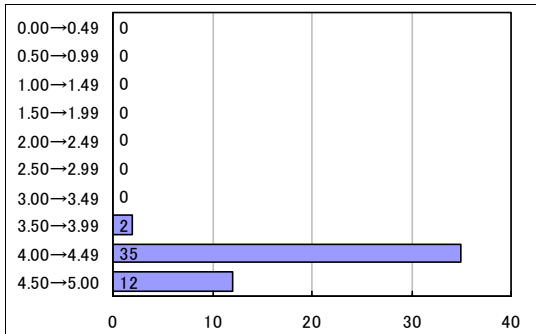
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



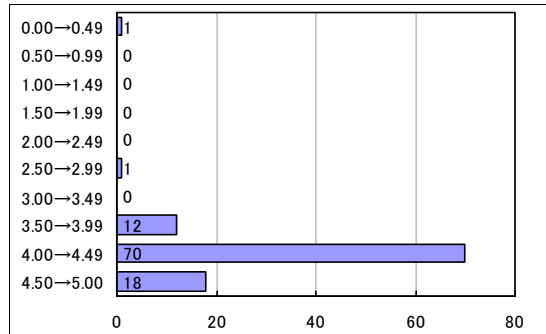
平均値 = 4.28

■経営学部



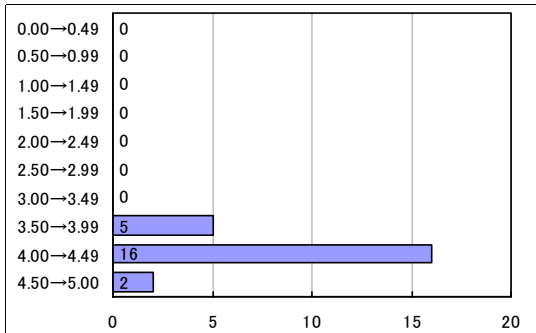
平均値 = 4.20

■非常勤



平均値 = 4.21

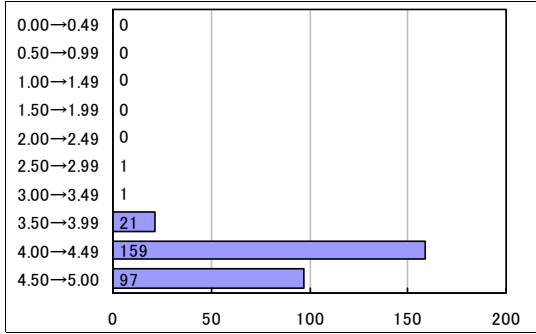
■法学部



平均値 = 4.17

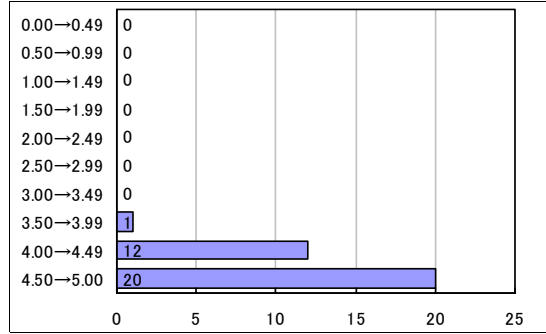
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



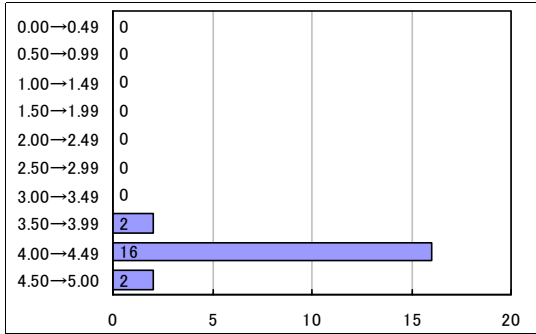
平均値 = 4.30

■人間生活科学部・教育保育学科



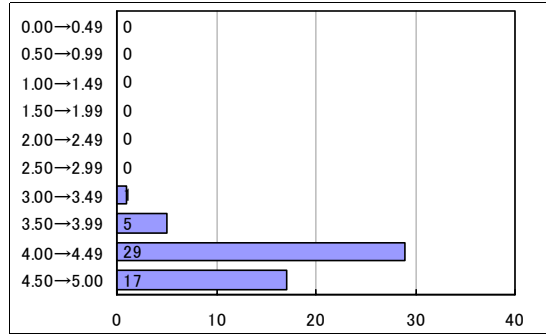
平均値 = 4.47

■経済学部



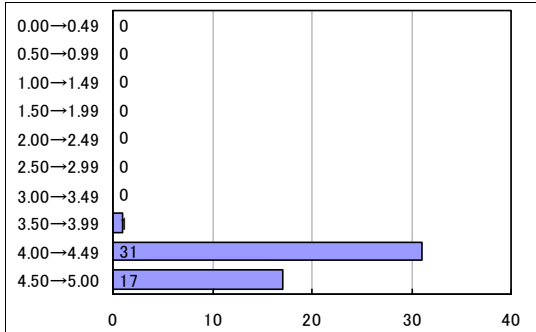
平均値 = 4.20

■人間生活科学部・管理栄養学科



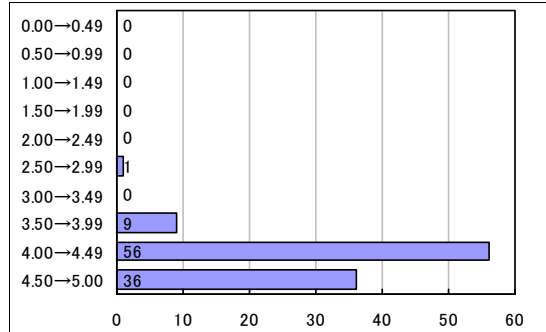
平均値 = 4.36

■経営学部



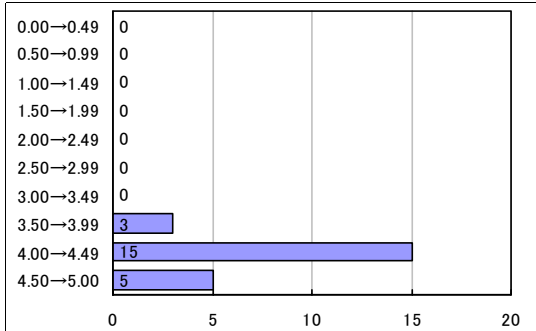
平均値 = 4.31

■非常勤



平均値 = 4.32

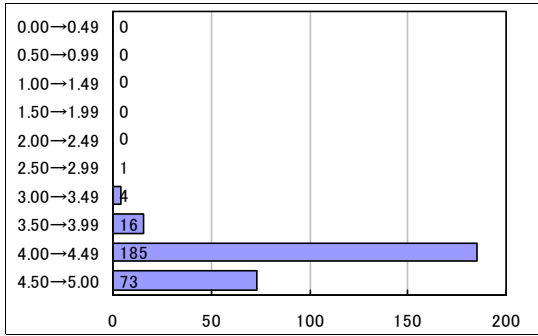
■法学部



平均値 = 4.25

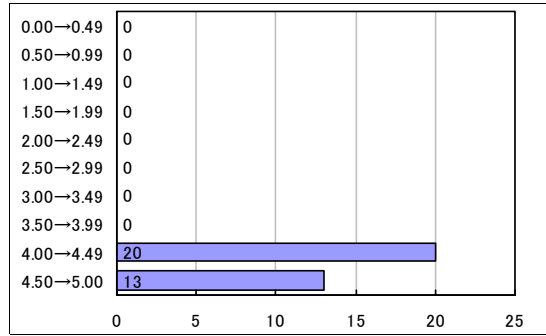
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



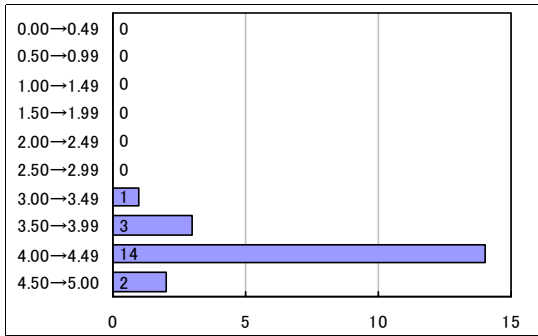
平均値 = 4.24

■人間生活科学部・教育保育学科



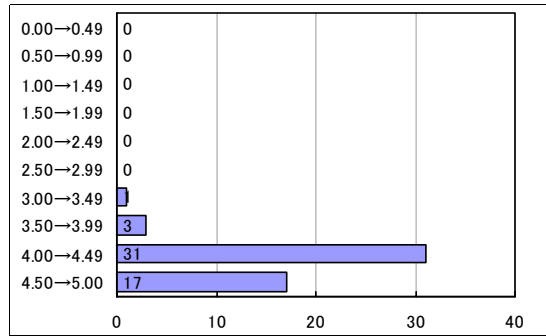
平均値 = 4.38

■経済学部



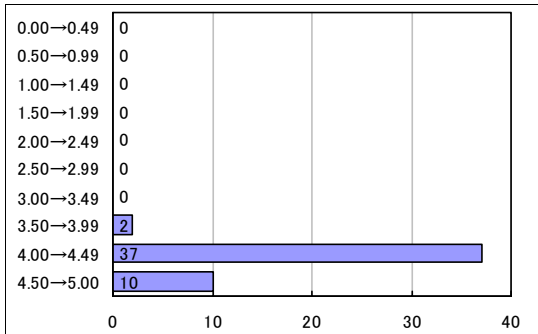
平均値 = 4.12

■人間生活科学部・管理栄養学科



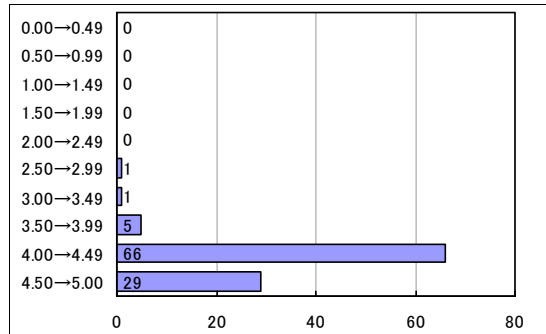
平均値 = 4.32

■経営学部



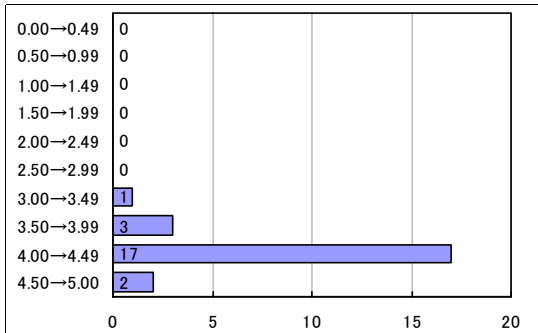
平均値 = 4.26

■非常勤



平均値 = 4.26

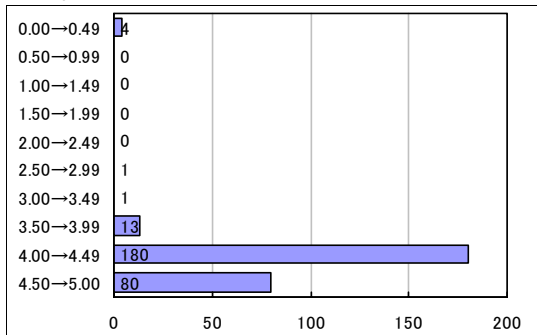
■法学部



平均値 = 4.15

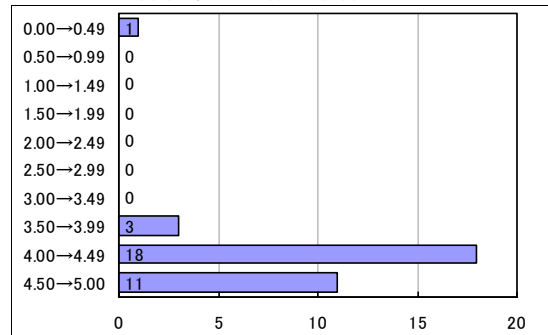
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



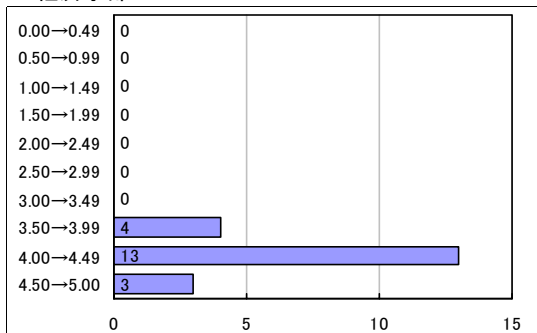
平均値 = 4.29

■人間生活科学部・教育保育学科



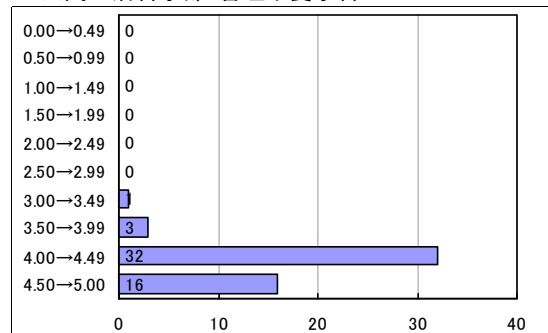
平均値 = 4.33

■経済学部



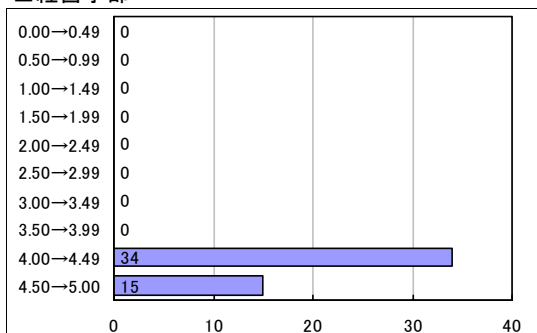
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



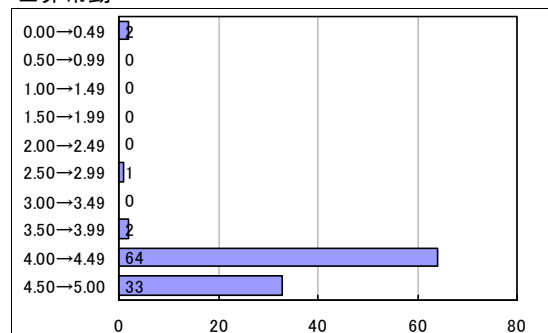
平均値 = 4.37

■経営学部



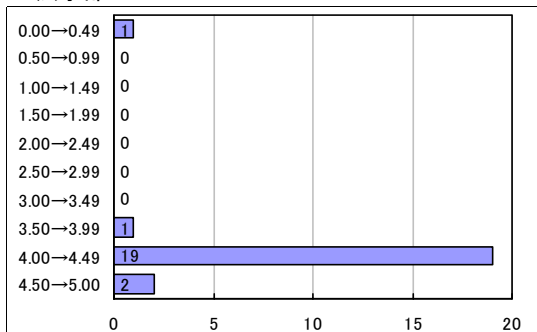
平均値 = 4.30

■非常勤



平均値 = 4.33

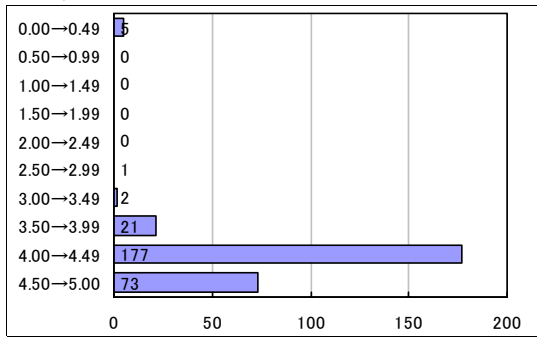
■法学部



平均値 = 4.24

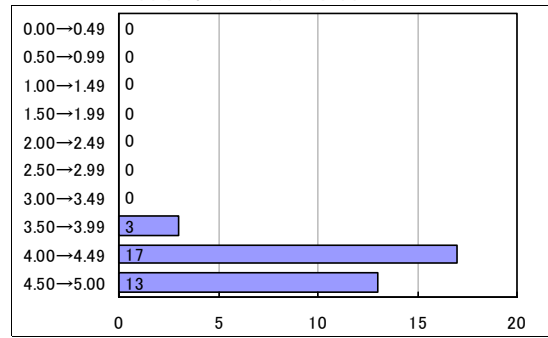
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



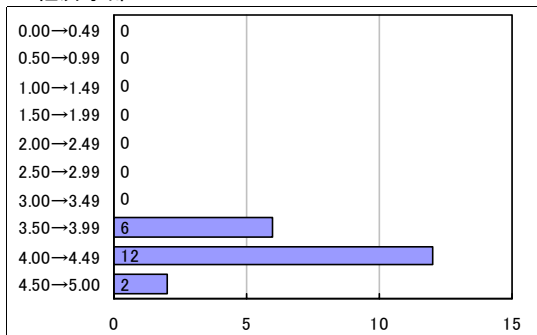
平均値 = 4.25

■人間生活科学部・教育保育学科



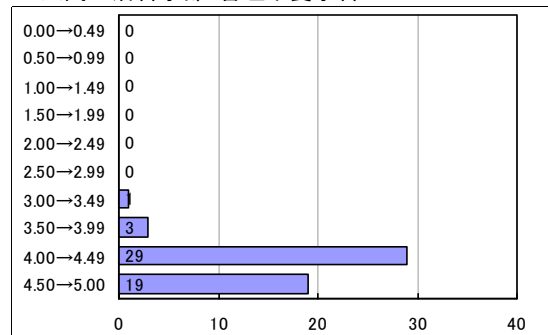
平均値 = 4.41

■経済学部



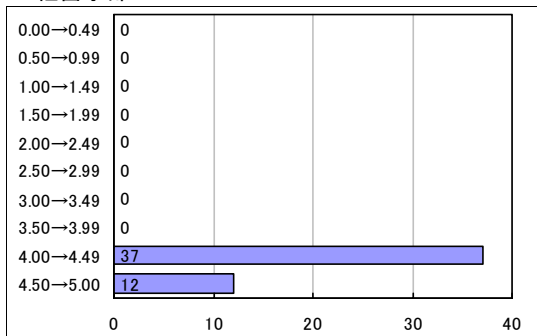
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



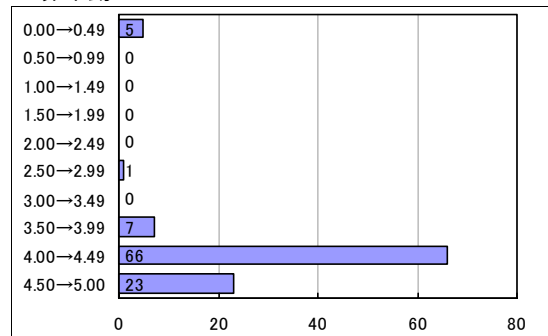
平均値 = 4.35

■経営学部



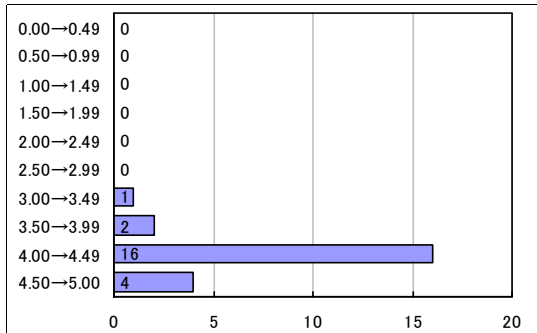
平均値 = 4.27

■非常勤



平均値 = 4.28

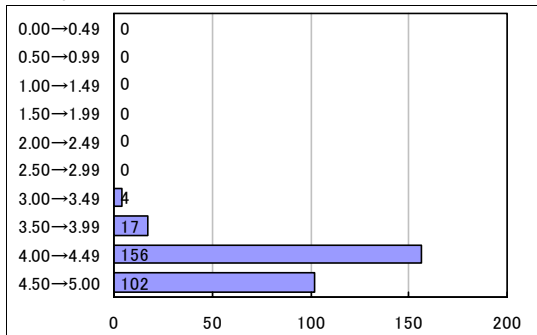
■法学部



平均値 = 4.14

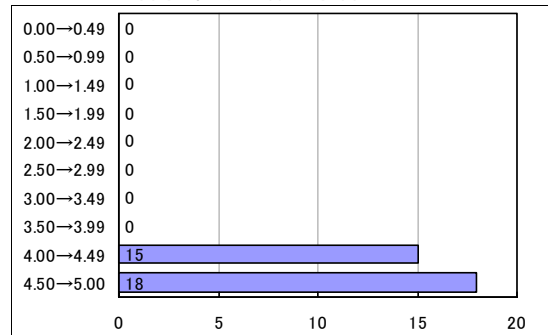
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



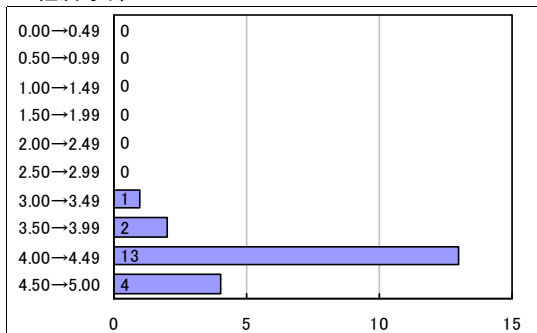
平均値 = 4.31

■人間生活科学部・教育保育学科



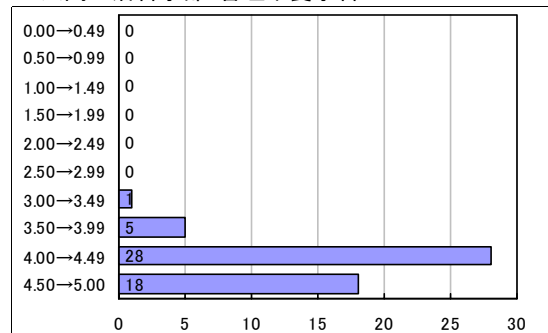
平均値 = 4.50

■経済学部



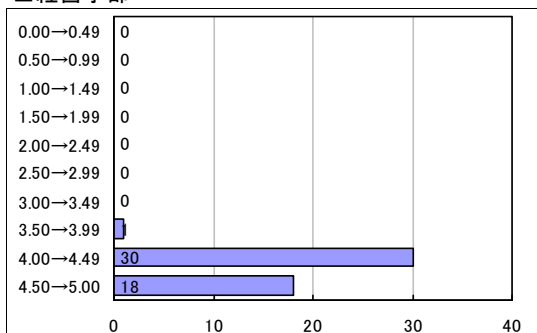
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



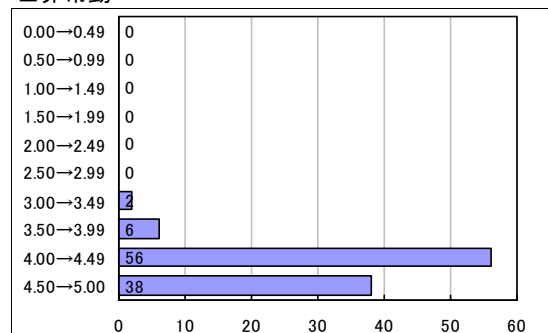
平均値 = 4.36

■経営学部



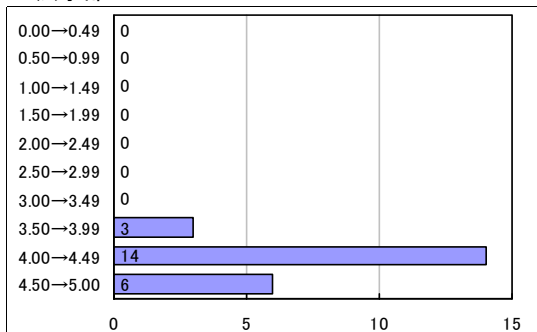
平均値 = 4.33

■非常勤



平均値 = 4.34

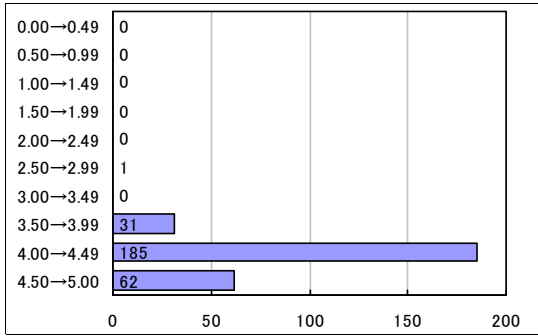
■法学部



平均値 = 4.26

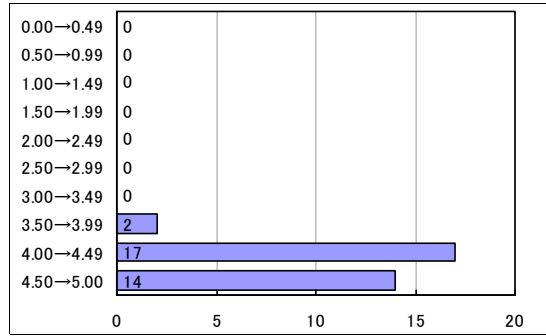
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



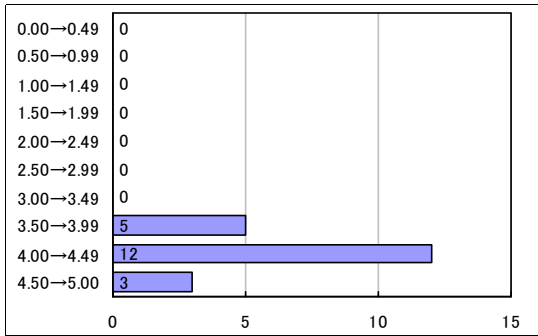
平均値 = 4.21

■人間生活科学部・教育保育学科



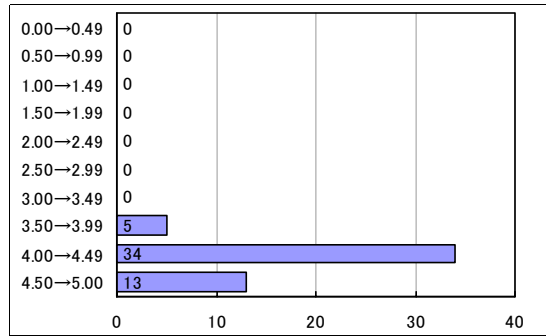
平均値 = 4.37

■経済学部



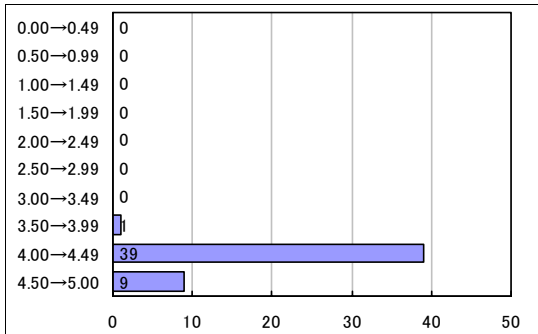
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



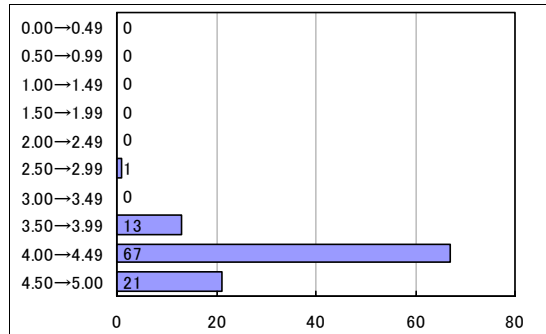
平均値 = 4.30

■経営学部



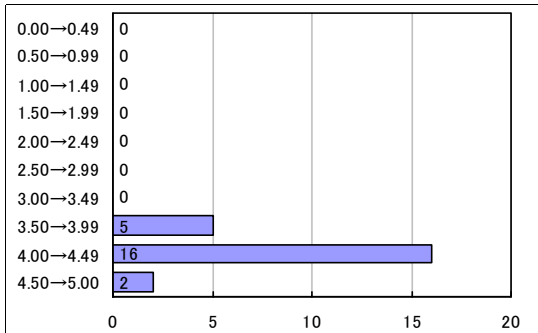
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.22

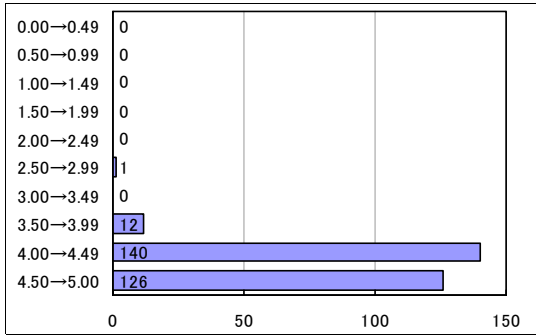
■法学部



平均値 = 4.12

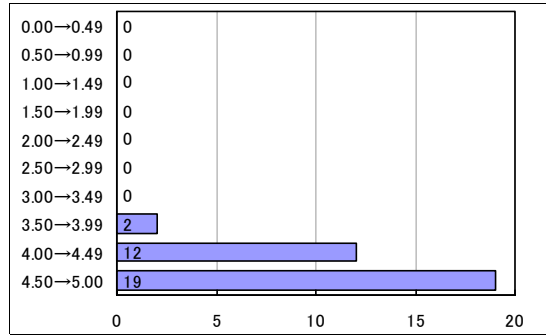
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



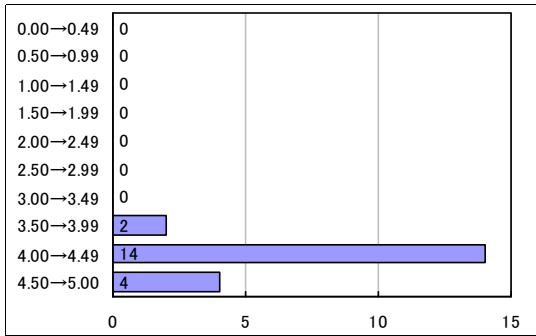
平均値 = 4.37

■人間生活科学部・教育保育学科



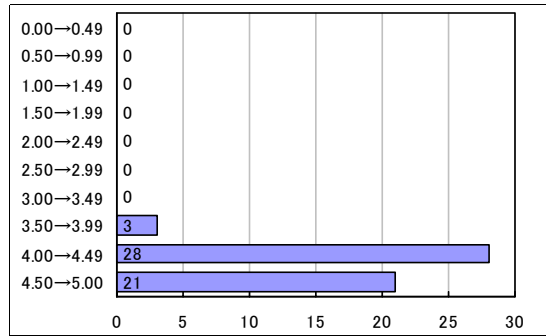
平均値 = 4.48

■経済学部



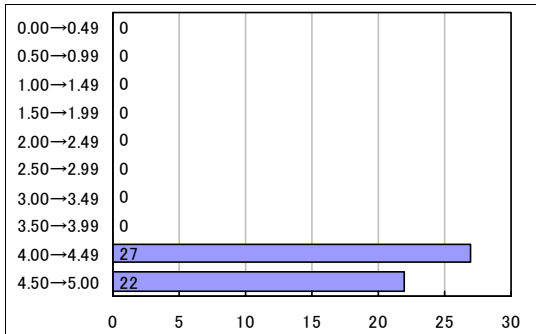
平均値 = 4.30

■人間生活科学部・管理栄養学科



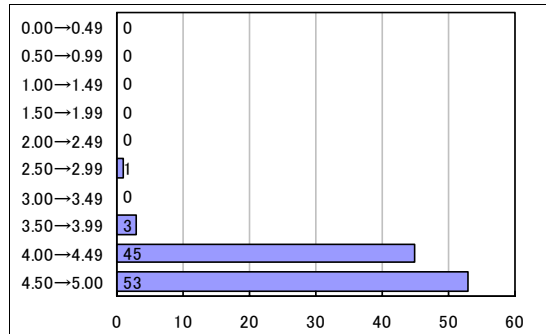
平均値 = 4.42

■経営学部



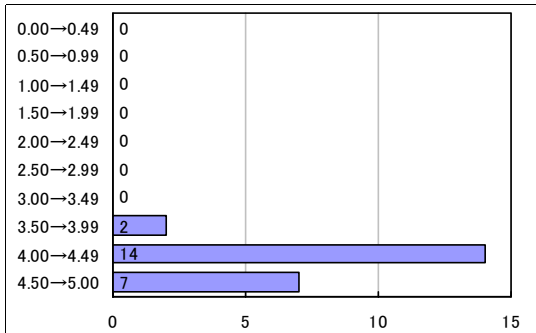
平均値 = 4.38

■非常勤



平均値 = 4.40

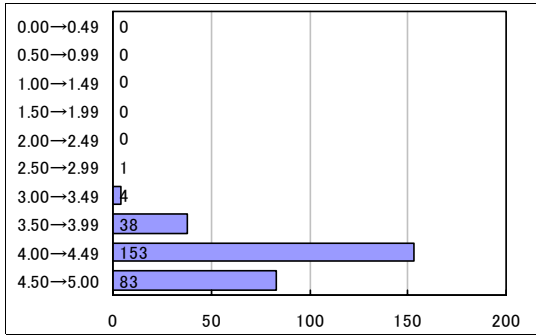
■法学部



平均値 = 4.28

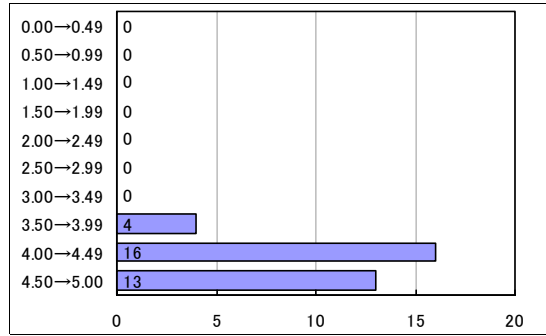
●13.この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)

■全体



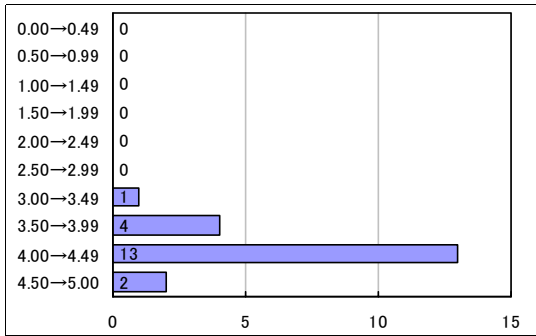
平均値 = 4.22

■人間生活科学部・教育保育学科



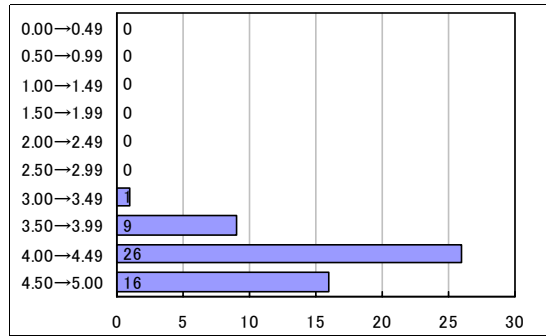
平均値 = 4.38

■経済学部



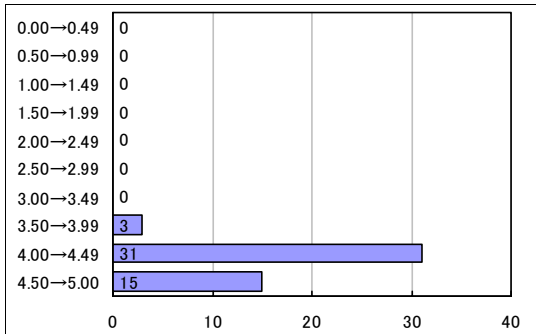
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・管理栄養学科



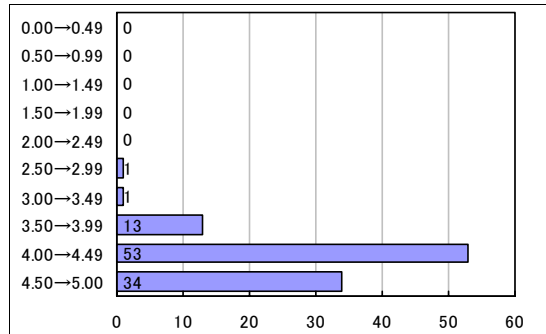
平均値 = 4.30

■経営学部



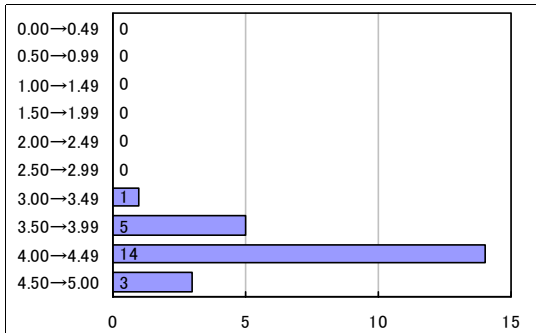
平均値 = 4.26

■非常勤



平均値 = 4.23

■法学部



平均値 = 4.14

2023(令和 5)年度後期授業評価アンケート結果<学生視点>

1. 学部学科別

<学部学科別回答数>

学部・学科	回答数
経済学部・現代経済学科	1,486
経営学部・経営学科	2,163
法学部・ビジネス法学科	1,441
人間生活科学部・教育保育学科	687
人間生活科学部・管理栄養学科	1,486

設 問	経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部		非常勤	全体
	現代経済学科	経営学科	ビジネス法学科	教育保育学科	管理栄養学科		
1	3.84	3.86	3.84	4.06	4.16	3.87	3.91
2	4.02	4.12	4.08	4.35	4.28	4.17	4.15
3	4.34	4.37	4.32	4.51	4.56	4.42	4.40
4	4.04	4.25	4.12	4.36	4.31	4.22	4.21
5	4.04	4.20	4.17	4.40	4.28	4.21	4.20
6	4.20	4.31	4.25	4.47	4.36	4.32	4.30
7	4.12	4.26	4.15	4.38	4.32	4.26	4.24
8	4.13	4.30	4.24	4.33	4.37	4.33	4.29
9	4.13	4.27	4.14	4.41	4.35	4.28	4.25
10	4.15	4.33	4.26	4.50	4.36	4.34	4.31
11	4.13	4.19	4.12	4.37	4.30	4.22	4.21
12	4.30	4.38	4.28	4.48	4.42	4.40	4.37
13	4.08	4.26	4.14	4.38	4.30	4.23	4.22

※ 4.0 を下回る項目を赤字で、4.4を上回る項目を青字で示している。

2023 年度後期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2023 年度後期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2023 年度後期は、昨年同様、アンケートは紙媒体で実施されたので、2022 年度後期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここでは、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけなどがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

6では設問 11「授業の妨げに対する教員の対応」と設問 4「授業内容のわかりやすさ」設問 5「新しものの見方」についての資料をもとに相関について考察する。

表 1 に、2022 年度と 2023 年度の経済学部在籍学生数を示す。2023 年度は、2022 年度に比べて在籍学生数はやや減少しているが、留学生が占める割合は約 13%程度で変化はない。ただし、表にはないが 2019 年度に比べると留学生の割合が半減していることは注目すべき点である。

表 1 経済学部在籍学生数（2022 年度 7 月 1 日現在、及び 2023 年 7 月 1 日現在）

	全て		留学生	
	2022	2023	2022	2023
1 年次	173	148	25	18
2 年次	172	165	21	18
3 年次	143	162	17	20
4 年次	184	158	27	25
合計	672	633	90	81

2. アンケート回答率

まず、表 2 に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表 2 経済学部教員による開講科目の回答率（2022 年後期・2023 年後期の比較）

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数(F)	回答率(%) (F÷E)
経済学部	2022後期	3,251	3,071	1,623	52.85
	2023後期	2,818	2,818	1,486	52.73
全学	2022後期	17,231	16,864	10,504	62.29
	2023後期	16,529	16,404	9,908	60.40

2023年度、全学では、授業評価アンケートの対象科目の回答率が2022年度と比べて2ポイント下がっているが、経済学部では0.1ポイントの低下に留まった。経済学部科目の回答率は他の学部と比べて最も低く、アンケート実施日の出席率が他学部科目に比べて低かったことが推測される。経済学部科目においてはアンケート回答率の向上、ひいてはアンケート実施時期の出席率の向上を目指す必要がある。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表3に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。

表3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2022後期 経済学部	2023後期 経済学部	2023後期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.95	3.84	3.91
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.86	4.02	4.15
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.23	4.34	4.40
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.98	4.04	4.21
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.96	4.04	4.20
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.11	4.20	4.30
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.07	4.12	4.24
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.14	4.13	4.29
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.09	4.13	4.25
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.01	4.15	4.31
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.01	4.13	4.21
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.27	4.30	4.37
13	この授業の教え方はよいですか（この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます）*	3.91	4.08	4.22

* 2022年度後期において問13の質問文は「この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか」であった。

経済学部についてみると、2022年までの結果に比べ、設問1（出席）と8（資料）以外の項目で評価がやや上昇している。全体的な上昇傾向は2023年度前期においても同様であった。

設問1（出席）の回答は、2022年度後期に比べて、経済学部だけでなく全学でも1ポイント以上低下しており、欠席が多かったと意識している学生が全学的に増加していることを表している。しかし、その背景には高校時代から続くコロナ禍で、体調のすぐれないときは無理をしなくていいという環境下で教育を受けてきたことによる影響も考えられる。教員としては、体調面で無理をしないことや学生の自主性は尊重しつつも、欠席が続く学生に対しては早めに面談等を行い、出席を促すことも必要と考える。これによって、大学で学ぶ意義を捉え直す機会を学生に与えることができると思う。

その他の項目については、コロナ前の2019年度は半分以上の項目で学生の評価が4ポイントを下回っていたが、2022年度から2023年度にかけては評価が上昇し、すべての項目で評価が4ポイントを上回っている。このことは教員による授業の改善や工夫の効果であると言える。ただし、他学部と比較すると経済学部のポイントは概ね0.1ポイント低い。全学の傾向と経済学部との差が最も大きい項目は、設問4(わかりやすさ)、設問5(新しいものの見方)、設問8(資料)、設問10(聞き取りやすさ)、設問13(教え方)であり、全学平均より約0.15ポイント低い。この傾向は2022年度後期もほぼ同様であった。このことから、学生の到達度の想定や、学生の希望に沿った内容の見直しなどを図りつつ、聞き取りやすさに配慮することは、昨年度に引き続き経済学部科目の改善課題といえる。

4. 経済学部学生の属性別の傾向

続いて、経済学部所属学生による回答を検討する。まず表4に、経済学部所属の学生による各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表4 学生の属性別 各設問ポイント平均値比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	3.9	4.1	4.4	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2
留学生のみ	4.1	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5
留学生を除く	3.8	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1
スポーツ学生のみ	4.3	4.4	4.6	4.4	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5
スポーツ学生を除く	3.8	4.1	4.4	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2

表4から、例年と同様に、留学生の回答が他の学生に比べて0.3ポイント程度高いことがわかる。その要因としては、設問2（意欲的に取り組んだか）設問5（新しいものの見方）の項目の得点が他の学生と比べ、0.5ポイントも高く、すべての項目の高い評価につながっていると考えられる。留学生は科目の学習内容を新鮮に捉えたうえで、自身の取り組み意欲を高く評価していることが伺える。

また、スポーツ学生についてはどの項目も留学生以外の学生より0.2から0.4ポイント高く、評価ポイントの高さは留学生と似ている。設問5（新しいものの見方）の項目の評価が、留学生やスポーツ学生において4.5以上であるのに対し、それ以外の学生は4.1に留まっていることに注意すべきである。このことはいろいろな見方ができるが、科目の目標到達レベルがスポーツ学生や留学生に適したものになっている、あるいは、スポーツ学生や留学生は彼らのためのカリキュラムや学習サポートに対して満足感を得ている、これに対し、それ以外の学生たちのやる気はまだ喚起にできていない、とも解釈できる。

次に、表5に、学年別の比較を示す。

表5 経済学部所属学生による設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1年生	3.9	4.2	4.5	4.2	4.2	4.4	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5	4.2	4.3
2年生	3.9	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1
3年生	3.8	4.1	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2
4年生	3.4	3.8	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.3	4.0	4.0

各学年の平均点は、2023年度後期は昨年後期同様1年生が最も高い。2023年度前期は1年生と3年生が高く、その傾向は今期も同様といえる。一方、経年比較の表はないが、2022年度に得点が低かった現2年生、現4年生は今年度も得点が低く、学年集団ごとの傾向として捉えることもできる。4年生の設問1については例年ポイントが低い。これは就職活動等によって授業の欠席が多くなることによるものと推測される。

学年によって回答傾向の違いが見られるのは、設問1（出席したか）、設問2（意欲）、設問4（わかりやすさ）である。2022年度も概ね同じ傾向であり、1年生はポイントが高いのに対し、4年生は0.3から0.6低くなっている。要因については学年により授業内容の難易度が上がることや、専門的な内容への関心の人によるばらつきなどが推測できる。

5. クラスサイズによる傾向

次に、経済学部担当教員科目の考察に戻り、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1～50人	4.0	4.2	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.4	4.4
51～100人	3.7	4.2	4.4	4.4	4.3	4.6	4.4	4.5	4.4	4.6	4.4	4.5	4.4	4.4
101～150人	3.9	4.1	4.4	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.4	4.1	4.2
151～200人	3.8	4.0	4.4	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1
251～300人	3.8	4.0	4.3	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1
301人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

最もポイントが高かったのは1～50人、51～100人のクラスの科目であり、クラスサイズが大きくなるほど評価が低下している。150人以上のクラスはそれ以下のクラスサイズに比べ大幅にポイントが低い。少人数クラスの評価が高いことは明らかであり、今回はこの傾向が顕著に現れた。クラスサイズ別比較としては、50人程度以下のクラス規模の授業は学生にとっても受講しやすいと思われる。

評価の低い、150人以上のクラスでは、設問1(出席)、設問2(予復習)、設問5(新しいものの見方)、のポイントがより低い。これは、大人数クラスほど教員の働きかけが学生一人ひとりに届きにくい、という主観的な感覚と一致する。これらのクラスを一般的に受講生の多いクラスととらえるなら、特に上記の項目に注意する必要がある。

6. わかりやすさに関する項目の傾向

次に、授業のわかりやすさに関連すると思われる設問の結果について検討する。設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」が、授業のわかりやすさに関連する指標であると想定する。

表7に、2023年度後期の経済学部教員開講科目によるアンケート対象科目全20科目を全て挙げ、これらに対する設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」の平均値を、各科目分類別に示した。

今回、項目4「わかりやすさ」ポイント4以上の科目は20科目中13科目(65%)であり、これは2022年度後期(50%)よりやや改善した。この割合は、経済学部の開講科目の今後の改善状況の指標とできる。

表7の簡易な表示からは、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」の間の相関は読み取れない。

また、科目分類別の平均点からは、共通科目および専門科目が全体に高く、専門共通基礎IIが低い傾向がみられる。ただし専門科目については科目によるばらつきが大きい。

表7 経済学部教員開講科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室管理」のポイント平均値(科目分類別)

科目分類	科目名	設問4	設問5	設問11	設問4平均	設問5平均	設問11平均
共通科目	生活と数(火3)				4.13	4.13	4.14
共通科目	心の科学II(火3)	☆	☆	☆			
専門共通基礎I	市民生活と経済(再)(金5)	☆	☆	☆	-	-	-
専門共通基礎II	国民経済と政府②(月2)				3.64	3.73	3.96
専門共通基礎II	国民経済と政府①(水1)						
専門共通基礎II	市場の経済学②(水1)						

専門共通基礎II	市場の経済学①(水2)							
専門科目	経済史(水1)			☆	4.13	4.23	4.24	
専門科目	国際経済論(水2)							
専門科目	社会政策と社会保障(月2)	☆						
専門科目	地方財政論(金1)							
専門科目	経済システム論(木2)							
専門科目	地理学II(月3)	☆	☆	☆				
専門科目	G I S 概論(月4)		☆					
専門科目	国際金融論(木3)							
専門科目	東海地方の産業(月3)	☆	☆	☆				
留学生日本語科目	(留)日本語コミュニケーションレベル6(木3)	☆	☆					
第二外国語科目	ベトナム語入門(木2)	☆						
その他	(日)基礎力養成II(A)(木4)							
その他	(日)公務員・就職試験基礎力養成IV(SPI含む)(水3)	☆	☆	☆				

注：各科目に対する設問4、5、11の平均値が、その科目分類の平均値より高い場合に☆を付した。

7. 専門共通基礎科目の傾向

専門共通基礎 I・II について、6と同様にわかりやすさに関する項目の結果を検討する。専門共通基礎 I・II は、3学部学生全員が履修し、経済学部専門科目の入口となる科目であることから重要な科目である。また、学部別にクラスが分けられ、複数教員が分担する形式で開講されており、その点が学生にとっての理解度や満足度にどのような影響を与えているか検討する必要がある。

表8に、経済学部専門共通基礎 I・II 科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「授業の妨げ」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較を示した。

表8 経済学部専門共通基礎 I・II 科目における、設問4「わかりやすさ」設問5「新しいものの見方」設問11「教室管理」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較

科目名	対象	有効数	設問 04	設問 05	設問 11	教員
市民生活と経済 (再)(金5)	全学生	33	4.30	4.33	4.52	佐藤 安部 牛山 木村 齋藤 酒井 定森 下村 羽田
	留学生のみ	6	4.17	4.50	4.33	
	留学生を除く	27	4.33	4.30	4.56	
	スポーツ学生のみ	10	4.50	4.70	4.60	

	スポーツ学生を除く	23	4.22	4.17	4.48	リエン 村山
国民経済と政府① (水1)	全学生	118	4.09	4.08	4.25	酒井 愛
	留学生のみ	13	4.23	4.38	4.38	
	留学生を除く	105	4.08	4.04	4.24	
	スポーツ学生のみ	9	4.00	3.88	4.67	
	スポーツ学生を除く	109	4.10	4.09	4.22	
国民経済と政府② (水2)	全学生	95	3.85	3.94	4.09	酒井 愛
	留学生のみ	14	3.86	3.79	3.93	
	留学生を除く	81	3.85	3.96	4.11	
	スポーツ学生のみ	6	3.83	3.67	3.83	
	スポーツ学生を除く	89	3.85	3.96	4.10	
市場の経済学① (水2)	全学生	110	3.11	3.29	3.71	ブ ティ ビック リエン
	留学生のみ	17	3.88	4.18	4.25	
	留学生を除く	93	2.97	3.13	3.61	
	スポーツ学生のみ	6	2.67	4.00	4.40	
	スポーツ学生を除く	104	3.13	3.25	3.67	
市場の経済学② (水1)	全学生	40	3.50	3.63	3.78	ブ ティ ビック リエン
	留学生のみ					
	留学生を除く					
	スポーツ学生のみ					
	スポーツ学生を除く					

まず、専門共通基礎Ⅰ「市民生活と経済（再）」の1つのクラスについて述べると、2023年度はすべて4ポイントを上回っている。これは2022年度後期の同科目と同じ傾向である。少人数で行われた再履修クラスは履修生にとってわかりやすいものとみられる。

次に、専門共通基礎Ⅱ「国民経済と政府」「市場の経済学」のそれぞれ2つのクラスについて述べる。①は経済学部向けクラス、②は他学部向けクラスである。科目によって傾向が異なるが、大まかに見ればどちらの科目も、経済学部向けクラスの評価が高く、他学部向けクラスの評価が低い傾向にある。これらの科目については、学部を問わず経済学に初めて触れる若者にとっての関心やわかりやすさに注意して内容や進め方を検討するのも一案であると考え。また、専門共通基礎科目は履修人数が101人以上のクラスの授業が多く、わかりやすさに関して不利となるため、これを克服するような改善が行われれば望ましいと考える。

8. まとめ

2023年度前期のアンケート結果は、経済学部において2022年度よりほぼすべての項目でポイントが上がっており、教員の授業に対する改善や工夫の成果であると考えます。一方で、出席が十分でないと感じる学生が多くなっていること、大人数クラスではわかりやすさの面で課題があることなどの課題があります。学部として学生に対して今まで以上に働きかけを強くし学習意欲を引き出す授業の改善や工夫が行われれば望ましい。

以上

2023 年度後期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	16,529	16,404	9,908	60.40
経営学部	3,791	3,791	2,163	57.06

実施予定 49 科目の全てにおいて授業評価アンケートが実施され、回収率は 100%である。なお、経営学部教員担当科目の回答率は 57.06%であった。これは全体平均の 60.40%を下回るが、社会科学系 3 学部では、経済学部 (52.73%) と法学部 (54.48%) の若干上位に位置している。

前期アンケート時の回答率と比較する。2023 年度前期は全体平均が 65.38%、経営学部が 65.34%であったことと比較すると、2023 年度後期は全体・経営学部ともに低下している。これは前期と後期の授業構成 (学生数など) もしくは位置付け等の違いが影響していると思われるが (例えば 4 年生が卒業単位の充足が見込まれた時点で保険的に多めに履修していた専門科目等の出席を途中でやめてしまうなど)、回答率の改善が新たな課題となりつつあることを認識しておく必要があると思われる。

なお 2022 年度後期では、経営学部の回答率は 55.41%、全体平均は 62.29%であった。これを 2023 年度後期の回答率と比較すると、経営学部の回答率は 1.65%の微増となっている (全体平均は 1.89%の減少)。ただし、コロナ禍前の回答率をみると 2019 年度後期で、経営学部が 71.60%、全体でも 67.73%はあったので、新型コロナの影響による出席率の低下がまだまだ継続していることが反映していると考えられる。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問項目	22 年度後期	本年度後期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.3	4.4
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.2	4.3
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.2
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.2	4.3

8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.3
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.2
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.0	4.3

※4.0未満の数値を赤字表記

上表の集計データは、経営学部教員担当科目の授業における、2022年度後期と本年度後期の学生評価に係る平均値を、設問番号毎に併記したものである。

設問全体としてみると、今後期は2022年度後期と同じか、それより高い数値を示していることがわかる（設問1の“授業出席”を除く）。ここから、コロナ禍により懸念された、学生・教員それぞれの「学びづらさ」と「教えづらさ」が、双方の熱意や配慮、その他の工夫などにより克服され、学生の授業満足度はコロナ禍以前の水準にはまだ届かないが、徐々に戻りつつあるみてよいであろう。

なお、学生の自己評価項目である、設問2（予習・復習を含めた授業への取り組み）のポイントは3.9から4.1へと上昇し、学習意欲の向上がみられる。また、教員への評価項目である設問5（新しいものの見方・考え方）および、設問11（一部の学生の授業の妨げに対する教員の対応。以下「教室管理」と称す。）は、ともに0.1上昇し、改善がみられる。設問2と、設問5および設問11については、結果として設問13（この授業のやり方で他の授業も勉強したいか）に関する評価の0.3の上昇を牽引しており今後も同様の期待ができるとみて差し支えないであろう。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

* 属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	3.8	4.2	3.7	3.7	3.8
2	4.1	4.3	4.1	4.2	4.1
3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4
4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
5	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2
6	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3
7	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
8	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3
9	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2

10	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
11	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2
12	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4
13	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2

※4.0未満の数値を赤字表記

留学生は全ての設問において、日本人学生のポイントと同じか、あるいはそれを上回る数値を示している。とりわけ、設問1の“授業出席”は、日本人学生に比べ0.5ポイント上回っており、こうした留学生全体の授業への参加意欲が、日本人学生への刺激となることが期待される。学習過程における日本人学生との協業作業などを通じての相乗効果が期待されるが、そのための授業環境の改善をあらためて考えてみたい。また、日本人学生は2022年度後期に比べると、設問1の“授業出席”を除く全ての設問において数値が同じか、もしくは上昇しており、今年度前期と比べても同様の傾向がみられる。

スポーツ学生に関しては、本年度後期では、設問1を除くすべての項目において、留学生のみと同様、4.2ポイント以上の高い数値となった。またスポーツ学生を除く学生も、今後期においては、設問1を除くすべての項目において、4.1ポイント以上の良い結果となり、相対的にスポーツ学生の授業に対する就学意欲が高まりつつあるといえる。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201～250人	251～300人
1	4.0	3.7	3.8	3.8	4.2	3.8
2	4.3	4.1	4.0	4.0	4.2	4.0
3	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2
4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.1
5	4.4	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0
6	4.5	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2
7	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.1
8	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
9	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.0
10	4.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2
11	4.4	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0
12	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2
13	4.4	4.2	4.2	4.2	4.4	4.1

*300人以上は、該当クラスなし。

*履修者数別の中で、4.0以下の数値は赤字表記。

該当するクラス数は、1～50人で26クラス、51～100人で8クラス、101～150人で8クラス、151～200人で4クラス、201～250人で2クラス、251～300で1クラスであった。評価ポイントは、2022年度後期に比べると本年度は全体的に高い数値を示しており、ポイントが一番高いのは、設定クラス数が一番多く、平均4.3をマークした1～50人の履修者クラスであった。他のクラス規模では各項目とも概ね同じような数値であった

5. クロス集計について

* 「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」

			設問4					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問11	回答なし	2	3	1	1		1
		5		<u>740</u>	<u>137</u>	21	5	1
		4	1	<u>124</u>	<u>636</u>	73	7	2
		3		47	130	152	14	2
		2		4	18	14	5	1
		1		3	4	4	3	7

* 「設問11：教室管理」と「設問8：教科書・配布資料の活用」

			設問8					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問11	回答なし	3	1	2	1	1	
		5		<u>787</u>	<u>92</u>	20	3	2
		4	1	<u>152</u>	<u>633</u>	50	6	1
		3	1	54	107	175	5	3
		2		6	16	14	3	3
		1	1	4	1	7	1	7

* 「設問11：教室管理」と「設問9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

			設問9					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問11	回答なし	4	2	1		1	
		5	2	<u>781</u>	<u>99</u>	15	6	1

		4	1	<u>133</u>	<u>646</u>	49	13	1
		3		48	94	191	10	2
		2		8	14	10	9	1
		1		1	5	3	2	10

* 「設問 11：教室管理」と「設問 10：教員の声の聞こえやすさ」

			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし	4	1	2		1	
		5		<u>813</u>	<u>76</u>	10	4	1
		4	1	<u>142</u>	<u>652</u>	38	8	2
		3	2	52	116	168	7	
		2	2	9	13	12	5	1
		1	1	6	3	2		9

設問 11（教室管理）と、設問 4（わかりやすさ）、設問 8（教科書・配布資料の活用）、設問 9（板書やクリーン・モニターなどの見やすさ）、設問 10（教員の声の聞こえやすさ）の計 4 項目に関するそれぞれのクロス集計についてみると、2022 年度後期は、教室管理の評価が高ければクロス項目の評価も高くなる、という相関関係が認められてきたが、今後期のアンケート結果についても同様である。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の分析

科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室管理
(留)アカデミック日本語レベル 6(木 4)	4.91	4.73④	4.73②
マネジメント特論(ドラッカー)(金 1)	4.83	5.00①	4.33
中国語入門(金 1)	4.82	4.55	4.64④
中国語入門(火 1)	4.80	4.45	4.50⑨
(留)日本事情 II(木 4)	4.80	4.80②	4.60⑤
情報(Word)(営 2)(金 1)	4.73	4.73③	4.82①
トピック対策英語 I(2)(金 3)	4.67	4.44	4.56⑥
(留)日本事情 I(金 1)	4.63	4.56⑨	4.44
情報システムの理論と実際(木 2)	4.61	4.70⑤	4.48
ベンチャービジネス(金 3)	4.56		

中国語初級(月 2)	4. 56		
情報処理概論(木 1)	4. 55		
統計学入門(金 3)	4. 52		
商業簿記(水 2)	4. 50		
(留)市民生活とキャリア形成V(月 2)	4. 50		
プログラム入門(金 3)	4. 48		
地域産業論(水 3)	4. 47		
(留)日本事情 V(水 3)	4. 45		
情報技術の経営学②(木 2)	4. 42		
原価計算論(火 2)	4. 41		
スキルアップ英語 II(G)(木 3)	4. 41		
(日)市民生活とキャリア形成U(月 1)	4. 40		
生活経営論(月 2)	4. 39		
(管栄)英語リーディング A(月 1)	4. 38		
犬山学入門(木 1)	4. 37		
統計学入門(水 3)	4. 36		
スキルアップ英語 II(A)(木 4)	4. 35		
日本の文化と社会(木 4)	4. 32		
情報技術の経営学①(火 2)	4. 31		
日本史(月 2)	4. 28		
経営学(金 1. 金 2)	4. 27		
税法会計論(水 2)	4. 24		
マーケティング調査論(木 3)	4. 23		
管理会計と財務分析(月 1)	4. 21		
情報通信ネットワーク(木 4)	4. 19		
アジア史/アジア史 I(金 2)	4. 15		
情報(Word)(営 3)(金 2)	4. 14		
市民生活とビジネス(再)(月 5)	4. 13		
キャリア支援講座 II(SPI 対策)(水 1)	4. 12		
人と組織の経営学②(木 1)	4. 12		
基本経営学(木 2)	4. 10		
人と組織の経営学①(月 1)	4. 10		

上表では、設問4（わかりやすさ）の数値4.1以上の科目を、その高い順に並べ、中央の列に設問5（新しいものの見方）、右側に、設問11（教室管理）の数値が高い、上位9科目について丸囲みの数字でその順番を示した。その結果、設問4の評価ポイントが高い科目と、設問5及び設問11のポイントが高い科目との相関関係が認められることがわかる。なお、設問4（わかりやすさ）のが4.1ポイント以上の科目は、49科目中42科目（88%）であった。

***設問5「新しいものの見方」結果**

マネジメント特論(ドラッカー)(金1)	5.00
(留)日本事情II(木4)	4.80
情報(Word)(営2)(金1)	4.73
(留)アカデミック日本語レベル6(木4)	4.73
情報システムの理論と実際(木2)	4.70
中国語初級(月2)	4.63
統計学入門(金3)	4.59
(留)日本事情V(水3)	4.58
(留)日本事情I(金1)	4.56
中国語入門(金1)	4.55
ベンチャービジネス(金3)	4.50
情報処理概論(木1)	4.50
中国語入門(火1)	4.45
トピック対策英語I(2)(金3)	4.44
プログラム入門(金3)	4.44
地域産業論(水3)	4.41
日本の文化と社会(木4)	4.39
犬山学入門(木1)	4.35
生活経営論(月2)	4.34
(留)市民生活とキャリア形成V(月2)	4.33
税法会計論(水2)	4.33
情報技術の経営学②(木2)	4.33
統計学入門(水3)	4.30
情報通信ネットワーク(木4)	4.30
商業簿記(水2)	4.29
経営学(金1.金2)	4.29
(管栄)英語リーディングA(月1)	4.27

スキルアップ英語 II(A) (木 4)	4.23
マーケティング調査論(木 3)	4.23
管理会計と財務分析(月 1)	4.23
(日)市民生活とキャリア形成U(月 1)	4.23
スキルアップ英語 II(G) (木 3)	4.22
アジア史/アジア史 I (金 2)	4.21
情報技術の経営学①(火 2)	4.20
日本史(月 2)	4.16
環境共生の探究 II(月 3)	4.16
市民生活とビジネス(再)(月 5)	4.15
(管栄)英語リーディング B(月 2)	4.14

設問5「新しいものの見方」において評価ポイントが4.1以上の科目は、49科目中37科目(75.5%)であった。

* 設問11「教室管理」の結果

情報(Word) (営 2) (金 1)	4.82
(留)アカデミック日本語レベル6(木 4)	4.73
(留)日本事情 V(水 3)	4.67
中国語入門(金 1)	4.64
(留)日本事情 II(木 4)	4.60
トピック対策英語 I(2) (金 3)	4.56
情報処理概論(木 1)	4.55
統計学入門(金 3)	4.52
中国語入門(火 1)	4.50
情報システムの理論と実際(木 2)	4.48
中国語初級(月 2)	4.47
ベンチャービジネス(金 3)	4.44
(留)日本事情 I (金 1)	4.44
スキルアップ英語 II(G) (木 3)	4.37
(日)市民生活とキャリア形成U(月 1)	4.37
地域産業論(水 3)	4.35
生活経営論(月 2)	4.34
マネジメント特論(ドラッカー)(金 1)	4.33

税法会計論(水 2)	4.33
(管栄)英語リーディング B(月 2)	4.32
プログラム入門(金 3)	4.30
商業簿記(水 2)	4.29
人と組織の経営学②(木 1)	4.25
統計学入門(水 3)	4.24
基本経営学(木 2)	4.23
犬山学入門(木 1)	4.21
人と組織の経営学①(月 1)	4.21
日本の文化と社会(木 4)	4.20
情報技術の経営学②(木 2)	4.17
アジア史/アジア史 I (金 2)	4.16
(管栄)英語リーディング A(月 1)	4.15
スキルアップ英語 II(A) (木 4)	4.15
(日)基礎力養成 II(B) (木 4)	4.15
市民生活とビジネス(再) (月 5)	4.15
環境共生の探究 II(月 3)	4.12
情報通信ネットワーク(木 4)	4.11
ガバナンスと監査(火 2)	4.11
マーケティング論(月 2)	4.11
管理会計と財務分析(月 1)	4.10
原価計算論(火 2)	4.10

設問 11 (教室管理) において、評価ポイントが 4.1 以上の科目は、49 科目中 40 科目 (81.6%) であった。

以上の結果のとおり「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の項目は、4.0 未満の授業がほとんどなく、概ね 4.1 以上の高い評価ポイントを示していた。コロナ禍を経て、全面的な対面授業に切り替わってから、学生及び教員双方の努力によってこのような結果が得られていると考えられる。また、今後のアンケート評価結果を注視していきたい。

7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅱ（後期開講科目）について

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	110	情報技術の経営学①(火 2)	4.31	4.20	4.09
留学生のみ	21		4.43	4.38	4.29
留学生を除く	89		4.28	4.16	4.04
スポーツ学生のみ	8		4.63	4.38	4.13
スポーツ学生を除く	102		4.28	4.19	4.09
全学生	83	情報技術の経営学②(木 2)	4.42	4.33	4.17
留学生のみ	10		4.70	4.40	4.60
留学生を除く	73		4.38	4.32	4.11
スポーツ学生のみ	10		4.40	4.60	4.30
スポーツ学生を除く	73		4.42	4.29	4.15

－（経営学部必修）情報技術の経営学①(火 2)

経営学部必修科目の「情報技術の経営学①」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、4.2ポイントとなり、2022年度後期に続き評価ポイントは良好であった。なおスポーツ学生は最も高い4.38ポイントをマークした。

－（経済、法学部選択）情報技術の経営学②(木 2)

経済、法学部選択科目の「情報技術の経営学②」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、4.3ポイントとなり、2022年度後期に続き評価ポイントは良好であった。中でも留学生は、最も高い4.57ポイントをマークした。

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	135	人と組織の経営学①(月 1)	4.10	4.01	4.21
留学生のみ	32		4.28	4.16	4.16
留学生を除く	103		4.04	3.96	4.22
スポーツ学生のみ	15		4.33	4.07	4.20
スポーツ学生を除く	120		4.07	4.00	4.21
全学生	77	人と組織の経営学②(木 1)	4.12	4.08	4.25
留学生のみ	12		3.83	3.92	4.08
留学生を除く	65		4.17	4.11	4.28
スポーツ学生のみ	9		3.78	3.78	3.78
スポーツ学生を除く	68		4.16	4.12	4.31

－（経営学部必修）人と組織の経営学①（月 1）

経営学部必修科目の「人と組織の経営学①（月 1）」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3 項目の平均は、4.11 ポイントであったが、中でもスポーツ学生は、最も高い 4.2 ポイントをマークした。2022 年度後期と比較すると、とくにスポーツ学生は上昇幅の大きい結果となった。

－（経済、法学部選択）人と組織の経営学②（木 1）

経済、法学部選択科目の「人と組織の経営学②（木 1）」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3 項目の平均は、4.15 ポイントであった。

以上。

2023 年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	2,655	2,645	1,441	54.48
【全体】	16,529	16,404	9,908	60.40

法学部の専任教員担当科目のうち 24 科目が今回のアンケート対象であり、23 科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 54.48%と、今年度前期より 6.13 ポイント低下した。全体と比べて低い数値にはなっている。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.8
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.1

今年度前期の結果と比較すると、おおよそ同様の結果となった。上昇した項目は 5 で、低下した項目は 1、13 であり、それぞれ 0.1 ポイントの変動である。授業規律に関する項目が比較的高く評価できるが、教員一人ひとりの授業力向上に結び付く研修などを実施することで改善していくことも考えていかなければならない。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.8	3.8	4.0	3.8	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.2	4.2	4.0	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.5	4.4	4.2	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.2	4.3	4.3	4.0	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2	4.3	4.3	4.0	4.2
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.4	4.4	4.1	4.3
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.3	4.3	4.1	4.2
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.3	4.3	4.4	4.1	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.3	4.4	4.1	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.4	4.1	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4	4.4	4.2	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.3	4.3	4.1	4.1
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	76.1	75.6	77.2	72.5	86.0

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.6	3.6	3.8	3.6	3.3
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.1	4.3	4.0	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.4	4.5	4.2	4.4
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.2	4.2	4.4	4.0	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2	4.2	4.3	4.1	4.2
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.3	4.5	4.1	4.3
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.3	4.4	4.1	4.3
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.2	4.4	4.1	4.4
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.3	4.4	4.1	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.3	4.5	4.1	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.2	4.4	4.1	4.3
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4	4.4	4.2	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.2	4.3	4.4	4.1	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	70.1	66.4	74.6	67.9	93.0

まず、学生全体については、例年と大差ない結果となっている。しかし、第3学年の数値がほとんどの項目で全学年平均を下回っている状態にある。大学の学びにネガティブな考えが反映されていなければ良いが、これから就職活動に取り組んでいることもあり、しばらく注視しておく必要がある。

次に、スポーツ学生については、例年通りに設問1(出席)が、全体よりも低くなっているが、その他の設問はおおよそ、前期の数値より上昇している。出席率を向上させることでさらなる数値の上昇が期待できると考える。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	251-300
1	あなたは、この授業に出席しましたか	4.1	3.9	3.7	3.9	3.8
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.3	4.2	4.0	4.1	4.1
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.6	4.4	4.2	4.4	4.4
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.5	4.3	4.0	4.2	4.3
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.5	4.3	4.1	4.2	4.3
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.6	4.4	4.2	4.3	4.4
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.5	4.3	4.1	4.2	4.2
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.6	4.3	4.1	4.1	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.6	4.5	4.1	4.3	4.4
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.4	4.3	4.1	4.1	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.7	4.5	4.2	4.3	4.4
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.5	4.3	4.1	4.1	4.4

※ 履修者数が201-250名を超えるクラスは今回、存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが3、51~100名規模のものが8、101~150名規模のものが6、151~200名規模のものが4、251~300名規模のものが1ある。

履修者数別に平均値を見ると、1名~50名規模は4.5、51名~100名規模は4.3、101名~150名規模は4.1、151名~200名規模は4.2、251名~300名規模は4.3となっている。1名~50名規模は例年、評価が高い傾向にある。しかし、今回はすべての規模で平均値が4.0以上を上回っている。大規模でもある程度、学生の満足を得られていると考えて良い。特に251-300名規模の平均値が4.3となっており、高評価になっていると考えて良いだろう。これらの要因を分析して、教員間で共有すると良いであろう。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(教) 教師論(木5)	4.87	4.87①
(教) 社会科・公民科教育法II(火3)	4.86	4.43⑤
労働法(金4)	4.54	4.48③
地域創生と文化遺産(木4)	4.48	4.45④
市民生活と法(再)(木5)	4.46	4.43⑥
特殊専門講義II(中国法)(火2)	4.43	4.54②
(日) 公務員・就職試験基礎力養成III(SPI含む)(火3)	4.38	4.31⑩
(日) 市民生活とキャリア形成T(月1)	4.36	4.32⑨
政治の世界(金3)	4.35	4.28
債権総論(水2)	4.30	4.24
歴史との対話(水2)	4.30	4.41⑦
外国法(水3)	4.25	4.35⑧
(日) 公務員・就職試験対策II(SPI含む)(火2)	4.14	4.24
国家と法(日本国憲法)②(金4)	4.14	4.18
国家と法(日本国憲法)①(火1)	4.09	4.10
商法(木1)	4.08	3.99
会社法(水2)	4.05	4.23
国際法(金1)	4.01	3.99
刑事訴訟法(木2)	4.00	4.12
犯罪と法①(水2)	3.95	4.11
家族法(金2)	3.84	3.96
民事訴訟法(金3)	3.73	3.97
犯罪と法②(火1)	3.44	3.66

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。例年、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められるが、今年度後期は、多少のばらつきが見られる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
(教) 教師論(木5)	4.67
(教) 社会科・公民科教育法II(火3)	4.57
市民生活と法(再)(木5)	4.45
(日) 市民生活とキャリア形成T(月1)	4.42
特殊専門講義II(中国法)(火2)	4.40
労働法(金4)	4.35
地域創生と文化遺産(木4)	4.33
政治の世界(火2)	4.26
歴史との対話(水2)	4.25
(日) 公務員・就職試験対策II(SPI含)	4.24

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4		3	3		
		5		667	178	28	6	2
		4	1	96	606	94	17	3
		3	2	27	96	222	22	7
		2		3	16	16	17	4
		1		6	7	8	6	16
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4	1	1	4		
		5	6	712	131	19	7	6
		4	3	129	617	55	12	1
		3		41	108	211	11	5
		2		8	22	10	14	2
		1		5	8	6	3	21
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4		4	2		
		5	1	703	134	30	10	3
		4		108	615	74	16	4
		3	3	33	78	234	25	3
		2		9	12	15	15	5
		1		4	2	12	1	24
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	5	1	2	2		
		5	3	775	89	7	4	3
		4	2	157	606	43	7	2
		3	1	43	114	203	12	3
		2		9	18	17	12	
		1	1	8	8	6	3	17

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度後期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	49	市民生活と法(再)(木5)	4.46	4.43	4.45
留学生のみ	11		4.64	4.45	4.73
留学生を除く	38		4.41	4.42	4.37
スポーツ学生のみ	7		4.83	4.57	4.57
スポーツ学生を除く	42		4.40	4.40	4.43
全学生	59	(日)市民生活とキャリア形成T(月1)	4.36	4.32	4.42
スポーツ学生のみ	9		3.89	4.22	4.00
スポーツ学生を除く	50		4.44	4.34	4.50

専門共通基礎 II

全学生	114	国家と法(日本国憲法)①(火1)	4.09	4.10	4.17
留学生のみ	21		4.00	4.10	4.05
留学生を除く	93		4.11	4.10	4.19
スポーツ学生のみ	37		3.92	3.84	4.00
スポーツ学生を除く	77		4.17	4.22	4.25
全学生	57	国家と法(日本国憲法)②(金4)	4.14	4.18	4.11
スポーツ学生のみ	9		4.22	4.22	3.67
スポーツ学生を除く	48		4.13	4.17	4.19
全学生	39	犯罪と法①(水2)	3.95	4.11	3.89
スポーツ学生のみ	10		4.20	4.20	3.90
スポーツ学生を除く	29		3.86	4.07	3.89
全学生	122	犯罪と法②(火1)	3.44	3.66	3.70
留学生のみ	23		3.87	3.83	3.96
留学生を除く	99		3.34	3.62	3.65
スポーツ学生のみ	7		3.86	4.00	4.43
スポーツ学生を除く	115		3.42	3.63	3.66

今学期の専門共通基礎 I は、「市民生活と法（再履修）」「市民生活とキャリア形成 T」が分析の対象となっている。「市民生活と法（再履修）」では、留学生と全学生との差異は大きくないが、特にスポーツ学生の評価が高くなっている。一方、「市民生活とキャリア形成」では、スポーツ学生の評価が低くなっている。異なる結果から、授業担当者の特性などが影響していることが考えられる。学生の実態に応じた授業展開が求められる。

専門共通基礎 II については、「国家と法（日本国憲法）」「犯罪と法」が分析の対象となっている。それぞれの科目の①が科目設置学部の学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。「国家と法（日本国憲法）」では、留学生、スポーツ学生に大きな差異は見られない。「犯罪と法」では、①はスポーツ学生で平均値が高い傾向に、②は留学生で平均値が高い傾向になっている。日本人学生の満足度を高める方策を立てていく必要がある。

2023年度後期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科FD委員会

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは33科目について行われた。今回の回答率は80.35%であった。大学全体の回答率は60.40%であった。本学科の回答率は高いといえる（表1）。

表1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	855	855	687	80.35
【全体】	16,529	16,404	9,908	60.40

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表2から、どの設問に関しても比較的高いポイント（すべての設問に対し4.0以上のポイント）が得られていることが明らかとなった。ただし、設問1「あなたはこの授業によく出席しましたか」は、他の設問よりやや低い評価となった。一方、設問3「授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」、設問10「教員の声は聞き取りやすかったと思いますか」は、4.50ポイントを超え、高い評価となった。また前期と比較すると、設問1以外はすべて微増という結果になった。

表2

	設問項目	本学科	大学全体
1	あなたは授業によく出席しましたか	4.06	3.91
2	あなたはこの授業の履修（授業そのもの、予習、復習）に意欲的に取り組んだと思いますか	4.35	4.15
3	授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.51	4.40
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.36	4.21
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.40	4.20
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.47	4.30
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.38	4.24
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.33	4.29
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.41	4.25
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.50	4.31
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.37	4.21
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.48	4.37
13	この授業の教え方はいいですか	4.38	4.22

3. 学生視点からのデータ分析（教育保育学科）

（1）学年別の結果

表3

設問番号	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.1	3.9	3.9
2	4.5	4.3	4.3	4.2
3	4.6	4.5	4.6	4.3
4	4.4	4.1	4.4	4.3
5	4.5	4.1	4.4	4.4
6	4.6	4.2	4.5	4.5
7	4.5	4.2	4.5	4.3
8	4.4	4.2	4.5	4.1
9	4.5	4.2	4.4	4.2
10	4.6	4.3	4.5	4.5
11	4.4	4.2	4.4	4.2
12	4.6	4.3	4.5	4.4
13	4.4	4.1	4.4	4.4

4.5以上の数値を黄色で表した。1、2、3年生については、設問3「授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」のポイントが高かった。また、2年生以外の学年で、設問6「教員の教え方に熱意があった」、設問10「教員の声は聞き取りやすかったと思いますか」のポイントが高かった。高学年になるほど低いポイントに下がってしまったのは、設問2「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」であった（表3）。

学年を通してしてみると、ほとんどの項目で1年生が高く、2年生で低い傾向にある。これは昨年と同じ傾向で、理由としては学外実習が開始することが考えられる。全ての学生がモチベーションを維持できるようなサポートが必要であろう。

設問2「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」はコロナ禍以前の2019年のアンケートでも低い傾向だったが、今年度はすべての学年で4.0以上を獲得しており、低学年ほど意欲的に予習復習に取り組んでいることが見て取れ、改善している。

(2) スポーツ推薦入学の学生

表7

設問 番号	1年		2年		3年		4年	
	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く
1	4.4	4.4	3.9	4.1	3.6	4.0	3.8	4.0
2	4.3	4.5	5.0	4.2	4.3	4.3	3.9	4.2
3	4.4	4.6	5.0	4.4	4.6	4.6	4.3	4.3
4	4.2	4.4	4.5	4.1	4.3	4.4	4.3	4.3
5	4.3	4.5	4.5	4.1	4.2	4.4	4.3	4.4
6	4.4	4.6	4.6	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5
7	4.4	4.5	4.5	4.2	4.1	4.5	4.3	4.3
8	4.2	4.5	4.6	4.2	4.3	4.5	4.4	4.1
9	4.3	4.6	4.8	4.1	4.2	4.5	4.2	4.3
10	4.4	4.6	4.8	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5
11	4.0	4.4	4.3	4.2	4.2	4.4	4.5	4.2
12	4.3	4.7	4.8	4.2	4.2	4.6	4.4	4.4
13	4.1	4.5	4.6	4.0	4.1	4.5	4.4	4.4

4.7以上の数値を黄色で、4.0未満の数値を緑色で表した。4.0未満の項目はすべてスポーツ推薦で入学した学生であった。特筆すべきは、設問1「授業に出席したか」の項目でスポーツ学生の1年は4.4と高い値であるのに対し、2、3年ではスポーツ学生の数値は4.0未満の低い値となっていることである。しかし、2年生では設問1以外の項目において、スポーツ学生の方が高い値となった。

学外実習が本格化する高学年になると部活と勉強の両立に悩むことが多くあるため、教職員はよく相談にのり、サポートすると改善されると考える。

2023 年度後期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

実施予定 52 科目の全てが実施され回収率は 100%であった。回答率は 80.28%で、全体の回答率 60.40%よりも高い回答率であった。前期の回答率 86.39%と比べて約 4 ポイント低かった。

所属名		対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】		284	279	98.24	16,529	16,404	9,908	60.40
人間生活科学部・ 管理栄養学科	後期	52	52	100.00	1,851	1,851	1,486	80.28
	前期	49	49	100.00	1,624	1,624	1,403	86.39

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについての 2023 年度後期と前期および 2022 年度後期との比較

設 問	内 容	2023 年度後期		2023 年度前期		2022 年度後期	
		管理栄養 学科	全体	管理栄 養学科	全体	管理栄 養学科	全体
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.16	3.91	4.45	4.06	4.35	4.03
2	あなたはこの授業の履修(授業そのもの、予習、復習)に意欲的に取り組んだと思いますか	4.28	4.15	4.19	4.09	4.06	3.98
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること	4.56	4.40	4.55	4.35	4.43	4.32
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.31	4.21	4.18	4.15	4.16	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.28	4.20	4.19	4.14	4.14	4.12
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.36	4.30	4.28	4.27	4.32	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.32	4.24	4.18	4.18	4.17	4.17
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.37	4.29	4.26	4.21	4.24	4.24
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.35	4.25	4.24	4.19	4.21	4.18
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.36	4.31	4.25	4.27	4.25	4.26
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.30	4.21	4.21	4.16	4.21	4.15
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.42	4.37	4.36	4.34	4.35	4.33
13	この授業の教え方はよいですか(この項目の結果はエクセレントティーチャーの表彰に用いられます)	4.30	4.22	4.16	4.16	4.08	4.05
	全平均値	4.34	4.26	4.27	4.20	4.23	4.17

前期と比較し、「設問2：学習意欲」が高くなる傾向をみとめ、学生の学習意欲がさらに高まっていると考えられた。また、「設問4：わかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方」についても、前期と比較して高くなっている傾向がみられた。

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

設 問	2023 年度後期								2023 年度前期							
	1年生		2年生		3年生		4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
1	583	4.26	578	4.30	451	3.94	33	3.60	576	4.43	613	4.49	364	4.33	71	4.15
2	584	4.32	579	4.36	451	4.18	33	4.03	575	4.12	614	4.26	364	4.15	71	4.12
3	341	4.61	237	4.68	183	4.35	21	4.57	265	4.48	258	4.71	163	4.42	44	4.36
4	583	4.31	579	4.35	450	4.24	33	4.33	575	4.02	614	4.31	364	4.16	71	4.10
5	584	4.26	578	4.34	450	4.23	33	4.27	576	4.00	614	4.30	364	4.21	71	4.07
6	582	4.36	578	4.43	446	4.30	32	4.44	572	4.17	614	4.38	363	4.25	71	4.10
7	584	4.33	579	4.42	450	4.18	33	4.30	576	4.00	612	4.33	363	4.13	71	4.18
8	584	4.35	578	4.43	449	4.26	33	4.30	575	4.23	608	4.35	363	4.18	71	3.89
9	583	4.34	579	4.44	450	4.27	33	4.30	576	4.11	614	4.36	363	4.21	71	4.24
10	583	4.35	578	4.39	449	4.33	33	4.36	575	4.21	614	4.33	363	4.18	71	4.39
11	583	4.27	577	4.37	450	4.26	33	4.30	575	4.13	614	4.31	363	4.16	71	4.10
12	583	4.39	576	4.49	450	4.32	33	4.30	576	4.29	614	4.48	364	4.26	71	4.32
13	581	4.30	569	4.37	443	4.17	33	4.30	576	4.04	610	4.28	360	4.12	71	4.17
平 均	551	4.2	586	4.4	348	4.2	69	4.2	551	4.2	586	4.4	348	4.2	69	4.2

出席率は前期と比べて4年生で低くなっているが、就職活動によるものが原因と考えられた。

2023 年度後期では前期と比べて「設問2：学習意欲」、「設問4：わかりやすさ」、「設問5：新しいものの見方」が1年生、2年生の低学年でポイントが高くなる傾向がみられた。特に1年生でこれらのポイントが高くなっているのは、入学後に学生生活や90分授業にも慣れて、人間関係を築き、落ち着いて学習しやすい環境が整ったことがあるのではないかと考えられた。

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1年生	2年生	3年生	平均	1年生	2年生	3年生	平均
1	4.22	4.27	3.93	4.14	4.26	4.30	3.94	4.17
2	4.67	4.62	4.48	4.59	4.27	4.33	4.13	4.24
3	4.53	4.65	4.67	4.62	4.63	4.68	4.26	4.52
4	4.56	4.64	4.47	4.56	4.27	4.32	4.20	4.27
5	4.44	4.62	4.47	4.51	4.24	4.32	4.19	4.25
6	4.65	4.65	4.48	4.59	4.32	4.40	4.27	4.33
7	4.51	4.65	4.53	4.56	4.30	4.40	4.10	4.27
8	4.49	4.65	4.58	4.57	4.33	4.40	4.21	4.32
9	4.59	4.65	4.58	4.61	4.30	4.41	4.22	4.31
10	4.68	4.64	4.58	4.63	4.31	4.37	4.30	4.32
11	4.53	4.65	4.54	4.58	4.24	4.34	4.22	4.26
12	4.68	4.65	4.51	4.61	4.35	4.48	4.29	4.37
13	4.51	4.58	4.49	4.53	4.27	4.35	4.12	4.25
平均	4.54	4.61	4.49	4.55	4.32	4.39	4.19	4.30

1年生、2年生、3年生のいずれの学年においても、非スポーツ学生とスポーツ学生の間で、授業の出席について差は見られなかった。「設問2：学習意欲」についてはいずれの学年においても、スポーツ学生の方が非スポーツ学生よりポイントが高い傾向がみられ、「設問4：わかりやすさ」「設問5：新しいものの見方」についてもスポーツ学生の方が非スポーツ学生より高い傾向がみられた。

4. 「設問4：授業内容のわかりやすさ」における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
調理学実習	1	4.75	4.63	4.87
食品学実験Ⅱ	1	4.75	4.64	4.86
食品学Ⅱ	1	4.70	4.60	4.81
生化学Ⅱ	1	4.27	4.16	4.37
生化学実験Ⅱ	1	4.17	3.95	4.38
解剖生理学Ⅱ	1	3.76	3.67	3.84
解剖生理学実習	1	3.59	3.78	3.39
平均	1	4.28	4.20	4.36

科目名	学年	平均	1組	2組
給食経営管理論Ⅱ	2	4.62	4.62	4.61
給食経営管理論実習	2	4.60	4.69	4.50
基礎栄養学実習	2	4.54	4.75	4.32
栄養教育論Ⅰ	2	4.47	4.62	4.32
基礎栄養学Ⅱ	2	4.37	4.60	4.14
臨床栄養学Ⅰ	2	4.30	4.38	4.21
栄養教育論実習Ⅰ	2	4.23	4.38	4.07
応用栄養学Ⅱ	2	4.22	4.36	4.08
病態学Ⅱ	2	4.06	3.83	4.29
平均	2	4.38	4.47	4.28

	学年	平均	1組	2組
栄養教育論演習	3	4.46	4.43	4.48
公衆衛生学Ⅱ	3	4.38	4.38	4.37
臨床栄養学実習Ⅱ	3	4.33	4.24	4.42
臨床栄養学Ⅲ	3	4.32	4.32	4.32
公衆衛生学実習	3	4.25	4.20	4.29
運動生理学	3	3.97	4.14	3.79
平均	3	4.29	4.29	4.28

「設問4：わかりやすさ」については、1年生では、どの科目も2組の方が1組よりもポイントが高い傾向を示した。また、2年生では2組よりも1組のポイントの方が低い傾向がみられた。3年生では1組も2組も同じようなポイントを示していた。

5. 「設問5：新しいものの見方」における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
調理学実習	1	4.74	4.56	4.91
食品学Ⅱ	1	4.69	4.56	4.81
食品学実験Ⅱ	1	4.65	4.40	4.90
生化学Ⅱ	1	4.18	4.05	4.30
生化学実験Ⅱ	1	4.10	3.91	4.29
解剖生理学Ⅱ	1	3.80	3.71	3.88
解剖生理学実習	1	3.55	3.88	3.22
平均	1	4.24	4.15	4.33

科目名	学年	平均	1組	2組
給食経営管理論実習	2	4.62	4.69	4.54
栄養教育論Ⅰ	2	4.49	4.52	4.35
給食経営管理論Ⅱ	2	4.49	4.52	4.46
基礎栄養学実習	2	4.42	4.64	4.20
基礎栄養学Ⅱ	2	4.40	4.53	4.26
臨床栄養学Ⅰ	2	4.35	4.34	4.35
栄養教育論実習Ⅰ	2	4.30	4.38	4.22
応用栄養学Ⅱ	2	4.23	4.42	4.03
病態学Ⅱ	2	4.03	3.91	4.14
平均	2	4.37	4.45	4.28

科目名	学年	平均	1組	2組
栄養教育論演習	3	4.44	4.43	4.44
臨床栄養学Ⅲ	3	4.37	4.46	4.28
臨床栄養学実習Ⅱ	3	4.35	4.34	4.35
公衆衛生学Ⅱ	3	4.34	4.42	4.26
公衆衛生学実習	3	4.22	4.25	4.18
運動生理学	3	4.00	4.00	4.00
平均	3	4.29	4.32	4.25

「設問5：新しいものの見方」についても「設問4：わかりやすさ」と同様に、1年生ではどの科目も2組の方が1組よりもポイントが高い傾向があった。また、2年生では2組の方が1組よりもポイント

が低い傾向がみられ、3年生では1組も2組も同じようなポイントであった。「設問4：わかりやすさ」や「設問5：新しいものの見方」は、学年によって1組と2組で違いがみられたのは、クラス間での授業に対する理解度の差を反映している可能性が考えられた。

6. 「設問11：教室管理」に対する各設問のクロス集計

人間生活科学部・管理栄養学科

		設問4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	1	3	1			
	5	2	636	78	8	3	
	4		70	421	36	3	2
	3		14	46	107	8	6
	2		3	5	10	6	2
	1		1	1	1	3	9

全体

		設問4					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	8	11	6	4	2	1
	5	3	3509	645	127	28	8
	4	3	491	2836	307	62	18
	3	3	149	496	761	89	34
	2		18	65	55	40	8
	1	1	9	22	16	24	49

		設問8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	2	2	1			
	5	2	670	42	10	1	2
	4		79	429	22	1	1
	3		19	43	111	5	3
	2		2	8	6	6	4
	1	1	3	2		2	7

		設問8					
		回答なし	5	4	3	2	1
設問11	回答なし	15	4	6	5	2	
	5	78	3709	408	95	14	16
	4	43	560	2852	224	24	14
	3	30	196	462	781	44	19
	2	5	25	69	42	36	9
	1	4	29	11	18	15	44

上記の左二つの表より、人間生活科学部 管理栄養学科では「設問11：教室管理」が高いほど「設問4：わかりやすさ」が高く「設問8：教科書・配布資料の活用」も高くこれら二つの項目が「設問11：教室管理」との間に関連性がみとめられた。これは、上記の右二つの表より、本学全体についても同様のことがいえる。

人間生活科学部・管理栄養学科

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	2					
	5		330	26	6	1	1
	4		33	180	14	3	1
	3		13	16	45	2	2
	2		1	5			
	1		2	1			3

全体

		設問 9					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	18	5	4	4	1	
	5	85	3688	421	99	20	7
	4	99	489	2814	249	54	12
	3	41	166	401	836	64	24
	2	6	22	68	43	41	6
	1	4	15	23	14	13	52

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	1			1		
	5	1	346	13	3	1	
	4		45	176	10		
	3		19	16	43		
	2		2	4			
	1		2			1	3

		設問 10					
		回答なし	5	4	3	2	1
設 問 11	回答なし	17	5	6	3	1	
	5	6	3915	323	50	16	10
	4	5	637	2844	171	40	20
	3	7	213	463	768	53	28
	2	2	30	60	43	40	11
	1	1	24	17	8	13	58

上記の左二つの表より、人間生活科学部 管理栄養学科では「設問 11：教室管理」が高いと、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」、「設問 10：声の聞き取りやすさ」のいずれも高く、関連性が認められた。これは、右二つの表より大学全体についても同じようなことがいえる。

8. 考察

回答率は全体より高かった。後期は、前期よりも「設問 2：学習意欲」、「問題 4：わかりやすさ」、「新しいものの見方」が高くなる傾向がみられた。

学年によってクラス間で評価ポイントに差がみとめられ、クラス間での理解度の差を反映していることが考えられた。また、「教室管理」と、授業の「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「板書やスクリーンの見やすさ」、「声の聞き取りやすさ」との間に関連性をみとめた。質の高い教育を目指して教育方法を改善・開発するにあたり、「教室管理」も意識する必要があると考えられた。

2023 年度後期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

1. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

今期は 279 科目が開講された（アンケート対象とならない受講登録者数 10 名未満の授業を除く）。そのうち専任教員担当授業は 177 であり全体の約 63.4%にあたる。専任教員担当授業では、授業評価アンケートがすべての授業で実施され、アンケート実施率は 100%であった。また授業評価アンケート結果に基づく自身の授業に対するコメントの提出 96.6%であった（2/27 現在）。

いっぽう 279 科目の内、非常勤講師担当授業は 102 であり、これは全授業の約 36.6%に当たる。こちらもこの 102 科目全てでアンケートが実施され、アンケート実施率は 100%であった。ただしアンケート結果に対する授業者のコメントの提出は 95 であり、提出率は 93.14%であった（2/27 現在）。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント提出科目数 (C)	コメント提出率 (C ÷ B)
非常勤講師	102	102	100.00	95	93.14
【全体】	279	279	100.00	266	95.34

非常勤講師による実施科目の内訳は、「英語科目」30、「情報科目」15、「留学生用日本語科目」6、「諸外国語科目」10、「その他共通科目」17、「学部学科専門科目等」24であった。

非常勤講師全授業の項目 13 の平均は 4.31 であり、これは常勤の 5 つの学部学科と比べると、平均の最も高い人間生活科学部教育保育学科の 4.38 に次いで高かった。

また、今年度前期には、常勤教員は全授業で授業評価アンケートを実施したのに対して非常勤講師の授業では実施できなかったものがあったが、今期は常勤教員と非常勤講師の全授業で授業評価アンケートが実施された。

2. 集計結果について

以下では、昨年度までの報告に含まれていた「履修者数」を要素とする分析は、前期同様行わなかった。本学では、履修登録をしたまま授業に出席せず期末試験も受けなくても、その授業に D がついて GPA が下がるわけではないので、必修科目以外では履修登録をしたまま受講しなくなる学生も多くみられ、「履修者数」はあくまで「当初の履修登録者数」であって「実際の履修者・受講者数」ではないため、分析の有意性が高くないと判断したためである。

(1) 非常勤講師担当授業全体の各項目平均ポイント

設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 13	設問 E (Yes 率)
3.9	4.2	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	74.6%

1 以外の設問で 4.0 以上となっており、4.4 以上のものもあって、総じて適切な授業が行われたものと評価できる。ただし以下に示すように、個々のクラスには、評価の低いものがある。

(2) 「設問 4. わかりやすさ」、「設問 5. 新しいものの見方」「設問 11. 授業・教室管理」について

以下の表の担当者名のアルファベットによる記号は、表を越えて共通する非常勤講師がいない「ア 英語科目」、「ウ 留学生対象日本語科目等」、「エ 諸外国語科目」、「オ その他の共通科目」は表ごとに A から振っている。それに対して「イ 情報科目」と「カ 学部・学科専門科目」には共通する非常勤講師がいるため、この 2 つの表は通しで A から記号を振っている。

なお、評価が 4.4 以上のものを青字で示し、4 未満のものを赤字で示す。

ア 英語科目

区分	科目名	担当者名	4. 分かりやすさ	5. 新しいものの見方	11. 教室管理
必修	基礎英語Ⅱ	A	4.55	4.38	4.41
	基礎英語Ⅱ	B	4.46	4.40	4.49
	基礎英語Ⅱ	C	4.45	4.32	4.41
	基礎英語Ⅱ	D	4.15	4.11	4.44
	基礎英語Ⅱ	A	4.67	4.52	4.57
	基礎英語Ⅱ	B	4.28	4.28	4.34

基礎英語Ⅱ	C	4.04	3.74	4.11
基礎英語Ⅱ	D	4.13	4.26	4.35
基礎英語Ⅱ	A	4.38	4.10	4.52
基礎英語Ⅱ	B	4.38	4.21	4.21
基礎英語Ⅱ	C	4.42	4.08	4.33
基礎英語Ⅱ	D	4.50	4.39	4.61
基礎英語Ⅱ	D	4.57	4.43	4.57
基礎英語Ⅱ	C	4.38	4.38	4.38
スキルアップ英語Ⅱ	A	4.37	4.21	4.32
スキルアップ英語Ⅱ	C	4.47	4.32	4.26
スキルアップ英語Ⅱ	E	4.44	4.24	4.42
スキルアップ英語Ⅱ	B	4.22	4.41	4.41
スキルアップ英語Ⅱ	D	4.00	3.87	4.20
スキルアップ英語Ⅱ	A	4.50	4.17	4.56
スキルアップ英語Ⅱ	B	4.38	4.42	4.25
スキルアップ英語Ⅱ	E	3.83	3.74	4.00
スキルアップ英語Ⅱ	D	4.25	4.00	4.38
スキルアップ英語Ⅱ	C	4.38	4.38	4.13
スキルアップ英語Ⅱ	B	4.60	4.40	4.60
スキルアップ英語Ⅱ	D	5.00	4.67	5.00
英語コミュニケーション(4)	F	4.00	3.57	4.43
英語コミュニケーション(5)	F	5.00	4.50	4.50
英語コミュニケーション(6)	E	4.41	4.18	4.27
英語リーディング	C	3.91	3.95	4.09

7名の非常勤講師が30のクラスを担当した。なお、「基礎英語Ⅰ」と「スキルアップ英語Ⅰ」は、それぞれ、社会科学系3学部1年次と2年次の必修科目である。「英語コミュニケーション」は、社会科学系3学部では選択科目であるが、人間生活科学部教育保育学科では選択必修科目だが年度当初に受講登録がなされる強制登録科目、管理栄養学科では必修科目となっている。

必修・選択を問わず、概ね適正に授業が行われているものと考えられる。なお、担当者Eの1つの授業の3つの項目がすべて4.0以下の評価となっていて、他に担当者CとDにも一部科目で4.0を下回る評価の項目がある。しかし担当者E、C、Dは他の科目では問題のない評価を受けている。そればかりか、担当者Dは別の科目で2項目で5.00の評価を受けている。したがってこれには、これらの授業ごとの個別の背景があるものと考えられる。その背景については、授業評価アンケートに対する授業者自身の省察とコメントによって改善を図ることになる。

イ 情報科目

区分	科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
選択必修	情報(Excel)(4)(火2)	A	4.67	4.44	4.44
	情報(Power Point)(2)(水2)	B	4.20	4.30	4.30
	情報(Word)(4)(木3)	C	4.00	4.20	3.83
	情報(Word)(営1)(金1)	D	4.00	0.00	4.00
	情報(Word)(営4)(金2)	E	3.88	3.94	3.94
	情報(Word)(営5)(水2)	F	4.17	4.13	4.22
	情報(Word)(済1)(木1)	C	3.83	4.00	4.00
	情報(Word)(済2)(木1)	E	4.08	3.85	4.15
	情報(Word)(済3)(木2)	C	4.07	4.20	4.27
	情報(Word)(済4)(木2)	E	3.85	4.08	4.00
	情報(Word)(法1)(水1)	B	4.24	4.24	4.18
	情報(Word)(法2)(水3)	F	4.32	4.21	4.32
	情報(Word)(法3)(水3)	B	3.96	4.00	4.07
	情報基礎Ⅰ(1)(水4)	G	3.94	3.88	3.88
	情報基礎Ⅰ(2)(水4)	F	4.29	4.41	4.29

5名の非常勤講師が15のクラスを担当した。「情報リテラシー」は全ての学部で必修科目である。また、社会科学系3学部では、「情報(Word)」「情報(Excel)」「情報(PowerPoint)」が選択必修となっている。

担当者Eは、1つのクラスで3項目がすべて4.0を下回る評価になっており、1つのクラスで項目4が4.0を下回っている。しかし昨年度前期の授業評価アンケートの結果には、3項目がすべて4未満のクラスが5つあり、「クラスサイズが小さいにもかかわらず評価が低い」と報告されていたが、今年度はそれに比して評価は高

くなっている。英語科目に比べて評価の低い科目が多いのは、情報という作業を伴う科目であることによるものと考えられる。

ウ 留学生対象日本語科目等

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
(留)アカデミック日本語レベル4(火3)	A	5.00	4.83	4.50
(留)日本事情 III(金3)	B	4.71	4.71	4.29
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル5(木3.金3)	C	4.56	4.22	4.33
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル5(木4.金4)	C	4.70	4.70	4.40
Q4(留)日本語コミュニケーションレベル6(木3.金3)	C	4.30	4.30	3.90
Q4(留)日本語コミュニケーションレベル6(木4.金4)	C	4.45	4.55	4.73

※ 「Q3」と「Q4」はクォーター制における第1クォーターと第2クォーターを示す。

3名の非常勤講師が6のクラスを担当した。

留学生対象日本語科目では、1年生を対象にクォーター制を採用している。1年生は、入学時に、「アカデミック」「コミュニケーション」の授業それぞれについてクラス分けが行われ、順調に学習が進めば各クォーター毎にレベルが1ずつ上がっていく。

4.0をわずかに下回る項目がひとつだけあるが、全体的に評価は非常に高いと言える。

エ 諸外国語科目

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
コリア語初級(木1)	A	4.56	4.50	4.72
コリア語入門(金1)	A	4.74	4.74	4.74
コリア語入門(金2)	A	4.52	4.48	4.70
コリア語入門(金3)	A	4.81	4.69	4.56
コリア語入門(金4)	B	4.83	4.50	4.67
コリア語入門(木2)	A	4.31	4.38	4.44
コリア語入門(木3)	A	4.54	4.39	4.43
スペイン語入門(火3)	C	4.41	4.24	4.35
ポルトガル語入門(月3)	D	4.27	4.27	4.40
ポルトガル語入門(月4)	D	4.06	4.35	4.35

諸外国語科目は、人間生活科学部管理栄養学科を除く学部学科において選択必修となっている。諸外国語科目は、4名の講師が10の授業を担当したが、コリア語を中心に全般的に高い評価を得ており、4.0を下回る評価はひとつもない。

オ その他の共通科目

科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
アートと現代社会(火2)	A	4.46	4.44	4.07
イスラーム入門(金4)	B	4.00	4.33	3.92
科学と人間社会 I(火2)	C	3.82	4.12	3.86
科学と人間社会 II(水3)	D	4.16	4.11	4.20
科学と人間社会 III(月1)	E	3.88	4.13	4.00
健康生活と生涯スポーツ(水3)	F	4.44	4.44	4.42
健康生活と生涯スポーツ(水4)	F	4.33	4.25	4.24
交通と社会(火2)	G	4.09	4.11	3.91
資格・検定講座 I(宅建対策)(木1)	H	4.18	4.18	4.00
資格・検定講座 II(宅建対策)(木2)	H	4.30	4.30	4.22
資格・検定講座 V(月3)	I	3.83	3.87	4.01
人間社会と文化形成(火4)	J	4.08	4.27	4.15
生涯スポーツ実習 II(バレー・バドミントン)(木3)	F	4.78	4.56	4.70
生命と倫理(火4)	K	3.83	4.01	3.87
文学と現代(金2)	L	4.42	4.42	4.24
文学と現代(金3)	L	4.25	4.17	4.25

文学と現代(金4)	L	4.16	4.26	3.79
-----------	---	------	------	------

この科目群では、高い評価の項目を含む授業と低い評価の項目を含む授業が混在している。この科目群は授業内容にも多様性があり、また授業内容の専門性のために一人の非常勤講師が多くは1つの授業しか担当しないため、本学学生の特性を把握することが難しいのかもしれない。評価の低い授業の改善は、授業評価アンケート結果に対する授業者の省察とコメントに依るべきであるが、必要に応じて、科目の責任教員が援助をすることが考えられる。

カ 学部・学科専門科目と教職科目

区分	科目名	担当者名	4.分かりやすさ	5.新しいものの見方	11.教室管理
専門 科目	特別支援教育論(金4)	M	4.34	4.31	4.31
	(日)市民生活とキャリア形成P(月1)	N	4.20	4.20	4.22
	(日)市民生活とキャリア形成Q(月1)	O	4.32	4.21	4.29
	(日)市民生活とキャリア形成R(月1)	P	4.15	4.20	4.07
	(日)市民生活とキャリア形成S(月1)	Q	4.39	4.39	4.54
	(留)市民生活とキャリア形成W(月2)	O	4.36	4.56	4.36
	(留)市民生活とキャリア形成X(月2)	P	4.56	4.22	4.44
	NPO・NGO論(水4)	R	3.99	4.12	4.06
	ビジネス情報処理II(木3)	E	3.88	3.92	4.20
	フードコーディネート論(月2)	S	3.71	3.65	4.06
	フードシステム論(月1)	T	4.19	4.11	4.27
	レクリエーション実技B(木2)	U	4.77	4.73	4.54
	環境指導法(1組)(金4)	V	4.85	4.77	4.77
	環境指導法(2組)(金3)	V	4.53	4.67	4.67
	教科教育法(家庭)(月2)	W	4.78	4.67	4.89
	行政救済法(火1)	X	4.04	4.13	3.96
	子どもの保健(金1)	Y	4.38	4.14	4.29
	子育て支援論(水2)	Z	4.39	4.52	4.48
	社会的養護II(火4)	AA	2.84	2.80	2.75
	情報通信技術の活用/(教)情報通信技術の活用(火1)	F	4.08	4.03	3.90
	食品官能検査・鑑別論(月4)	AB	3.90	4.00	3.83
	保育実習指導II(水1)	Z	4.33	4.33	4.33
	情報社会と情報倫理(金3)	E	3.82	3.84	3.82
教職 科目	(教)特別支援教育論(中・高・栄養)(金5)	M	4.13	4.13	4.13

18名の講師により24科目が実施された。ここには、3項目がすべて4.4以上の科目が3つある反面、3項目がすべて4以下の科目が1つ、すべて4未満の科目が1つ、そしてすべて3未満の科目が1つある。今年度前期には、いずれかの項目で3未満の評価を受けた授業は4つあり、その中の1つは2つの項目で3未満の評価を受けていた。したがって、3項目で3未満の評価を受けるのは極めて希である。これらの科目については、専門科目を統括する責任者が授業者のコメントを読んだ上で、必要に応じてなんらかの介入を検討するべきだと考えられる。またその際に必要があれば本委員会もその支援を行う必要があると考える。